

**様式第二号の九** (第八条の四の六関係)

(第1面)

## 産業廃棄物処理計画実施状況報告書

令和6年6月3日

(宛先) 岡崎市長

## 届出者

住 所 岡崎市戸崎町字越舞21-3  
 氏 名 株式会社フジケンハウジング  
 代表取締役 牧 明

(法人にあっては、名称及び代表者の氏名)

電話番号 0564-72-2341

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第10項の規定に基づき、令和5年度の産業廃棄物処理計画の実施状況を報告します。

事 業 場 の 名 称	株式会社フジケンハウジング
事 業 場 の 所 在 地	愛知県岡崎市戸崎町字越舞21-3
事 業 の 種 類	06：総合工事業
産業廃棄物処理計画における 計 画 期 間	令和5年度（令和5年4月1日～令和6年3月31日）

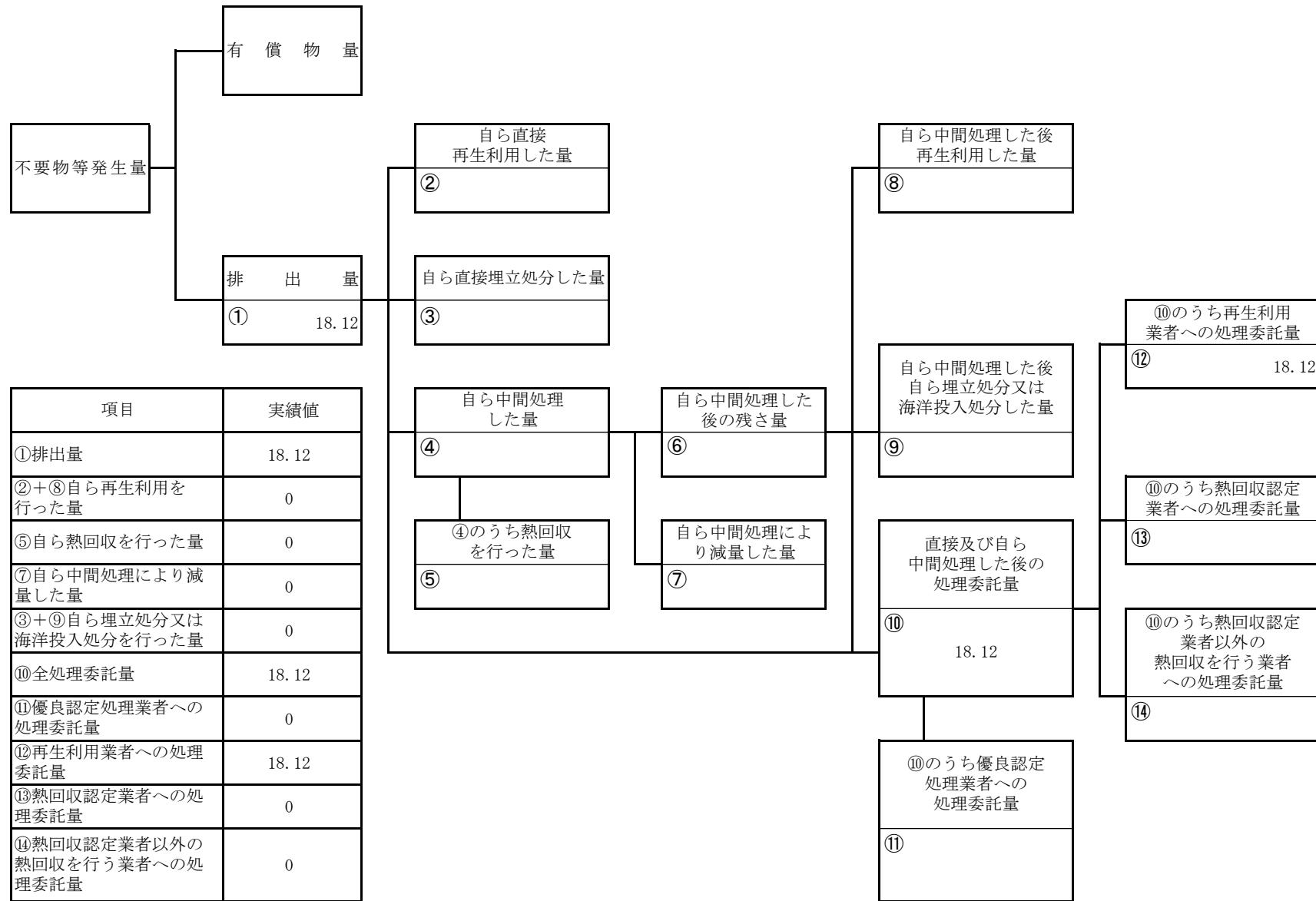
## 産業廃棄物処理計画における目標値

項目	目標値	項目	目標値
排 出 量	4,573.00 t	全 处 理 委 託 量	4,573.00 t
自ら再生利用を行う 産業廃棄物の量	0.00 t	優良認定処理業者への 処理委託量	5.00 t
自ら熱回収を行う 産業廃棄物の量	0.00 t	再生利用業者への 処理委託量	4,546.50 t
自ら中間処理により減量する 産業廃棄物の量	0.00 t	認定熱回収業者への 処理委託量	0.00 t
自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行う 産業廃棄物の量	0.00 t	認定熱回収業者以外の 热回収を行う業者への 処理委託量	21.50 t
※事務処理欄			

(日本工業規格 A列4番)

## 計画の実施状況

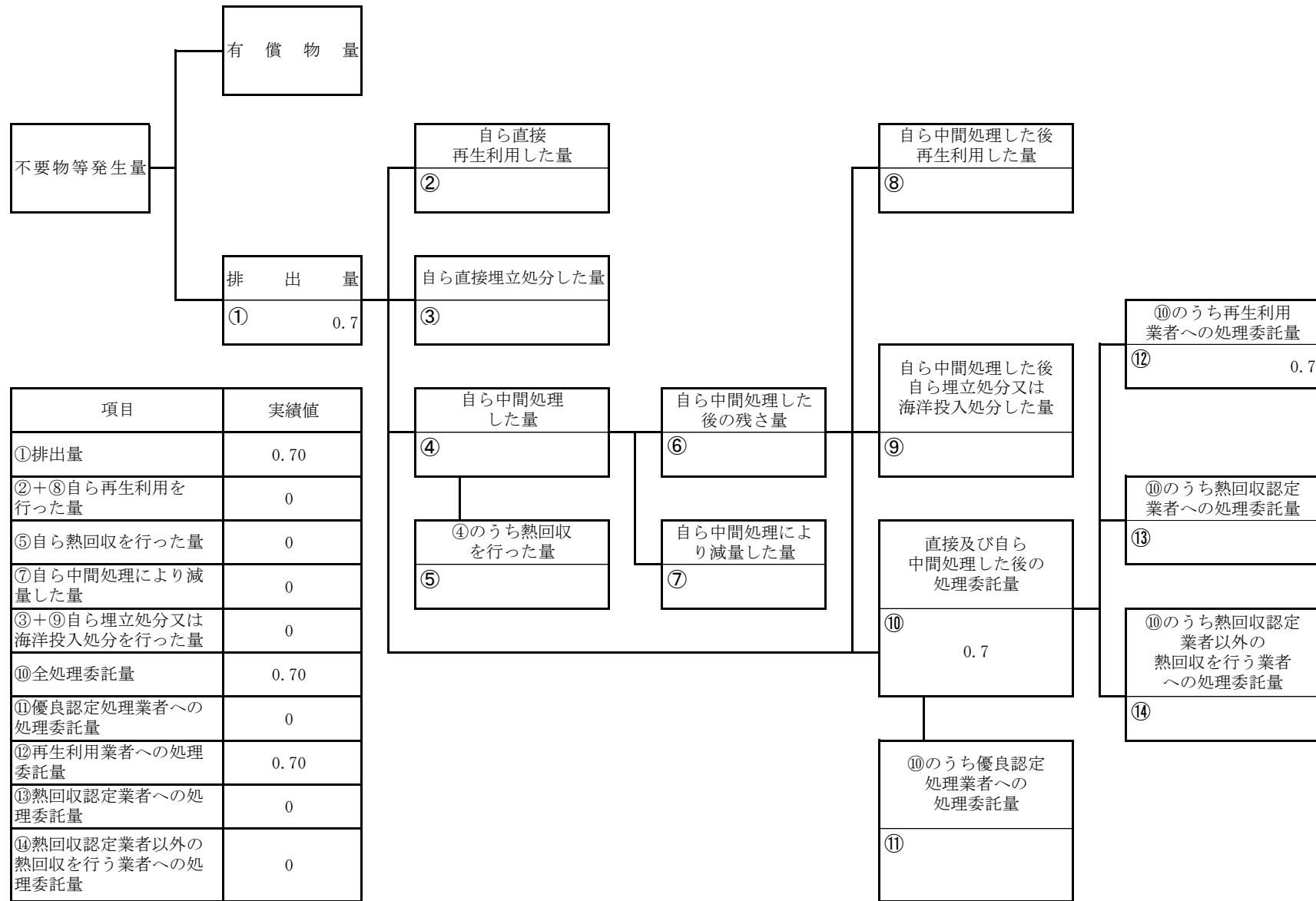
(産業廃棄物の種類： 廃プラスチック類 )



(第2面)

## 計画の実施状況

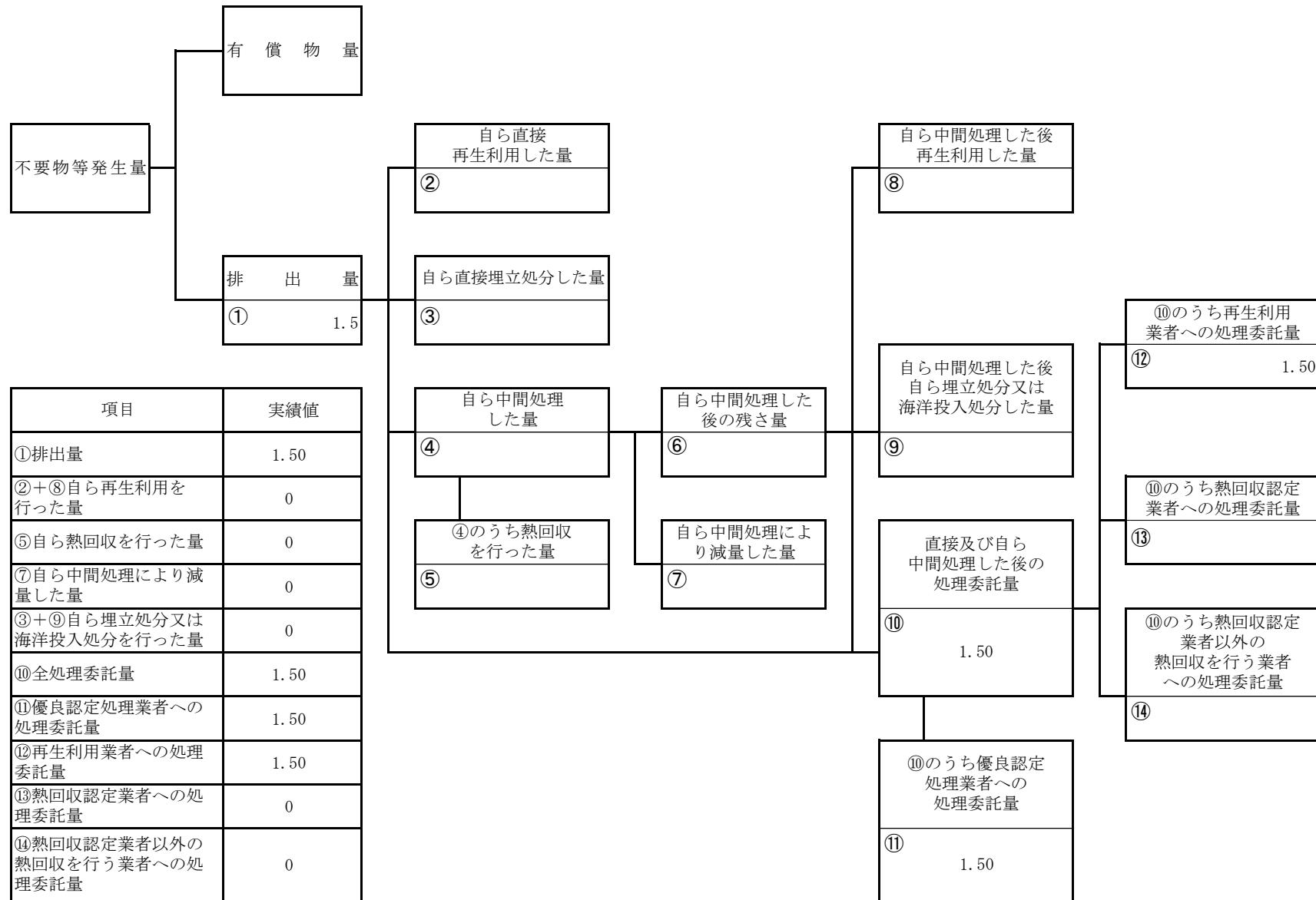
(産業廃棄物の種類： コンクリート )



(第2面)

## 計画の実施状況

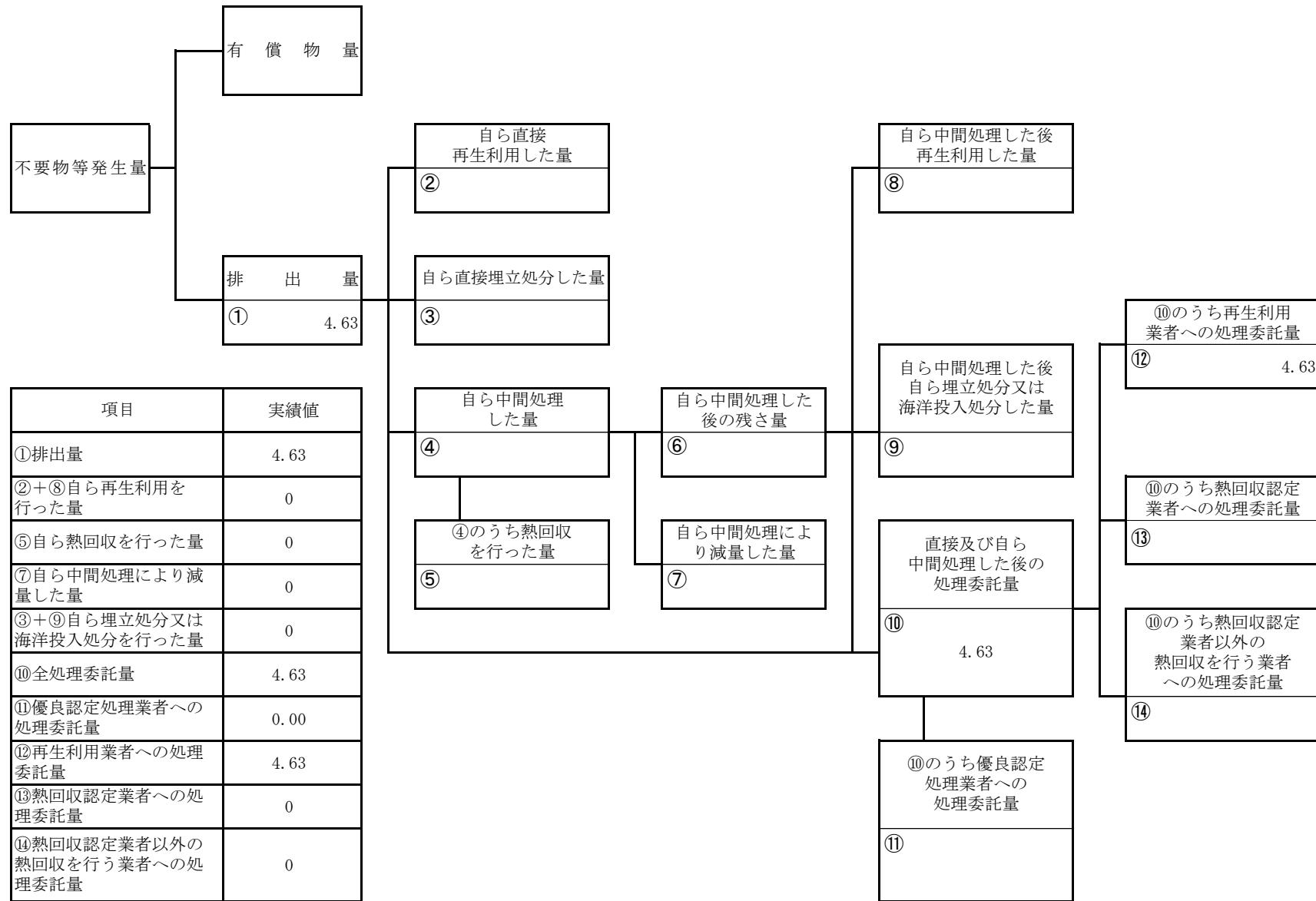
(産業廃棄物の種類： 廃石膏ボード )



(第2面)

## 計画の実施状況

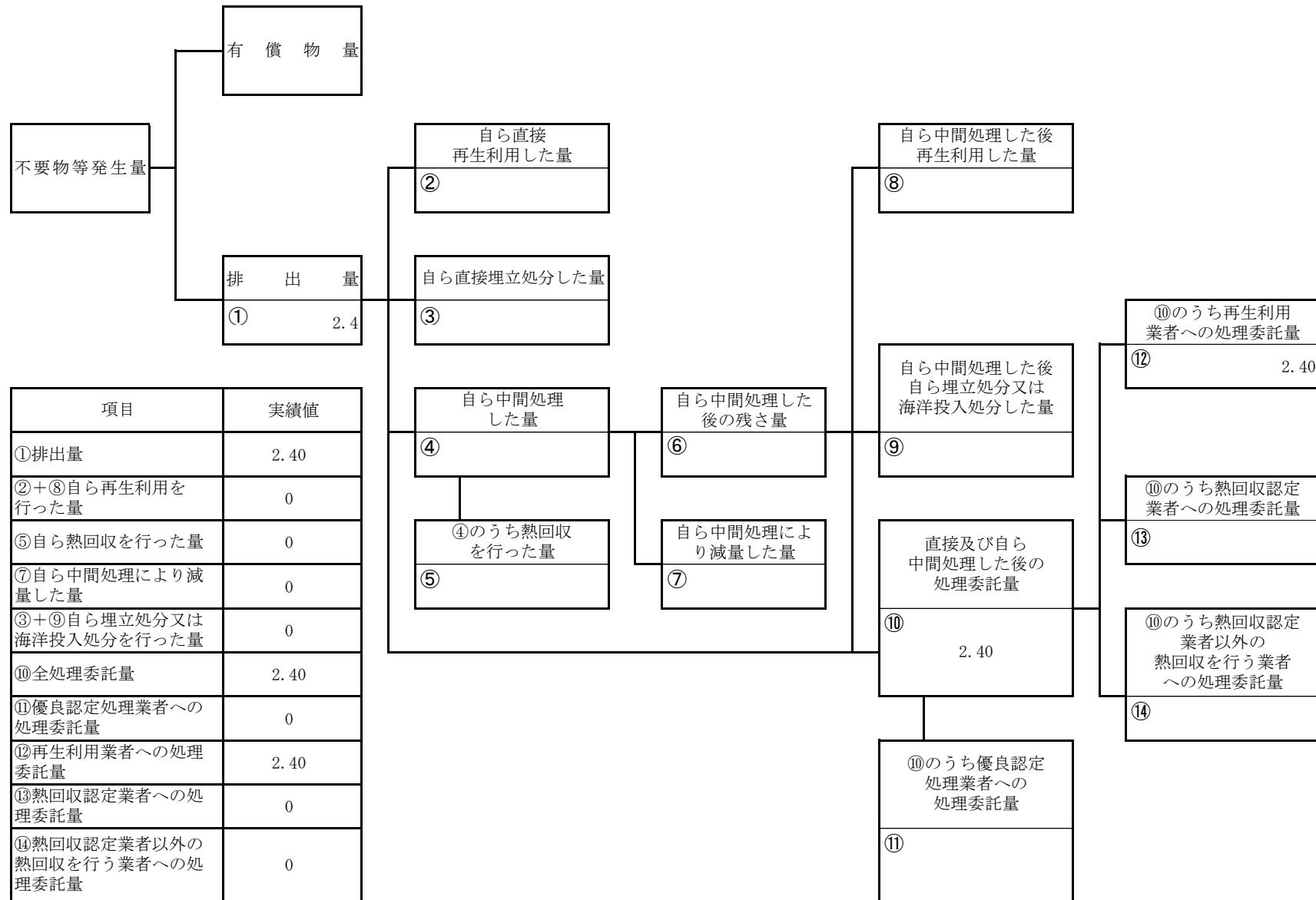
(産業廃棄物の種類： 金属くず )



(第2面)

## 計画の実施状況

(産業廃棄物の種類： 紙くず )

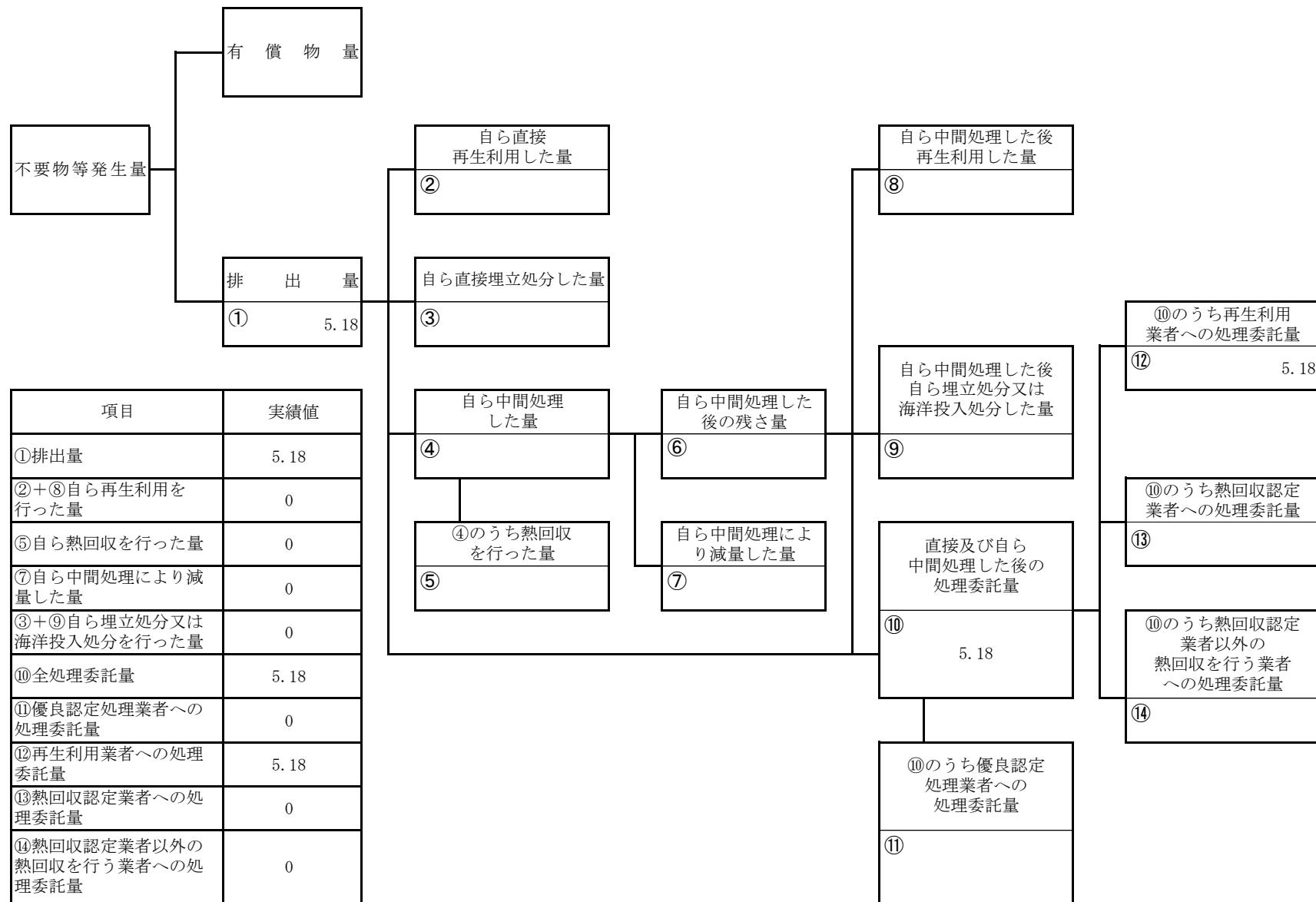


(第2面)

## 計画の実施状況

(産業廃棄物の種類：木くず)

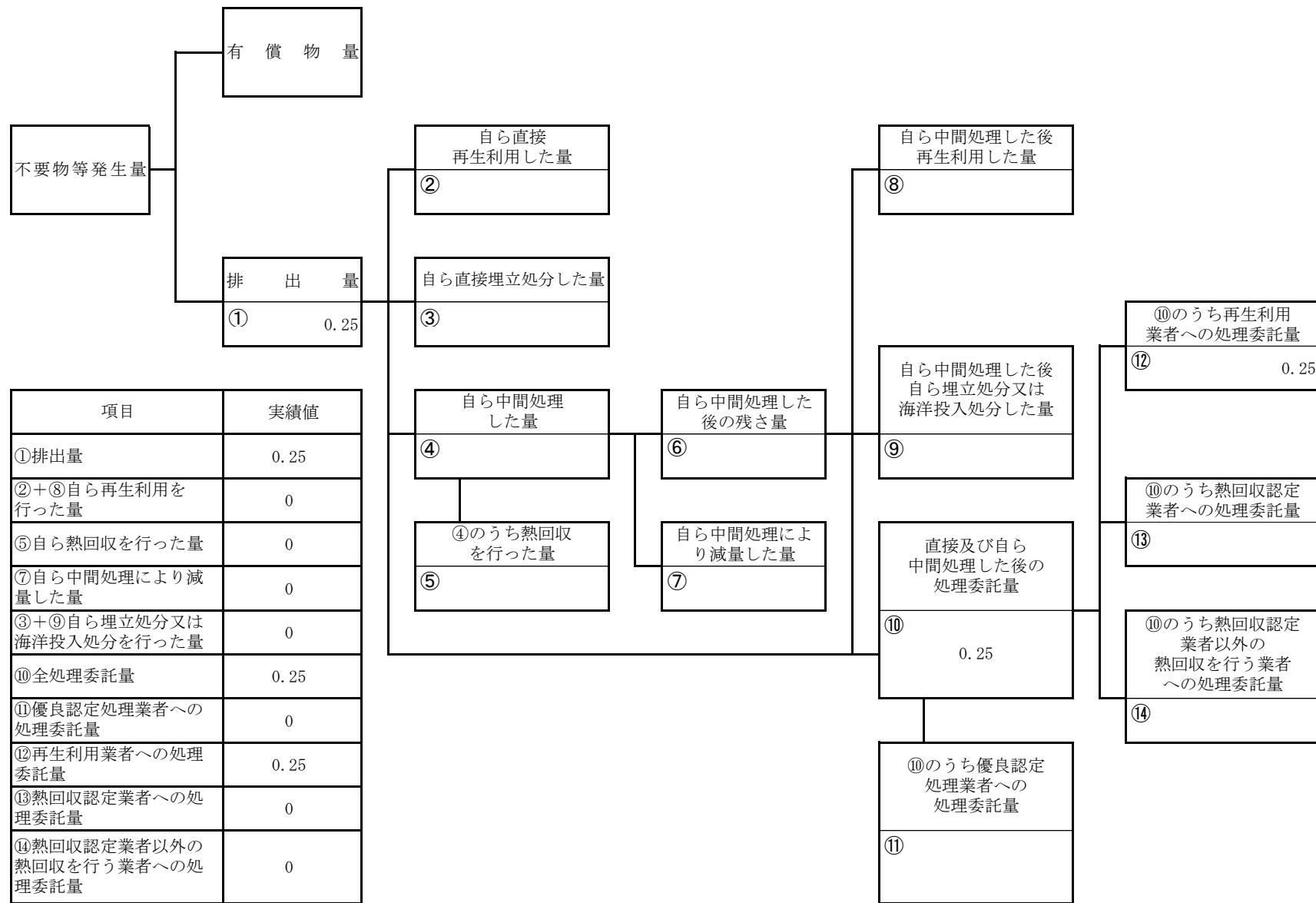
)



(第2面)

## 計画の実施状況

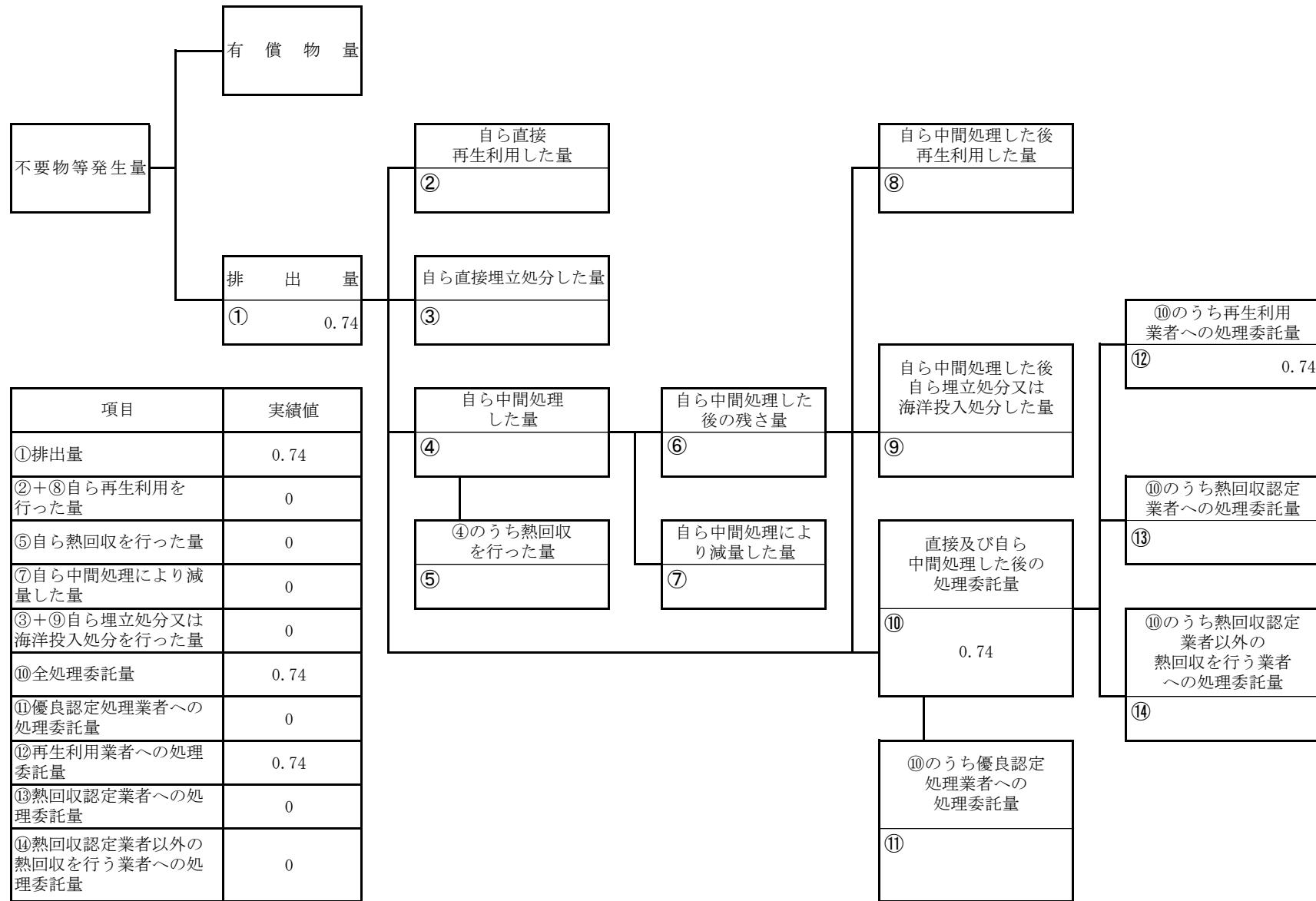
(産業廃棄物の種類： 繊維くず )



(第2面)

## 計画の実施状況

(産業廃棄物の種類： その他がれき類 )



(第2面)

備考

- 1 翌年度の6月30日までに提出すること。
- 2 「事業の種類」の欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
- 3 「産業廃棄物処理計画における目標値」の欄には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画にした目標値を記入すること。
- 4 第2面には、前年度の産業廃棄物の処理について、①～⑭の欄のそれぞれに、(1)からに掲げる量を記入すること。
  - (1) ①欄 当該事業場において生じた産業廃棄物の量
  - (2) ②欄 (1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら再生利用した量
  - (3) ③欄 (1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら埋立処分又は海洋投入処分した量
  - (4) ④欄 (1)の量のうち、自ら中間処理をした産業廃棄物の当該中間処理前の量
  - (5) ⑤欄 (4)の量のうち、熱回収を行った量
  - (6) ⑥欄 自ら中間処理をした後の量
  - (7) ⑦欄 (4)の量から(6)の量を差し引いた量
  - (8) ⑧欄 (6)の量のうち、自ら利用し、又は他人に売却した量
  - (9) ⑨欄 (6)の量のうち、自ら埋立処分及び海洋投入処分した量
  - (10) ⑩欄 中間処理及び最終処分を委託した量
  - (11) ⑪欄 (10)の量のうち、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量
  - (12) ⑫欄 (10)の量のうち、処理業者への再生利用委託量
  - (13) ⑬欄 (10)の量のうち、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量
  - (14) ⑭欄 (10)の量のうち、認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者焼却処理委託量
- 5 第2面の左下の表には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載したそれぞれの実績値入すること。
- 6 産業廃棄物の種類が2以上あるときは、産業廃棄物の種類ごとに、第2面の例により産業廃棄物処理計画の実施状況を明らかにした書面を作成し、当該書面を添付すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

## 様式第二号の九（第八条の四の六関係）

(第1面)

## 産業廃棄物処理計画実施状況報告書

令和 6 年 6 月 12 日

(宛先) 岡崎市長

## 届出者

住 所 岡崎市上佐々木町梅ノ木48番地  
 氏 名 岡崎石工団地協同組合  
 理事長 大島 正彦

(法人にあっては、名称及び代表者の氏名)  
 電話番号 (0564) - 31 - 3823

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第10項の規定に基づき、令和 5 年度の産業廃棄物処理計画の実施状況を報告します。

事業場の名称	岡崎石工団地協同組合
事業場の所在地	岡崎市上佐々木町梅ノ木48番地
事業の種類	窯業・土石製品製造業
産業廃棄物処理計画における計画期間	令和6年4月1日～令和7年3月31日

## 産業廃棄物処理計画における目標値

項目	目標値	項目	目標値
排出量	990 t	全処理委託量	990 t
自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	t	優良認定処理業者への処理委託量	t
自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	t	再生利用業者への処理委託量	990 t
自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	t	認定熱回収業者への処理委託量	t
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t
※事務処理欄			

(日本工業規格 A列4番)

計画の実施状況

(産業廃棄物の種類： がれき類 )

有 償 物 量
780

不要物等発生量
0

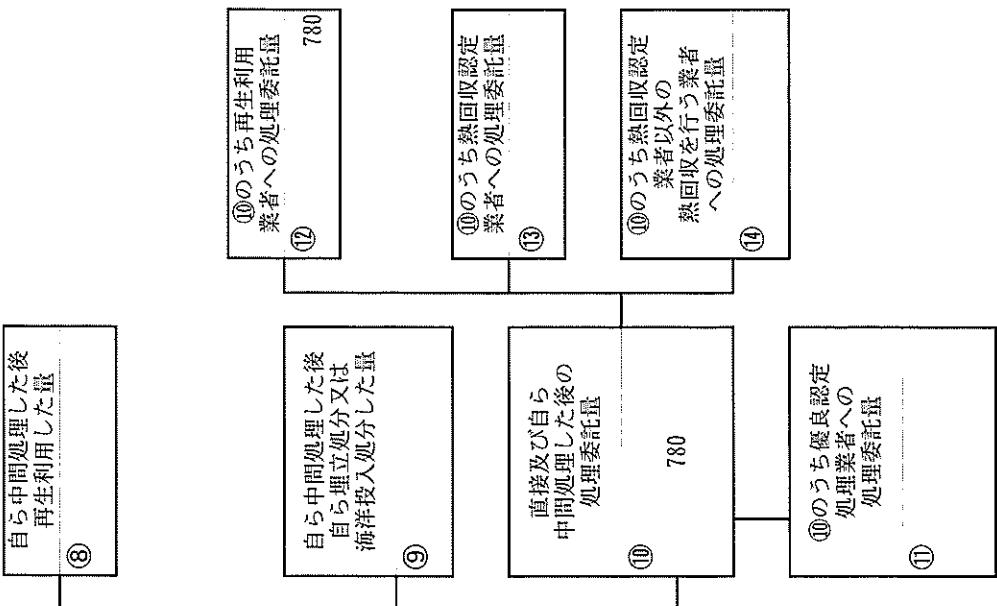
自ら直接 再生利用した量
0

排出量
780

自ら中間処理 した量
---------------

項目	実績値
①排出量	780
②+⑧自ら再生利用を行った量	0
⑤自ら熱回収を行った量	0
⑦自ら中間処理により減量した量	0
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0
⑩処理委託量	780
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0
⑫再生利用業者への処理委託量	780
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0
⑭熱回収を行う業者以外の処理委託量	0

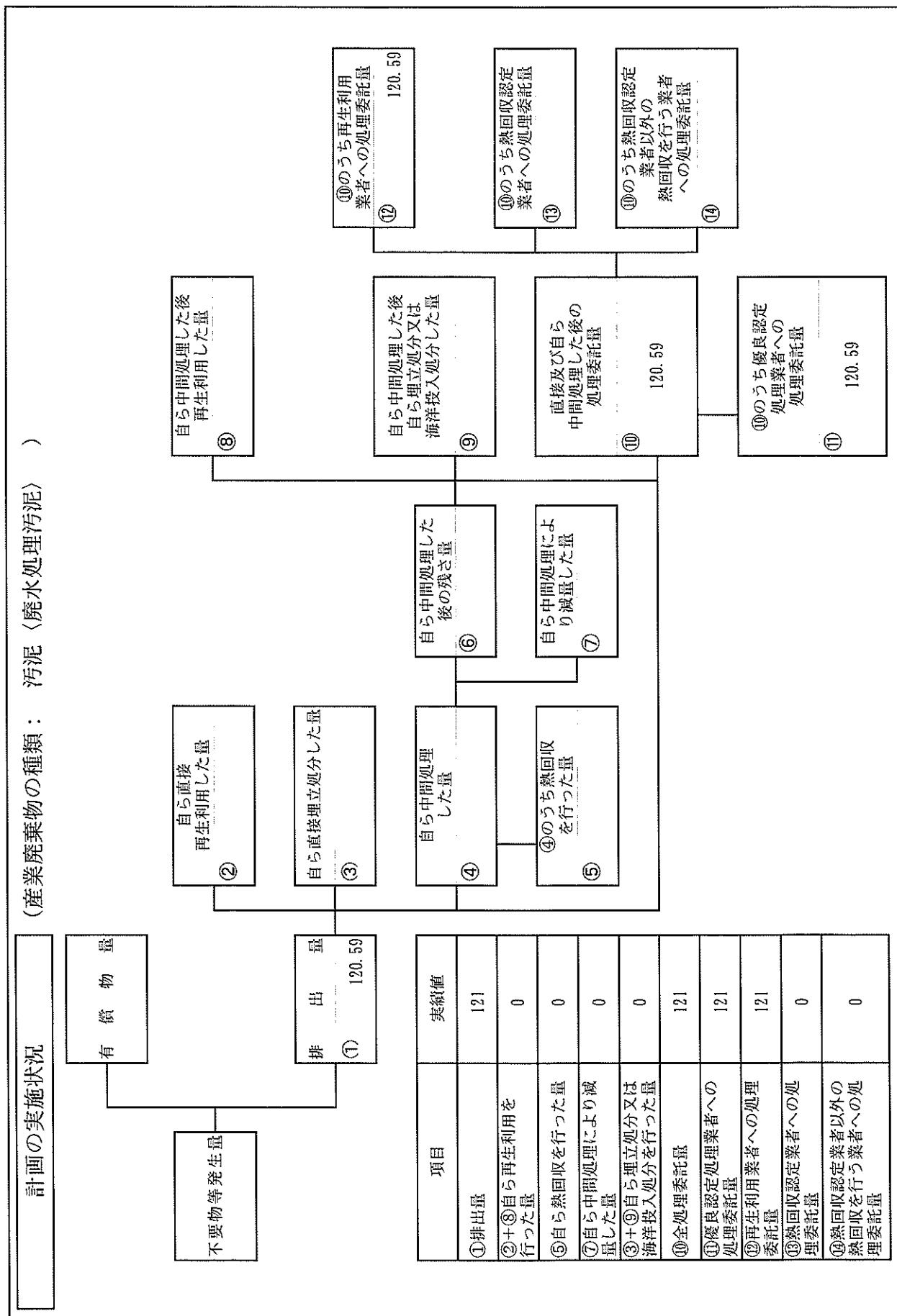
自ら中間処理した後 再生利用した量
----------------------



(第2面)

計画の実施状況

(産業廃棄物の種類： 汚泥 <廃水処理汚泥> )



(第2面)

備考

- 1 翌年度の6月30日までに提出すること。
- 2 「事業の種類」の欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
- 3 「産業廃棄物処理計画における目標値」の欄には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載した目標値を記入すること。
- 4 第2面には、前年度の産業廃棄物の処理に関して、①～⑭の欄のそれぞれに、(1)から(14)に掲げる量を記入すること。
  - (1) ①欄 当該事業場において生じた産業廃棄物の量
  - (2) ②欄 (1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら再生利用した量
  - (3) ③欄 (1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら埋立処分又は海洋投入処分した量
  - (4) ④欄 (1)の量のうち、自ら中間処理をした産業廃棄物の当該中間処理前の量
  - (5) ⑤欄 (4)の量のうち、熱回収を行った量
  - (6) ⑥欄 自ら中間処理をした後の量
  - (7) ⑦欄 (4)の量から(6)の量を差し引いた量
  - (8) ⑧欄 (6)の量のうち、自ら利用し、又は他人に売却した量
  - (9) ⑨欄 (6)の量のうち、自ら埋立処分及び海洋投入処分した量
  - (10) ⑩欄 中間処理及び最終処分を委託した量
  - (11) ⑪欄 (10)の量のうち、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量
  - (12) ⑫欄 (10)の量のうち、処理業者への再生利用委託量
  - (13) ⑬欄 (10)の量のうち、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量
  - (14) ⑭欄 (10)の量のうち、認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量
- 5 第2面の左下の表には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載したそれぞれの実績値を記入すること。
- 6 産業廃棄物の種類が2以上あるときは、産業廃棄物の種類ごとに、第2面の例により産業廃棄物処理計画の実施状況を明らかにした書面を作成し、当該書面を添付すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

**様式第二号の九** (第八条の四の六関係)

(第1面)

## 産業廃棄物処理計画実施状況報告書

令和 6年 6月 4日

(宛先) 岡崎市長

## 届出者

住 所 岡崎市樅山町字池田36番地4  
氏 名 大黒屋建設株式会社  
代表取締役 鈴木 靖大

(法人にあっては、名称及び代表者の氏名)

電話番号 0564-82-3041

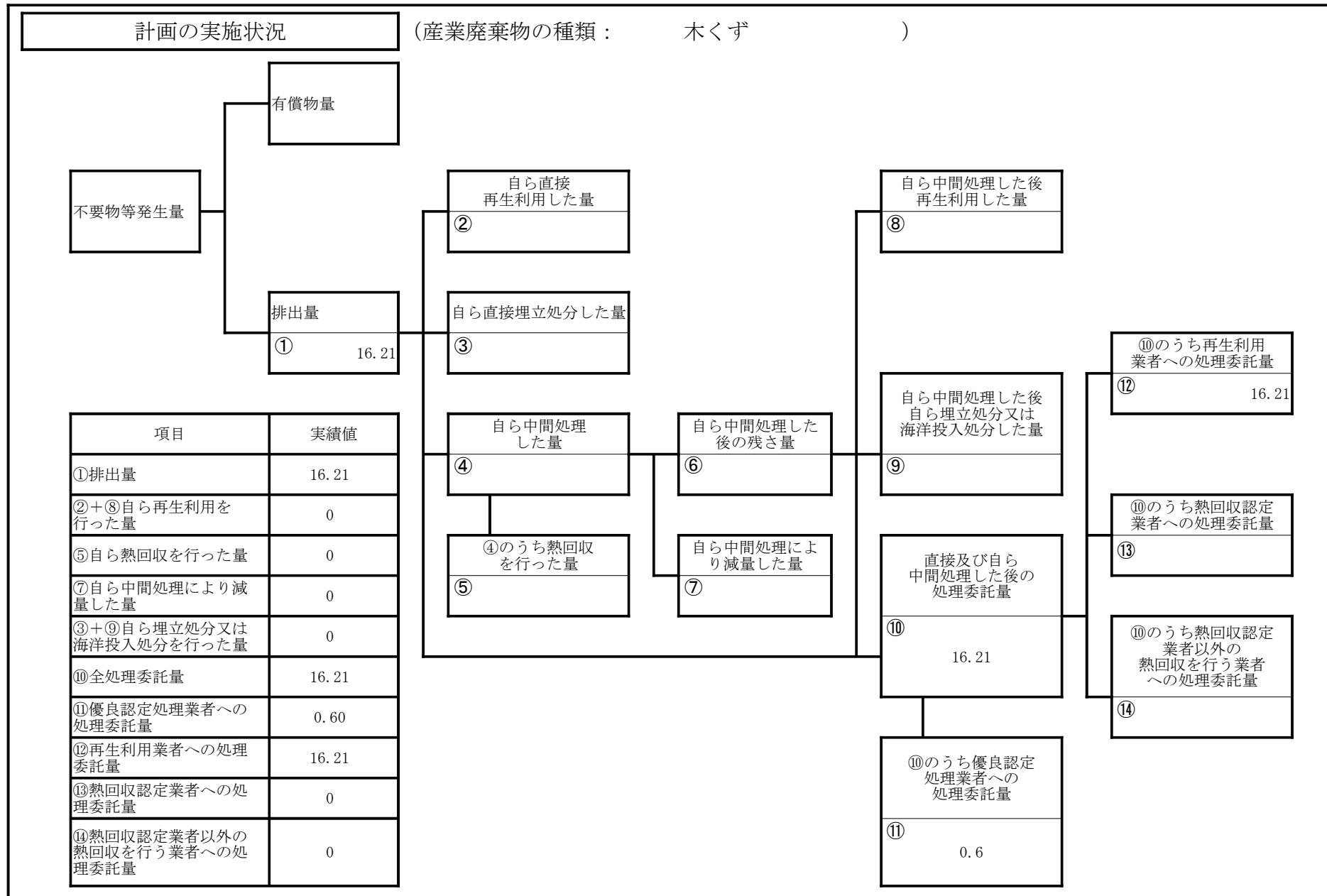
廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第10項の規定に基づき、令和5年度の産業廃棄物処理計画の実施状況を報告します。

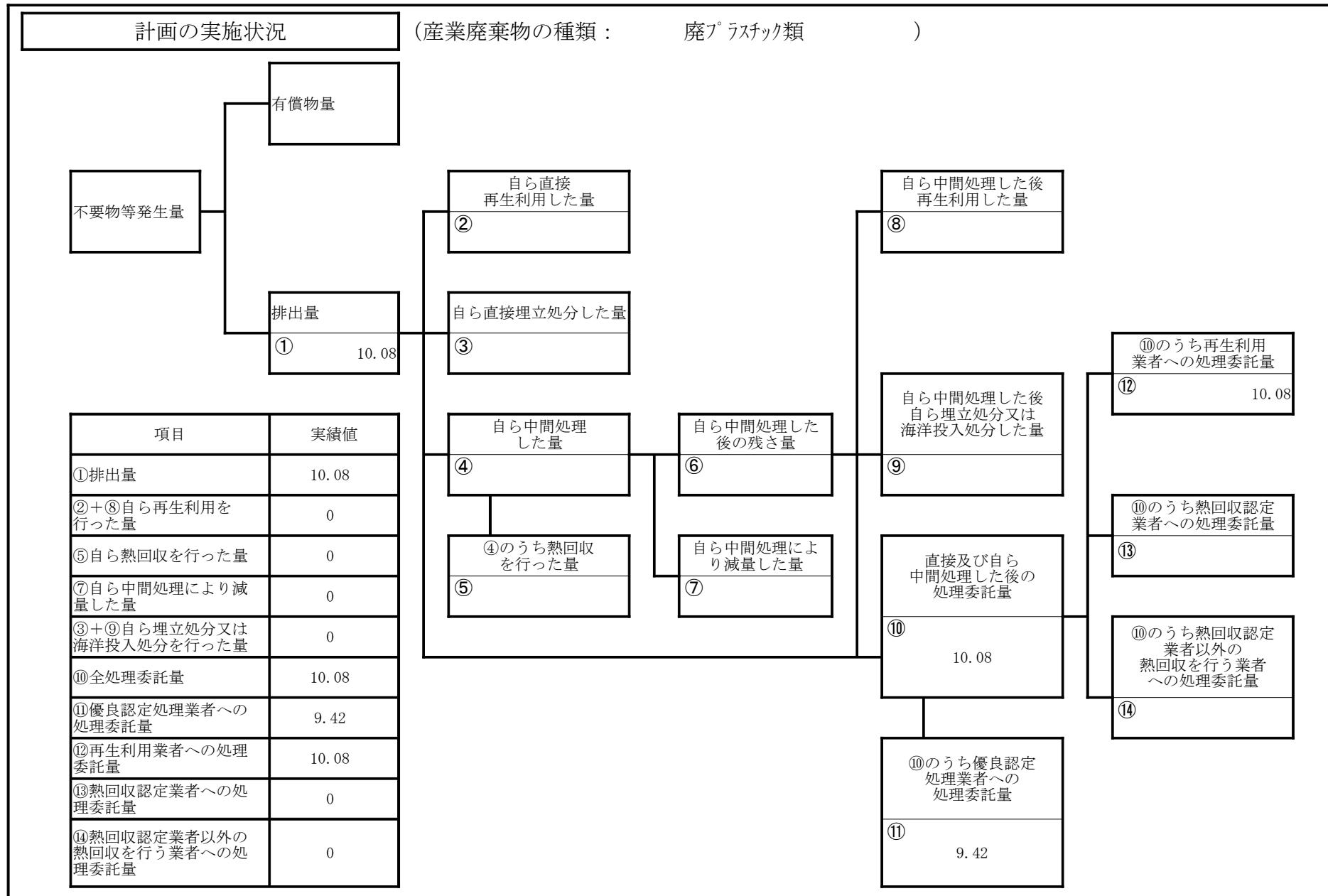
事業場の名称	大黒屋建設株式会社
事業場の所在地	岡崎市樅山町字池田36番地4
事業の種類	06 : 総合工事業
産業廃棄物処理計画における計画期間	令和5年4月1日～令和6年3月31日

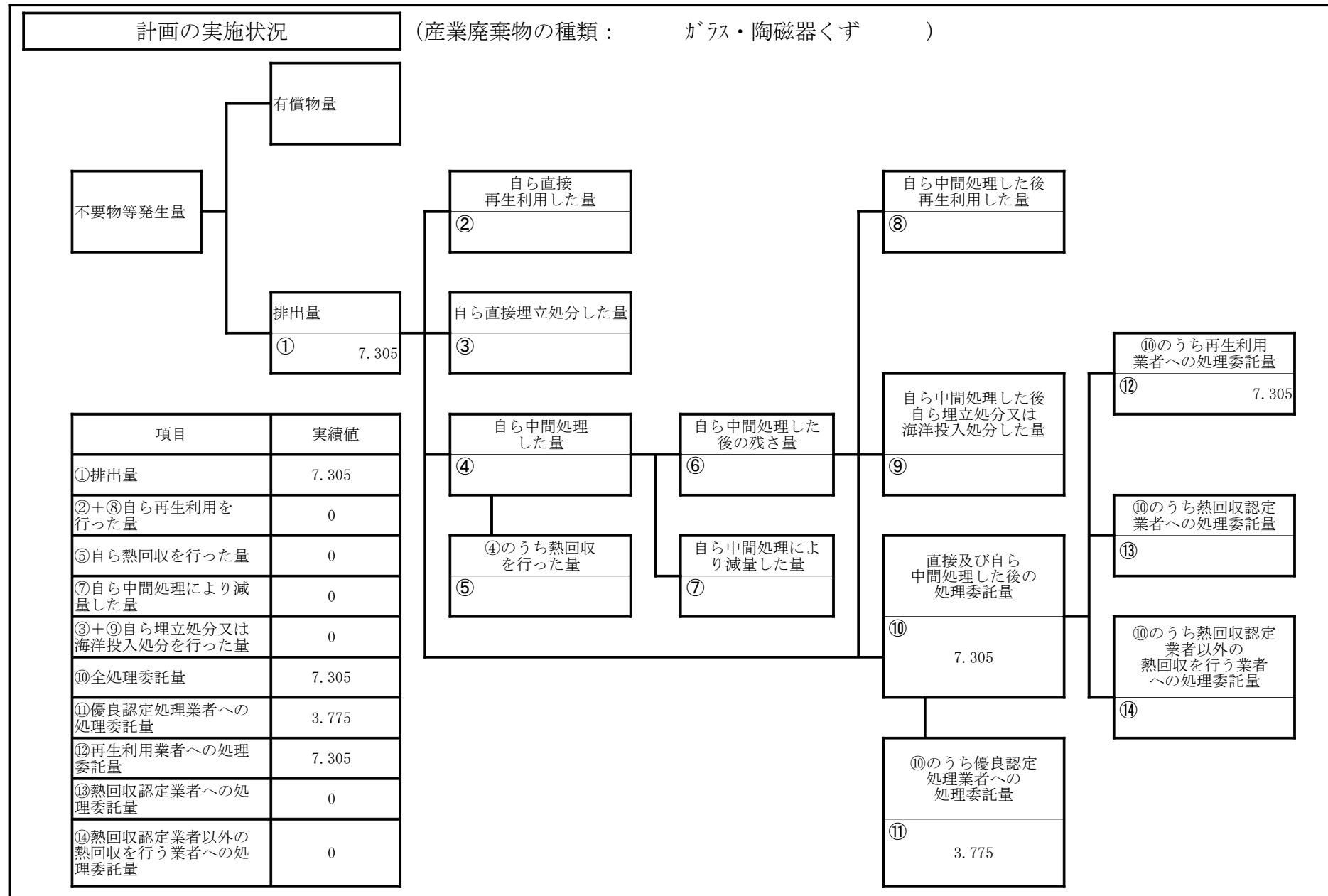
## 産業廃棄物処理計画における目標値

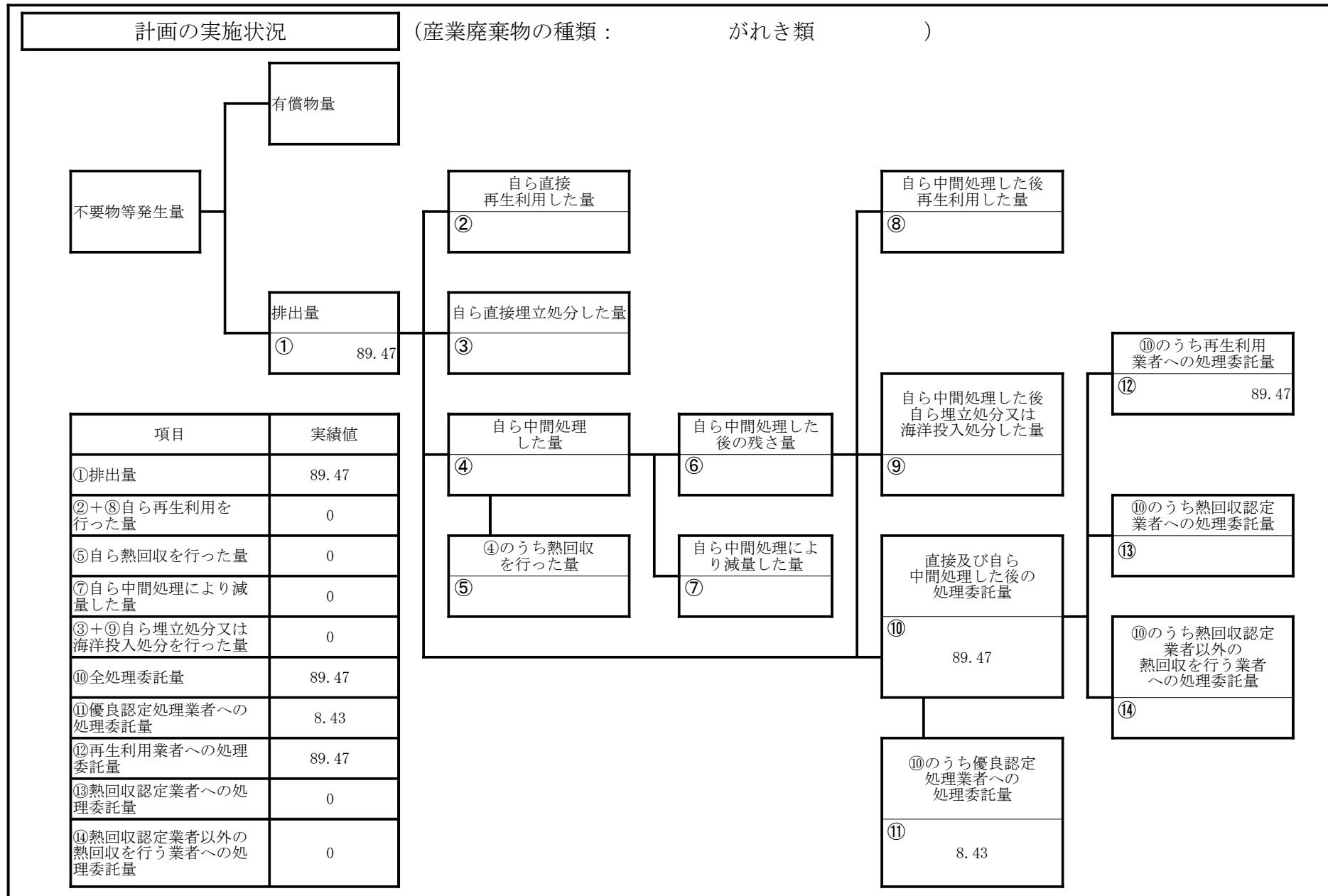
項目	目標値	項目	目標値
排出量	946.01 t	全処理委託量	946.01 t
自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	t	優良認定処理業者への処理委託量	22.01 t
自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	t	再生利用業者への処理委託量	936 t
自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	t	認定熱回収業者への処理委託量	t
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t
※事務処理欄			

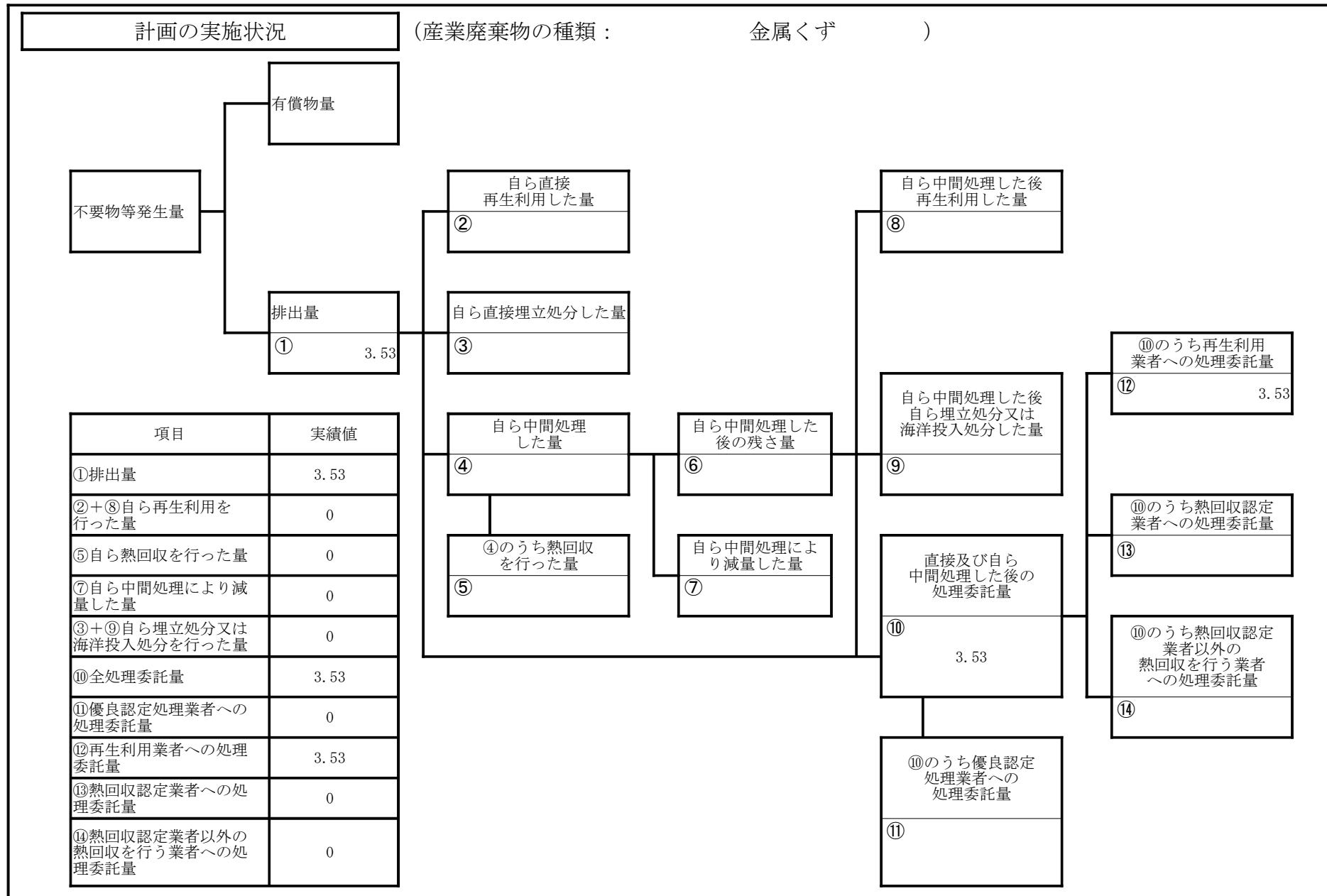
(日本工業規格 A列4番)

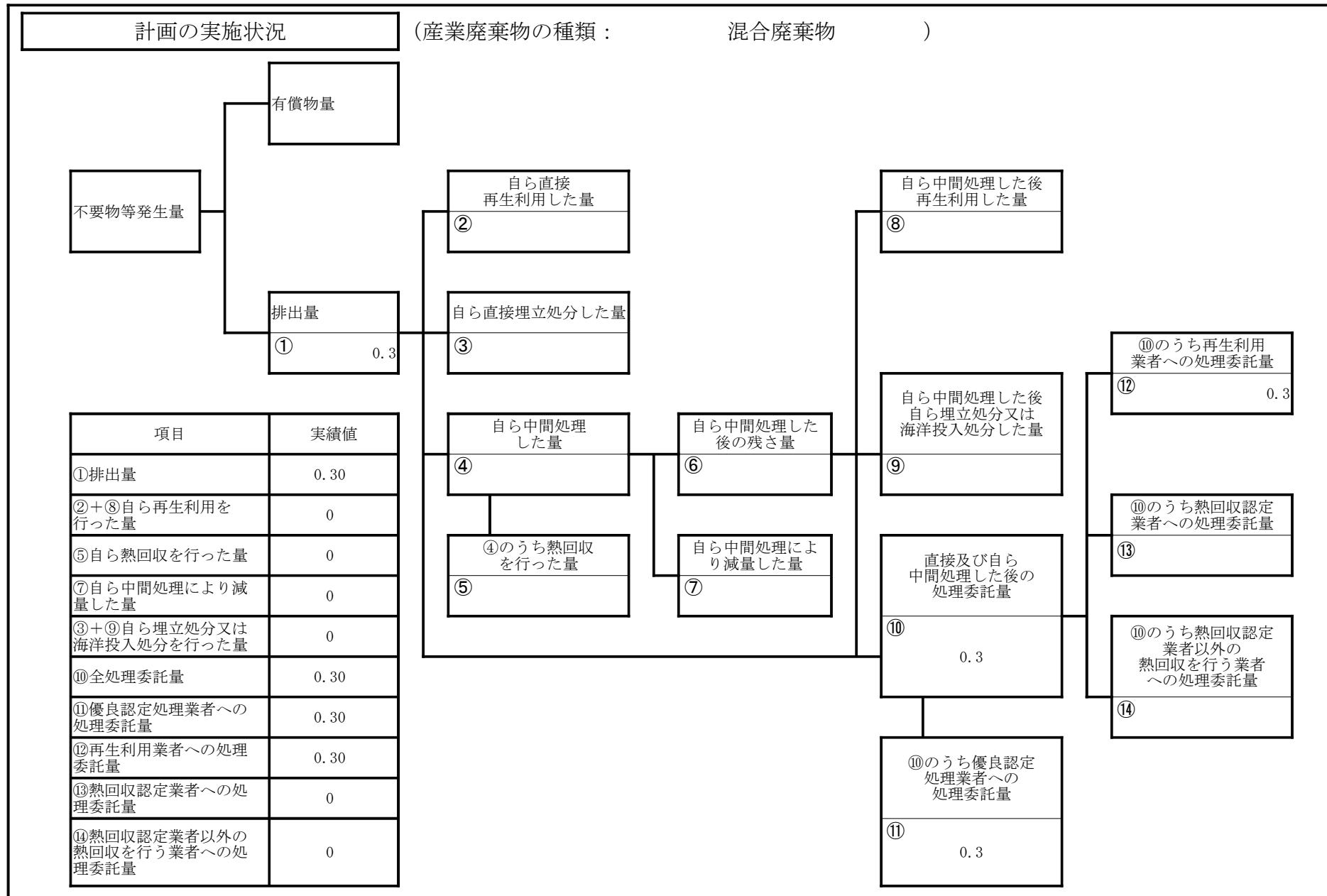


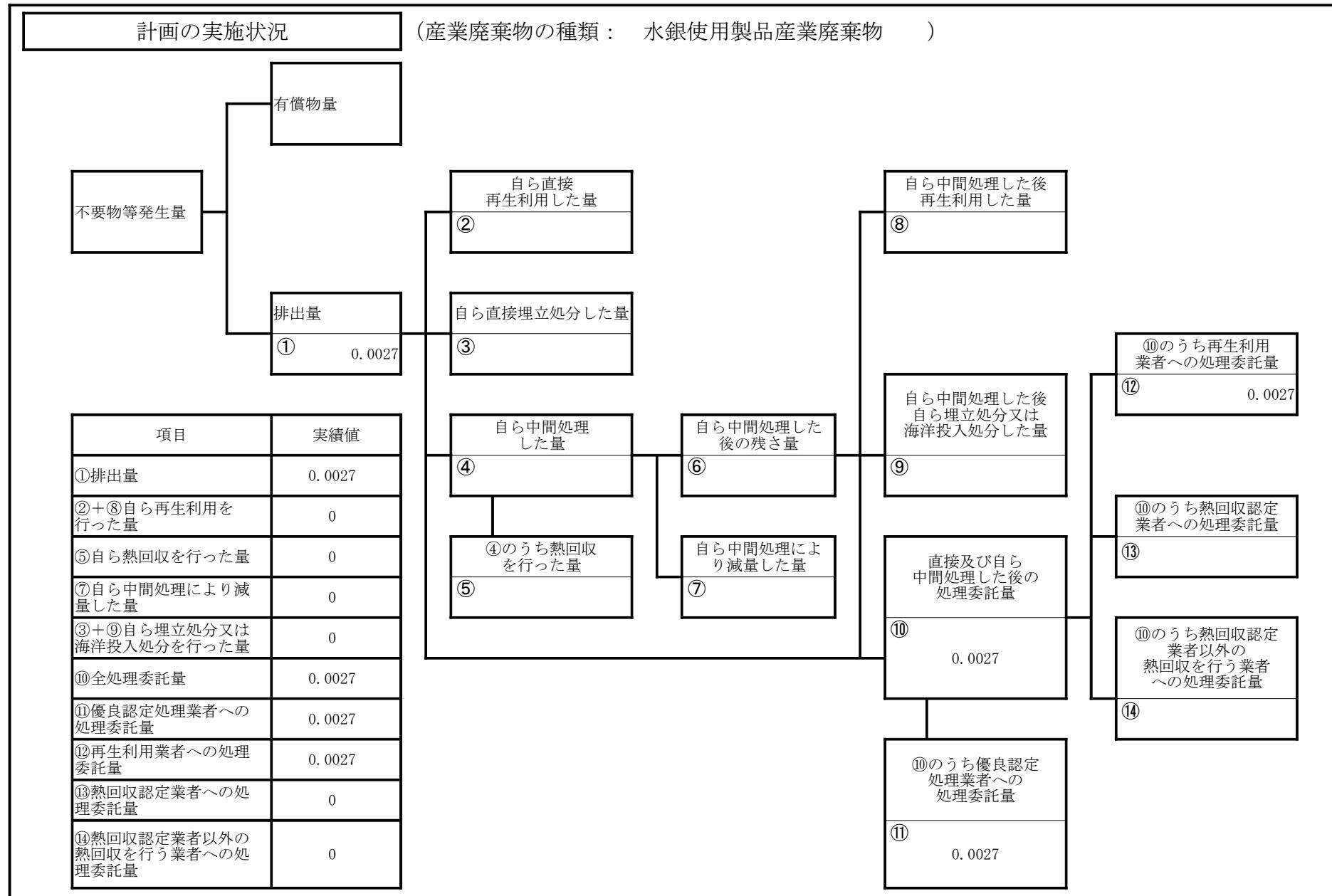


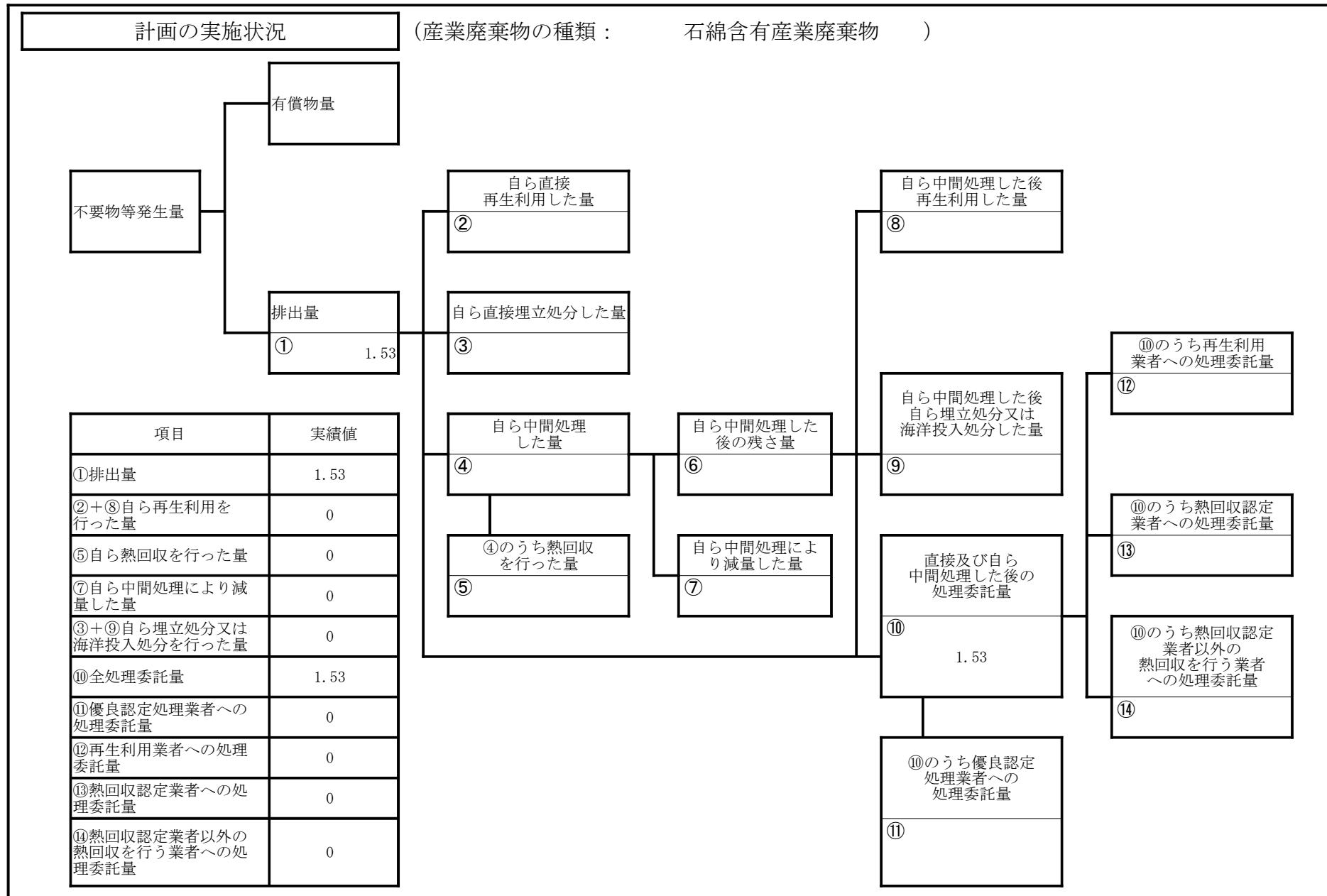












備考

- 1 翌年度の6月30日までに提出すること。
- 2 「事業の種類」の欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
- 3 「産業廃棄物処理計画における目標値」の欄には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載した目標値を記入すること。
- 4 第2面には、前年度の産業廃棄物の処理について、①～⑭の欄のそれぞれに、(1)から(14)に掲げる量を記入すること。
  - (1) ①欄 当該事業場において生じた産業廃棄物の量
  - (2) ②欄 (1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら再生利用した量
  - (3) ③欄 (1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら埋立処分又は海洋投入処分した量
  - (4) ④欄 (1)の量のうち、自ら中間処理をした産業廃棄物の当該中間処理前の量
  - (5) ⑤欄 (4)の量のうち、熱回収を行った量
  - (6) ⑥欄 自ら中間処理をした後の量
  - (7) ⑦欄 (4)の量から(6)の量を差し引いた量
  - (8) ⑧欄 (6)の量のうち、自ら利用し、又は他人に売却した量
  - (9) ⑨欄 (6)の量のうち、自ら埋立処分及び海洋投入処分した量
  - (10) ⑩欄 中間処理及び最終処分を委託した量
  - (11) ⑪欄 (10)の量のうち、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量
  - (12) ⑫欄 (10)の量のうち、処理業者への再生利用委託量
  - (13) ⑬欄 (10)の量のうち、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量
  - (14) ⑭欄 (10)の量のうち、認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量
- 5 第2面の左下の表には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載したそれぞれの実績値を記入すること。
- 6 産業廃棄物の種類が2以上あるときは、産業廃棄物の種類ごとに、第2面の例により産業廃棄物処理計画の実施状況を明らかにした書面を作成し、当該書面を添付すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

**様式第二号の九** (第八条の四の六関係)

(第1面)

産業廃棄物処理計画実施状況報告書

令和 6 年 6 月 18 日

(宛先) 岡崎市長

届出者

住 所 東京都港区南麻布1-18-4  
氏 名 株式会社佐藤渡辺 代表取締役 石井直孝

(法人にあっては、名称及び代表者の氏名)

電話番号 03-3453-7351

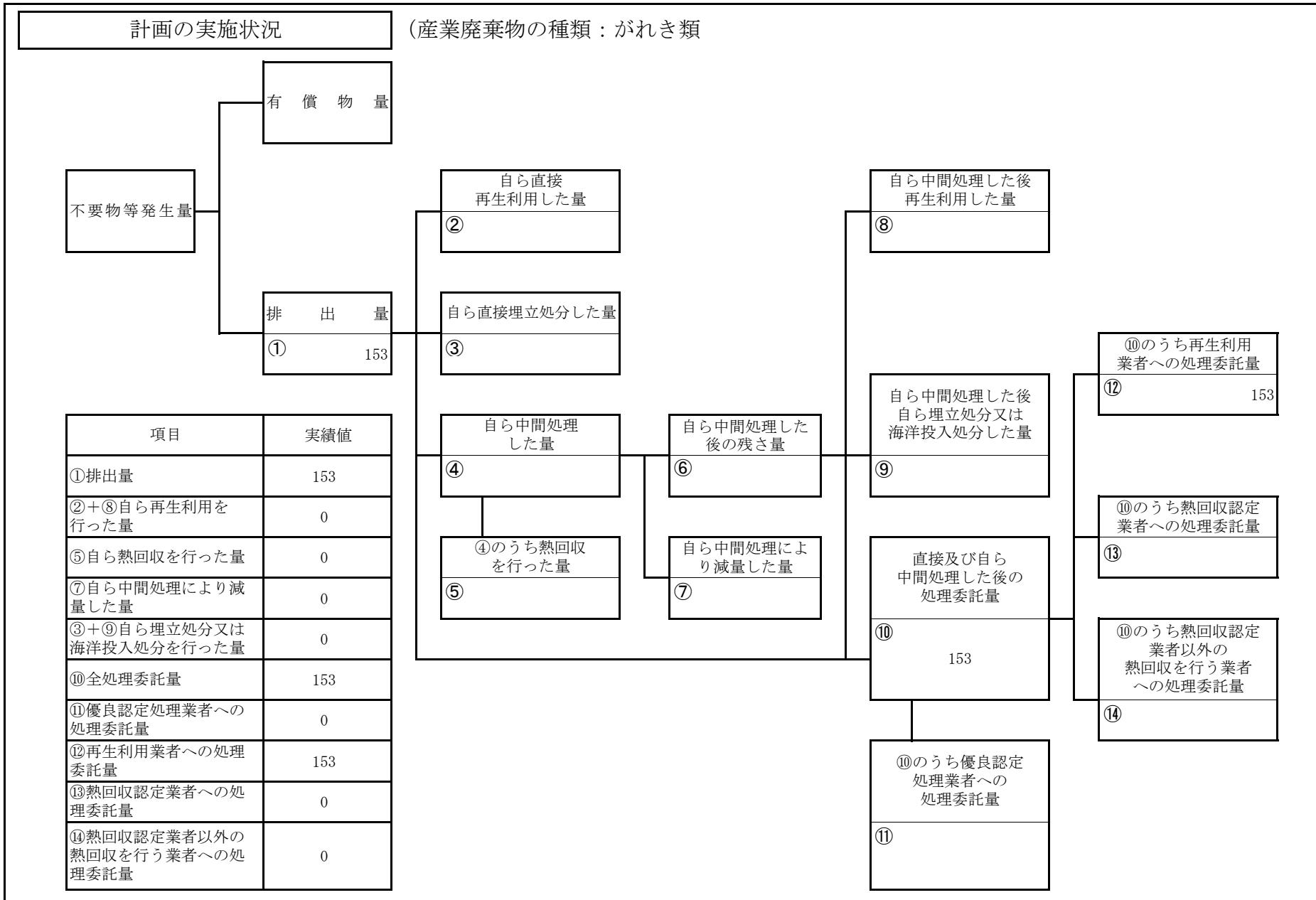
廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第10項の規定に基づき、令和 5 年度の産業廃棄物処理計画の実施状況を報告します。

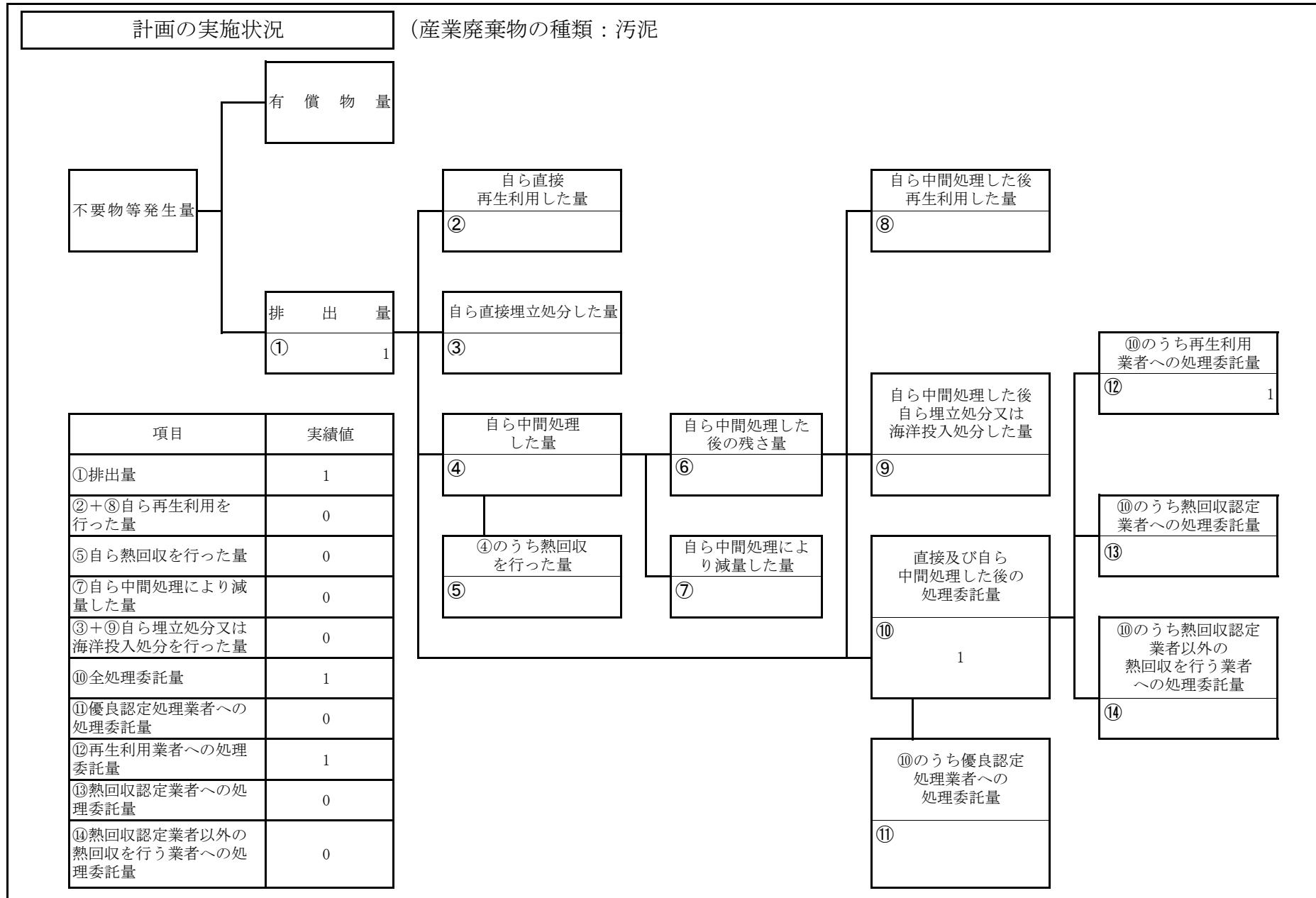
事 業 場 の 名 称	株式会社佐藤渡辺 三河営業所
事 業 場 の 所 在 地	岡崎市岡町字西神馬崎南側53
事 業 の 種 類	063 ; 製造工事業
産業廃棄物処理計画における 計 画 期 間	令和 5 年 4 月 1 日 ~ 令和 6 年 3 月 31

産業廃棄物処理計画における目標値

項目	目標値	項目	目標値
排 出 量	904.5 t	全 处 理 委 託 量	904.5 t
自ら再生利用を行う 産業廃棄物の量	t	優良認定処理業者への 处理委託量	751.5 t
自ら熱回収を行う 産業廃棄物の量	t	再生利用業者への 处理委託量	904.5 t
自ら中間処理により減量する 産業廃棄物の量	t	認定熱回収業者への 处理委託量	t
自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行う 産業廃棄物の量	t	認定熱回収業者以外の 热回収を行う業者への 处理委託量	t
※事務処理欄			

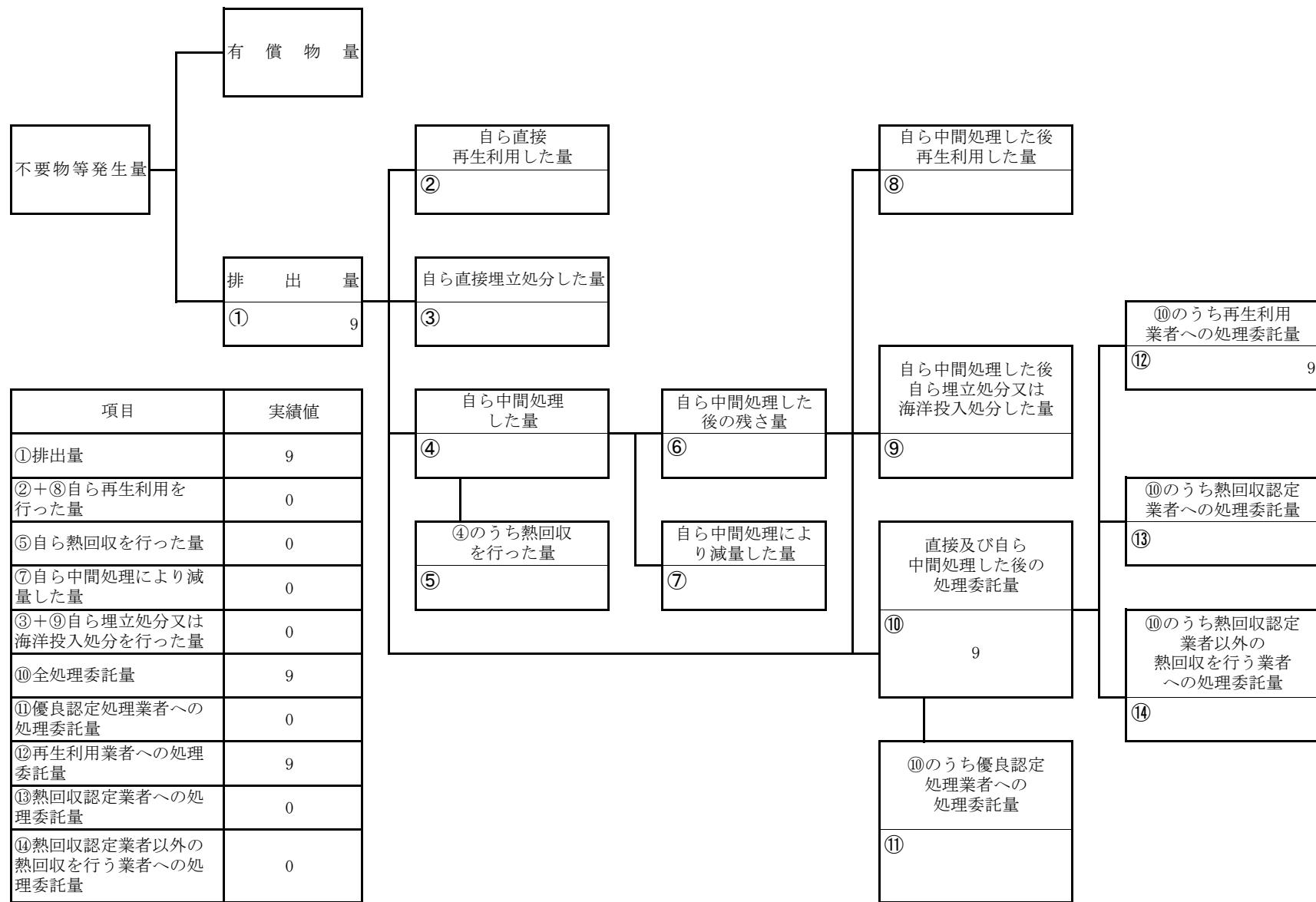
(日本工業規格 A列4番)



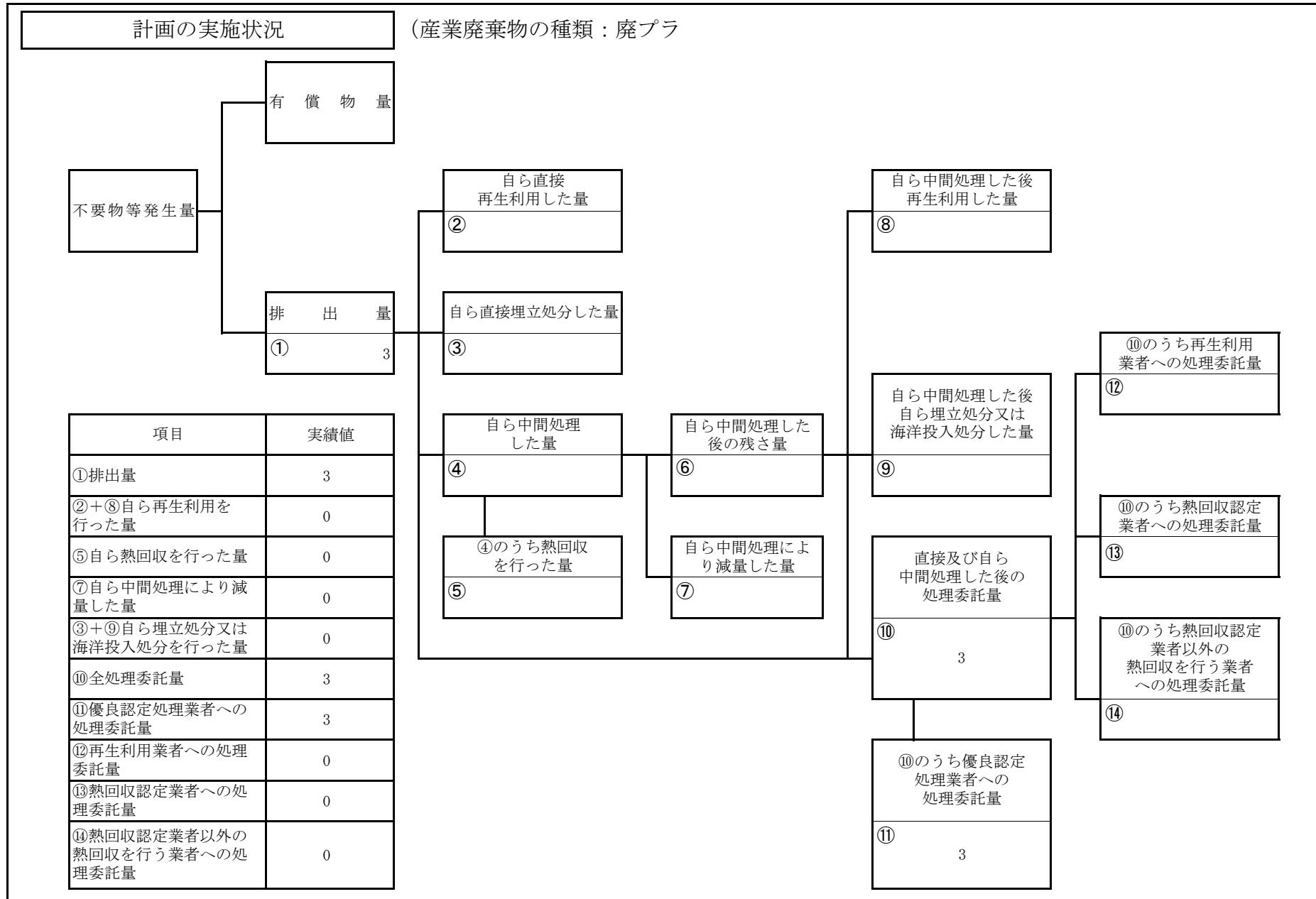


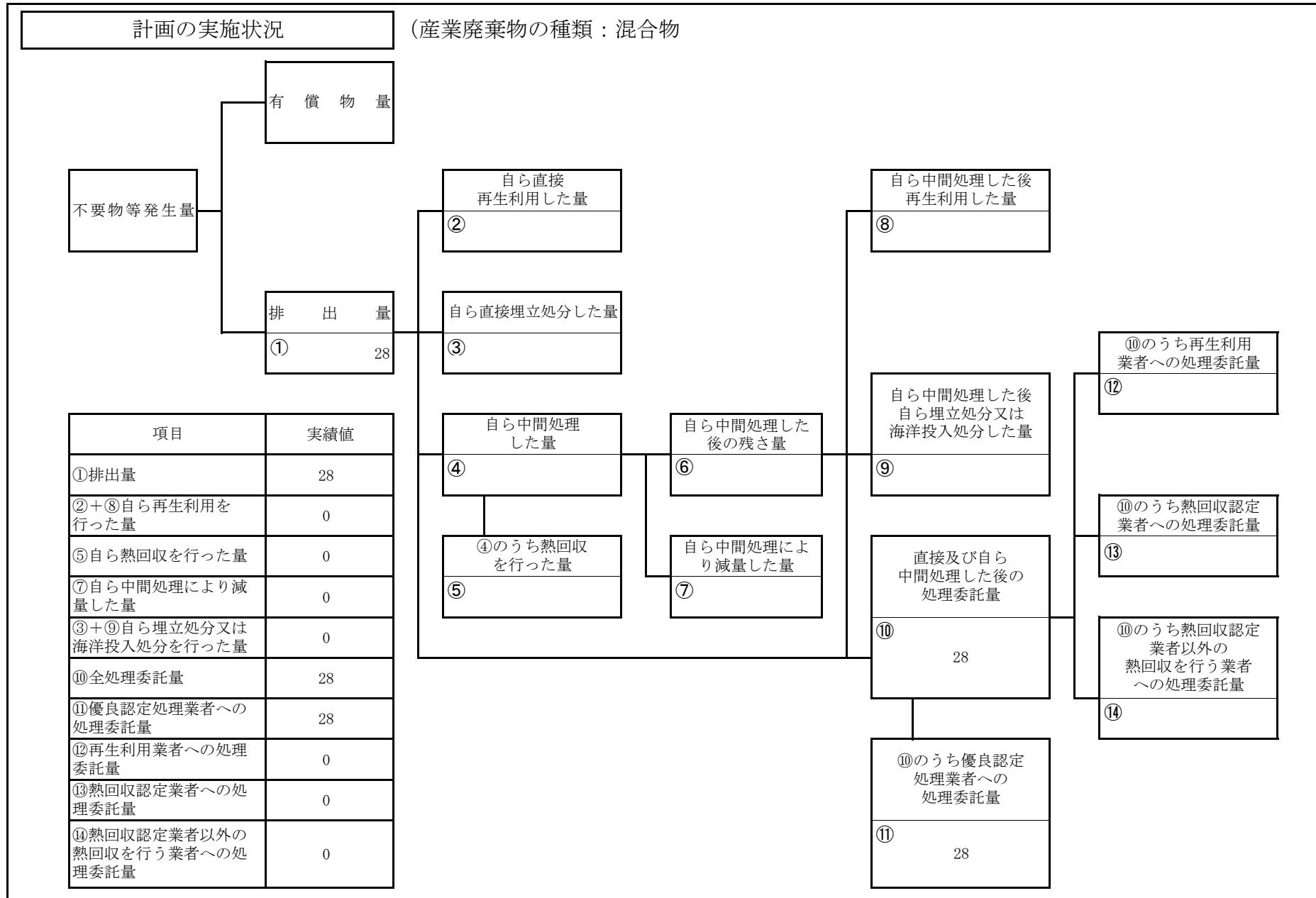
計画の実施状況

(産業廃棄物の種類：木屑)



(第2面)





## 様式第二号の九（第八条の四の六関係）

(第1面)

## 産業廃棄物処理計画実施状況報告書

令和 6年 6月 18日

(宛先) 岡崎市長

## 届出者

住 所 岡崎市稻熊町字寺下66番地26  
 氏 名 太田建設株式会社  
 代表取締役 加藤 卓司

(法人にあっては、名称及び代表者の氏名)  
 電話番号

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第10項の規定に基づき、令和 5年度の産業廃棄物処理計画の実施状況を報告します。

事業場の名称	太田建設株式会社
事業場の所在地	岡崎市稻熊町字寺下66番地26
事業の種類	06 : 総合工事業
産業廃棄物処理計画における計画期間	令和 5年 4月～令和 6年 3月

## 産業廃棄物処理計画における目標値

項目	目標値	項目	目標値
排出量	403 t	全処理委託量	403 t
自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	0 t	優良認定処理業者への処理委託量	338.6 t
自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	0 t	再生利用業者への処理委託量	64.9 t
自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	0 t	認定熱回収業者への処理委託量	0 t
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	0 t	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 t
※事務処理欄			

(日本工業規格 A列4番)

計画の実施状況

(産業廃棄物の種類：がれき類)

有 賃 物 量
不要物等発生量

不  
要  
物  
等  
発  
生  
量

自  
然  
再  
生  
利  
用  
し  
た  
量

自  
然  
中  
間  
処  
理  
し  
た  
量

排  
出  
量

自  
然  
中  
間  
処  
理  
し  
た  
量

自  
然  
中  
間  
処  
理  
し  
た  
後  
自  
然  
埋  
立  
処  
分  
又  
は  
海  
洋  
投  
入  
処  
分  
した  
量

実  
績  
値

自  
然  
中  
間  
処  
理  
し  
た  
後  
自  
然  
埋  
立  
処  
分  
又  
は  
海  
洋  
投  
入  
処  
分  
した  
量

自  
然  
中  
間  
処  
理  
し  
た  
後  
自  
然  
熱  
回  
收  
を  
行  
っ  
た  
量

自  
然  
中  
間  
処  
理  
し  
た  
後  
自  
然  
熱  
回  
收  
を  
行  
っ  
た  
量

自  
然  
中  
間  
処  
理  
し  
た  
後  
自  
然  
熱  
回  
收  
を  
行  
っ  
た  
量

自  
然  
中  
間  
処  
理  
し  
た  
後  
自  
然  
熱  
回  
收  
を  
行  
っ  
た  
量

自  
然  
中  
間  
処  
理  
し  
た  
後  
自  
然  
熱  
回  
收  
を  
行  
っ  
た  
量

自  
然  
中  
間  
処  
理  
し  
た  
後  
自  
然  
熱  
回  
收  
を  
行  
っ  
た  
量

自  
然  
中  
間  
処  
理  
し  
た  
後  
自  
然  
熱  
回  
收  
を  
行  
っ  
た  
量

自  
然  
中  
間  
処  
理  
し  
た  
後  
自  
然  
熱  
回  
收  
を  
行  
っ  
た  
量

自  
然  
中  
間  
処  
理  
し  
た  
後  
自  
然  
熱  
回  
收  
を  
行  
っ  
た  
量

自  
然  
中  
間  
処  
理  
し  
た  
後  
自  
然  
熱  
回  
收  
を  
行  
っ  
た  
量

(第2面)

①排出量	334.91	④自 然 中 間 処 理 し た 量	0	⑥自 然 中 間 処 理 し た 後 の 残 さ 量	334.91	⑨自 然 中 間 処 理 し た 後 自 然 埋 立 処 分 又 は 海 洋 投 入 処 分 した 量	0	⑪のうち再生利用業者への処理委託量	334.91
②+⑧自 然 熱 回 收 を行 った 量	0	⑤自 然 中 間 処 理 し た 量	0	⑦自 然 中 間 処 理 し た 後 自 然 熱 回 收 を 行 っ た 量	0	⑩直接及び自ら 中 間 処 理 し た 後 の 処 理 委 託 量	334.91	⑫のうち熱回収認定業者以外の 熱回収を行う業者への処理委託量	0
③+⑨自 然 埋 立 処 分 又 は 海 洋 投 入 処 分 を行 った 量	0	⑪全 処 理 委 託 量	335	⑫のうち優良認定処理業者への 処理委託量	120	⑬のうち再生利用業者への 処理委託量	335	⑭のうち熱回収認定業者以外の 熱回収を行う業者への処理委託量	120.31
⑤自 然 中 間 処 理 し た 後 自 然 熱 回 收 を行 った 量	0	⑫再生利用業者への処 理委託量	335	⑭のうち熱回収認定業者への 処理委託量	0	⑮のうち熱回収認定業者への 処理委託量	0	⑯のうち熱回収認定業者への 処理委託量	0
⑦自 然 中 間 処 理 し た 後 自 然 熱 回 收 を行 った 量	0	⑬熱 回 收 認 定 業 者 へ の 処 理 委 託 量	0	⑯のうち熱回収認定業者への 処理委託量	0	⑰のうち熱回収認定業者への 処理委託量	0	⑱のうち熱回収認定業者への 処理委託量	0
⑨自 然 中 間 処 理 し た 後 自 然 熱 回 收 を行 った 量	0	⑭のうち熱回収認定業者への 処理委託量	0	⑱のうち熱回収認定業者への 処理委託量	0	⑲のうち熱回収認定業者への 処理委託量	0	⑳のうち熱回収認定業者への 処理委託量	0

計画の実施状況

(産業廃棄物の種類：建設発生木材)

有 傷 物 量
不要物等発生量

自ら直接利用した量
② 0

自ら直接埋立処分した量
③ 0

自ら中間処理した後再生利用した量
⑧ 0

項目	実績値
①排出量	90
②+⑧自ら再生利用を行った量	0
⑤自ら熱回収を行った量	0
⑦自ら中間処理により減量した量	0
⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0
⑩全処理委託量	90
⑪優良認定処理業者への処理委託量	19
⑫再生利用業者への処理委託量	90
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0
⑭熱回収認定業者以外の熟回収を行いう業者への処理委託量	0

①排出量	90	自ら中間処理した量	④ 0	自ら中間処理した後の残さ量	⑥ 90.06	自ら中間処理により減量した量	⑦ 0	自ら中間処理した後再生利用した量	⑧ 0	自ら中間処理した後直接埋立処分した量	③ 0	自ら中間処理した後再生利用した量	⑨ 0	自ら中間処理した後直接埋立処分又は海洋投入処分した量	⑩ 90.06	⑪のうち再生利用業者への処理委託量	⑫ 0	⑪のうち熱回収認定業者への処理委託量	⑬ 0	⑪のうち熱回収認定業者以外の熟回収を行う業者への処理委託量	⑭ 0	⑪のうち優良認定処理業者への処理委託量	⑮ 19.2
------	----	-----------	-----	---------------	---------	----------------	-----	------------------	-----	--------------------	-----	------------------	-----	----------------------------	---------	-------------------	-----	--------------------	-----	-------------------------------	-----	---------------------	--------

(第2面)

計画の実施状況

(産業廃棄物の種類：廃プラスチック類)

有 傷 物 量		① 1.77	排 出 量	② 0	自ら直接利用した量	③ 0	自ら直接埋立処分した量	④ 0	自ら中間処理した量	⑤ 0	自ら中間処理による減量	⑥ 90.06	自ら中間処理した後の残さ量	⑦ 0	自ら中間処理により減量した量	⑧ 0	自ら中間処理した後 自ら埋立処分又は 海洋投入処分した量	⑨ 0	自ら中間処理した後 再生利用した量	⑩ 1.77	自ら中間処理した後 再生利用した量	⑪ 0	⑫ 0	⑬ 0	⑭ 0	⑮ 0.19
項目 実績値																										

(第2面)

計画の実施状況

(産業廃棄物の種類：廃石膏ボード)

有 傷 物 量		① 15.14	排出量	② 0	自ら直接再生利用した量	③ 0	自ら中間処理した後再生利用した量	④ 0	自ら中間処理した量	⑤ 0	自ら中間処理により減量した量	⑥ 90.06	自ら中間処理により減量した量	⑦ 0	自ら中間処理した後の残さ量	⑧ 0	自ら中間処理した後再生利用した量	⑨ 0	自ら中間処理した後再生利用した量	⑩ 15.14	⑪ 15.14	⑫ 0	⑬ 0	⑭ 0	⑮ 9.94
項目 実績値																									
①排出量	15	②+⑧自ら再生利用を行った量	0	③自ら中間処理を行った量	0	④のうち熱回収を行った量	0	⑤自ら中間処理により減量した量	0	⑥全処理委託量	15	⑦自ら中間処理により減量した量	0	⑧自ら中間処理した後再生利用した量	0	⑨のうち再生利用業者への処理委託量	15	⑩のうち熱回収認定業者への処理委託量	0	⑪のうち熱回収認定業者以外の業者への処理委託量	0	⑫のうち熱回収認定業者への処理委託量	0	⑬のうち熱回収認定業者以外の業者への処理委託量	0
⑩優良認定処理業者への処理委託量	10	⑪のうち再生利用業者への処理委託量	15	⑫のうち熱回収認定業者への処理委託量	0	⑬のうち熱回収認定業者以外の業者への処理委託量	0	⑭のうち熱回収認定業者への処理委託量	0	⑮のうち熱回収を行った量	9.94	⑯のうち熱回収を行った量	0	⑰のうち熱回収を行った量	0	⑱のうち熱回収を行った量	0	⑲のうち熱回収を行った量	0	⑳のうち熱回収を行った量	0	㉑のうち熱回収を行った量	0	㉒のうち熱回収を行った量	0

(第2面)

計画の実施状況		(産業廃棄物の種類：混合廃棄物)	
有 價 物 量	不要物等発生量	排出量	① 68.02
自ら直接 再生利用した量	② 0	自ら直接処分した量	③ 0
自ら中間処理した後 再生利用した量	⑧ 0	自ら中間処理した後 自ら埋立処分又は 海洋投入処分した量	⑫ 68.02
項目	実績値	自ら中間処理した後 の残さ量	⑥ 90.06
①排出量	68	自ら中間処理によ り減量した量	⑦ 0
②+③自ら再生利用を行った量	0	④のうち熱回収 を行った量	⑤ 0
⑤自ら熱回収を行った量	0	自ら中間処理によ り減量した量	⑩ 68.02
⑥自ら中間処理により減量した量	0	直接及び自ら 中間処理した後の 処理委託量	⑪ 0
⑦自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行った量	0	⑫のうち熱回収認定 業者以外の 熱回収を行う業者 への処理委託量	⑬ 0
⑪全処理委託量	68	⑬のうち優良認定 処理業者への 処理委託量	⑭ 0
⑫優良認定処理業者への 処理委託量	48	⑭のうち熱回収認定 業者への処理委託量	⑮ 48.26
⑬熱回収認定業者への處 理委託量	68	⑯熱回収認定業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	⑰ 0
⑭熱回収認定業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	0		

(第2面)

計画の実施状況

(産業廃棄物の種類：汚泥)

有 傷 物 量
---------

不要物等発生量

自ら直接再生利用した量
-------------

② 0

排 出 量
-------

① 17.54

自ら直接埋立処分した量
-------------

③ 0

項目	実績値
①排出量	18
②+⑧自ら再生利用を行った量	0
⑤自ら熱回収を行った量	0
⑥自ら中間処理した量	17.54
④のうち熱回収を行った量	0
⑦自ら中間処理により減量した量	0
⑧自ら埋立処分を行った量	0
⑨自ら海洋投入処分を行った量	0
⑩全処理委託量	18
⑪優良認定処理業者への処理委託量	18
⑫再生利用業者への処理委託量	0
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0
⑭熱回収認定業者以外の熟回収を行う業者への処理委託量	0

自ら中間処理した後再生利用した量
------------------

⑧ 0

自ら中間処理した後自ら埋立処分又は海洋投入処分した量
----------------------------

⑨ 0

⑩のうち再生利用業者への処理委託量
-------------------

⑫ 0

⑪のうち熱回収認定業者への処理委託量
--------------------

⑯ 0

直接及び自ら中間処理した後の残さ量
-------------------

⑮ 17.54

⑯のうち熱回収認定業者以外の熟回収を行う業者への処理委託量
-------------------------------

⑰ 0

⑱のうち優良認定処理業者への処理委託量
---------------------

⑲ 17.54

計画の実施状況

(産業廃棄物の種類：金属くず)

有 傷 物 量		① 33.81	排出量	② 0	自ら直接再生利用した量	③ 0	自ら直接処分した量	④ 0	自ら中間処理した量	⑤ 0	自ら中間処理により減量した量	⑥ 33.81	自ら中間処理による減量した量	⑦ 0	自ら中間処理した後の中間処理による減量した量	⑧ 0	自ら中間処理した後の中間処理を受ける量	⑨ 0	自ら中間処理した後の中間処理を受ける量	⑩ 33.81	自ら中間処理した後の中間処理を受ける量	⑪ 33.81	自ら中間処理した後の中間処理を受ける量	⑫ 0	自ら中間処理した後の中間処理を受ける量	⑬ 0	自ら中間処理した後の中間処理を受ける量	⑭ 0
不要物等発生量					自ら中間処理した後 再生利用した量	⑮ 0																						
					自ら中間処理した後 再生利用した量	⑯ 0																						
					自ら中間処理した後 再生利用した量	⑰ 0																						
					自ら中間処理した後 再生利用した量	⑱ 0																						

(第2面)

計画の実施状況

(産業廃棄物の種類：ガラス・陶磁器くず)

有 傷 物 量	
---------	--

不要物等発生量	
---------	--

自ら直接再生利用した量	
-------------	--

自ら中間処理した後再生利用した量	
------------------	--

排 出 量	実績値
-------	-----

自ら中間処理した量	自ら中間処理した後の残さ量
-----------	---------------

項目	①排出量	②+⑧自ら再生利用を行った量	⑤自ら熱回収を行った量	⑦自ら中間処理により減量した量	③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	⑪全処理委託量	⑬自ら中間処理した後、自ら直接及び自ら中間処理した後の処理委託量	⑭のうち優良認定業者への処理委託量
①排出量	2	0	0	0	0	2	2.28	0
②+⑧自ら再生利用を行った量	0	0	0	0	0	0	0	0
⑤自ら熱回収を行った量	0	0	0	0	0	0	0	0
⑦自ら中間処理により減量した量	0	0	0	0	0	0	0	0
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0	0	0	0	0	0	0	0
⑪全処理委託量	2	0	0	0	0	2	2.28	0
⑬自ら中間処理した後、自ら直接及び自ら中間処理した後の処理委託量	0	0	0	0	0	0	0	0
⑭のうち優良認定業者への処理委託量	1	0	0	0	0	1	0	0.78

(第2面)

⑮のうち再生利用業者への処理委託量	⑯のうち再生利用業者への処理委託量
-------------------	-------------------

⑰のうち再生利用業者への処理委託量	⑱のうち再生利用業者への処理委託量
-------------------	-------------------

⑲のうち再生利用業者への処理委託量	⑳のうち再生利用業者への処理委託量
-------------------	-------------------

㉑のうち熱回収認定業者への処理委託量	㉒のうち熱回収認定業者への処理委託量
--------------------	--------------------

計画の実施状況

(産業廃棄物の種類：燃えがら)

有 傷 物 量	① 2.03	排出量	② 0	自ら直接再生利用した量	③ 0	自ら直接埋立処分した量	④ 0	自ら中間処理した量	⑤ 0	自ら中間処理した後の残さ量	⑥ 2.03	自ら中間処理した後 自ら埋立処分又は 海洋投入処分した量	⑦ 0	自ら中間処理した後 再生利用した量	⑧ 0	自ら中間処理した後 再生利用した量	⑨ 0	自ら中間処理した後 再生利用した量	⑩ 0	⑪のうち再生利用委託量	⑫ 0	⑪のうち再生利用業者への処理委託量	⑬ 0	⑪のうち熱回収認定業者への処理委託量	⑭ 0	⑪のうち優良認定業者への処理委託量	⑮ 0
不要物等発生量																											

(第2面)

計画の実施状況

(産業廃棄物の種類：アスベスト含有物)

有 償 物 量
------------------

不要物等発生量

自ら直接  
再生利用した量

自ら中間処理した後  
再生利用した量

排  
出  
量

自ら中間処理  
した量

項目  
実績値

自ら中間処理  
した量

自ら中間処理した後  
の残さ量

自ら中間処理によ  
り減量した量

⑨ 0

⑩ 0

⑪ 0

⑫ 0

⑬ 0

⑭ 0

⑮ 4.15

)

(第2面)

①排出量	5	④のうち熱回収 を行った量	0	⑦自ら中間処理によ り減量した量	0	⑩直接及び自ら 中間処理した後の 処理委託量	5.2
②+⑧自ら再生利用を 行った量	0	⑤自ら熱回収を行つた量	0	⑥自ら中間処理した 後の残さ量	5.2	⑪のうち熱回収認定 業者以外の 熱回収を行う業者 への処理委託量	0
⑤自ら中間処理によ り減量した量	0	③+⑨自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行つた量	0	⑦自ら中間処理によ り減量した量	0	⑫のうち熱回収認定 業者への処理委託量	0
⑦自ら中間処理によ り減量した量	0	⑩全処理委託量	5	⑪のうち優良認定 処理業者への 処理委託量	4	⑯のうち優良認定 処理業者への 処理委託量	4
⑩自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行つた量	0	⑪のうち再生利用を 行った量	0	⑫のうち再生利用を 行った量	0	⑰のうち熱回収を行つ た業者への処理委託量	0
⑪全処理委託量	5	⑫のうち熱回収を行つ た業者への処理委託量	0	⑲のうち熱回収を行つ た業者への処理委託量	0	⑳のうち熱回収を行つ た業者への処理委託量	0
⑬優良認定処理業者への 処理委託量	4	⑳のうち熱回収を行つ た業者への処理委託量	0	⑳のうち熱回収を行つ た業者への処理委託量	0	⑳のうち熱回収を行つ た業者への処理委託量	0
⑭再生利用業者への処 理委託量	0	⑳のうち熱回収を行つ た業者への処理委託量	0	⑳のうち熱回収を行つ た業者への処理委託量	0	⑳のうち熱回収を行つ た業者への処理委託量	0
⑮熱回収認定業者への処 理委託量	0	⑳のうち熱回収を行つ た業者への処理委託量	0	⑳のうち熱回収を行つ た業者への処理委託量	0	⑳のうち熱回収を行つ た業者への処理委託量	0
⑯熱回収を行つた業者への 処理委託量	0	⑳のうち熱回収を行つ た業者への処理委託量	0	⑳のうち熱回収を行つ た業者への処理委託量	0	⑳のうち熱回収を行つ た業者への処理委託量	0

(第3面)

備考

- 1 翌年度の6月30日までに提出すること。
- 2 「事業の種類」の欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
- 3 「産業廃棄物処理計画における目標値」の欄には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載した目標値を記入すること。
- 4 第2面には、前年度の産業廃棄物の処理について、①～⑭の欄のそれぞれに、(1)から(14)に掲げる量を記入すること。
  - (1) ①欄 当該事業場において生じた産業廃棄物の量
  - (2) ②欄 (1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら再生利用した量
  - (3) ③欄 (1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら埋立処分又は海洋投入処分した量
  - (4) ④欄 (1)の量のうち、自ら中間処理をした産業廃棄物の当該中間処理前の量
  - (5) ⑤欄 (4)の量のうち、熱回収を行った量
  - (6) ⑥欄 自ら中間処理をした後の量
  - (7) ⑦欄 (4)の量から(6)の量を差し引いた量
  - (8) ⑧欄 (6)の量のうち、自ら利用し、又は他人に売却した量
  - (9) ⑨欄 (6)の量のうち、自ら埋立処分及び海洋投入処分した量
  - (10) ⑩欄 中間処理及び最終処分を委託した量
  - (11) ⑪欄 (10)の量のうち、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量
  - (12) ⑫欄 (10)の量のうち、処理業者への再生利用委託量
  - (13) ⑬欄 (10)の量のうち、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量
  - (14) ⑭欄 (10)の量のうち、認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量
- 5 第2面の左下の表には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載したそれぞれの実績値を記入すること。
- 6 産業廃棄物の種類が2以上あるときは、産業廃棄物の種類ごとに、第2面の例により産業廃棄物処理計画の実施状況を明らかにした書面を作成し、当該書面を添付すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

**様式第二号の九** (第八条の四の六関係)

(第1面)

産業廃棄物処理計画実施状況報告書

令和 6年 6月 25日

(宛先) 岡崎市長

届出者

住 所 岡崎市薦田1丁目11番地57

氏 名 株式会社加納空調工事センター  
代表取締役 神尾 哲平

(法人にあっては、名称及び代表者の氏名)

電話番号 0564-23-1859

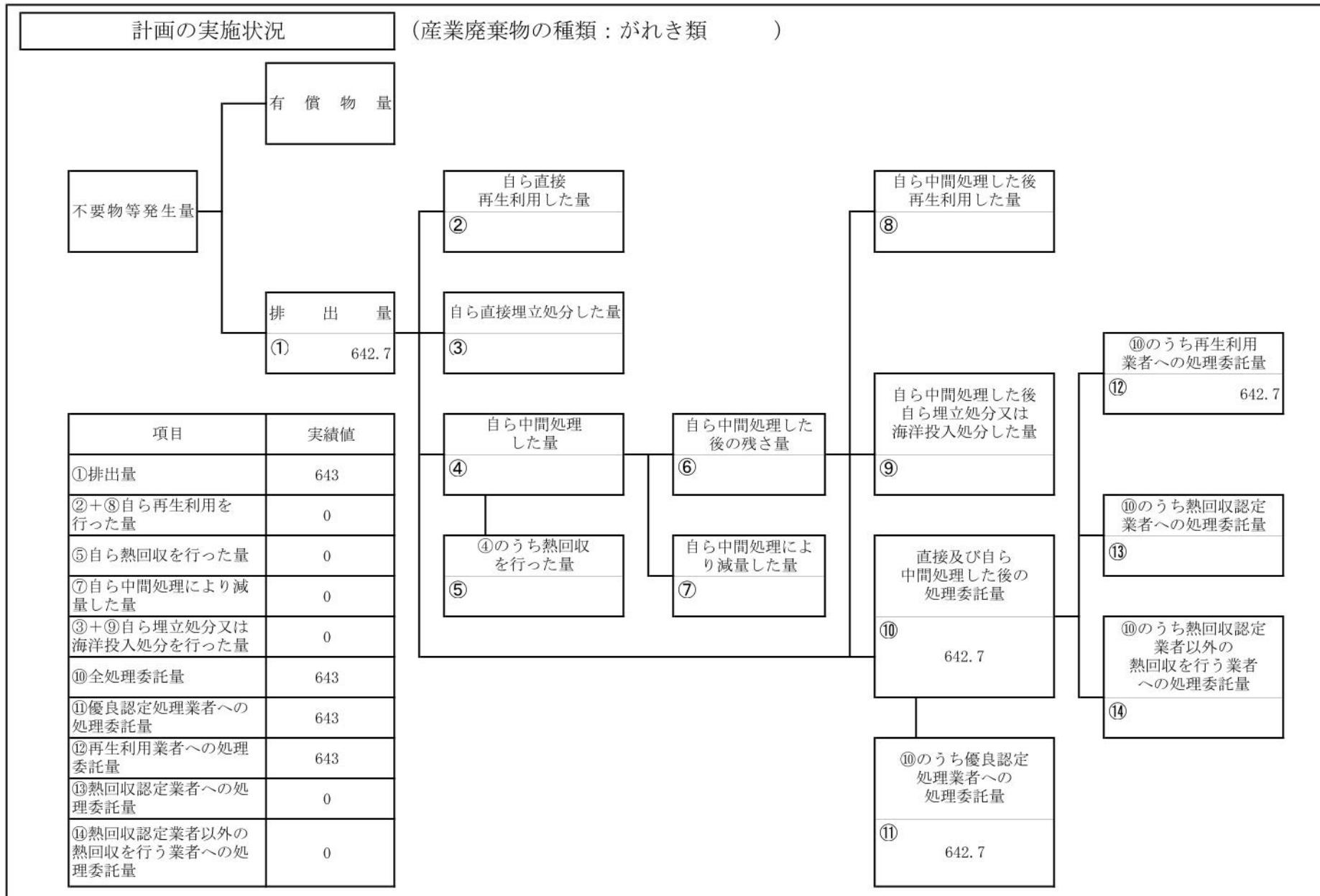
廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第10項の規定に基づき、令和5年度の産業廃棄物処理計画の実施状況を報告します。

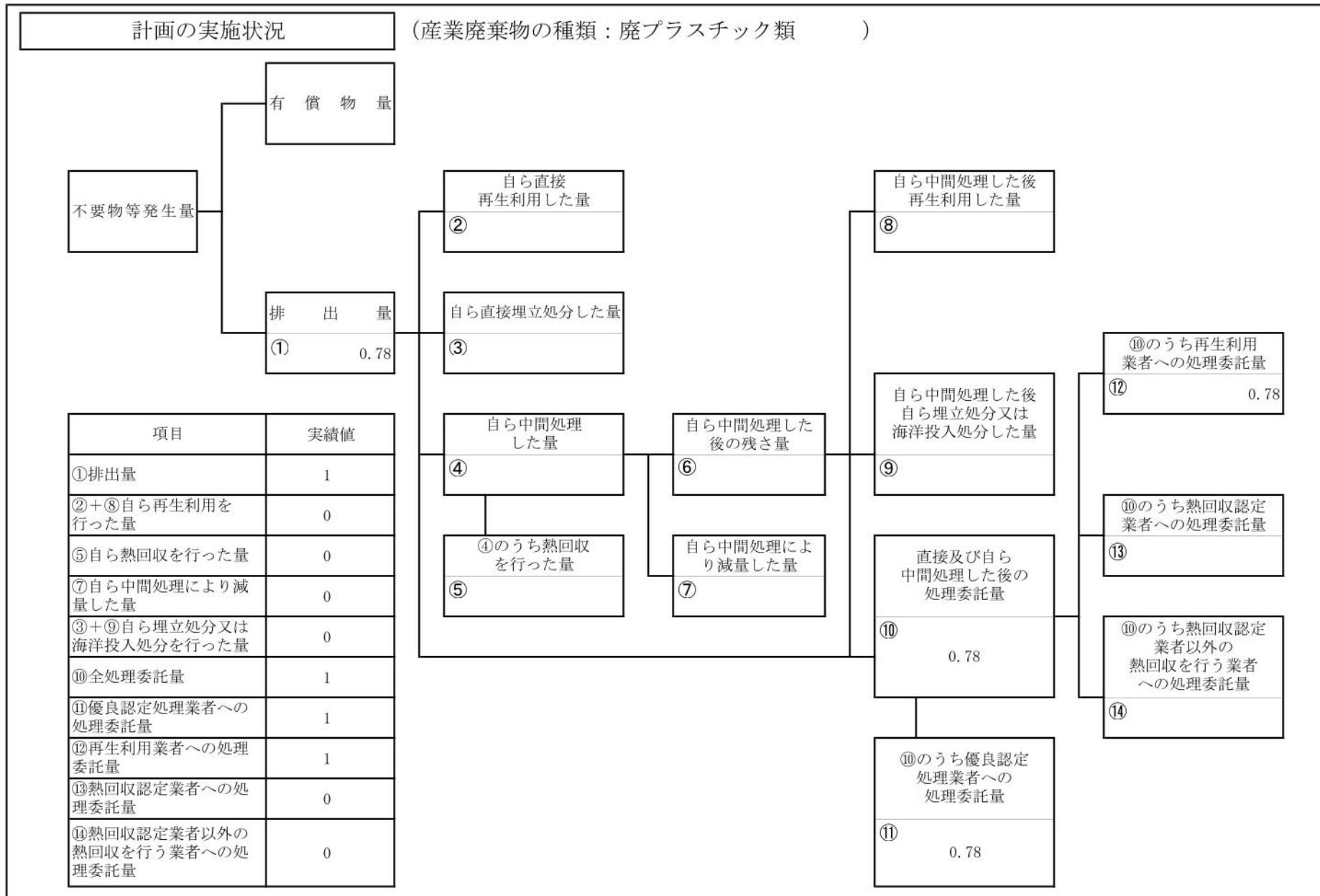
事業場の名称	株式会社 加納空調工事センター
事業場の所在地	愛知県岡崎市薦田1丁目11番地57
事業の種類	水道施設、管工事業
産業廃棄物処理計画における計画期間	令和5年度(令和4年4月～令和5年3月)

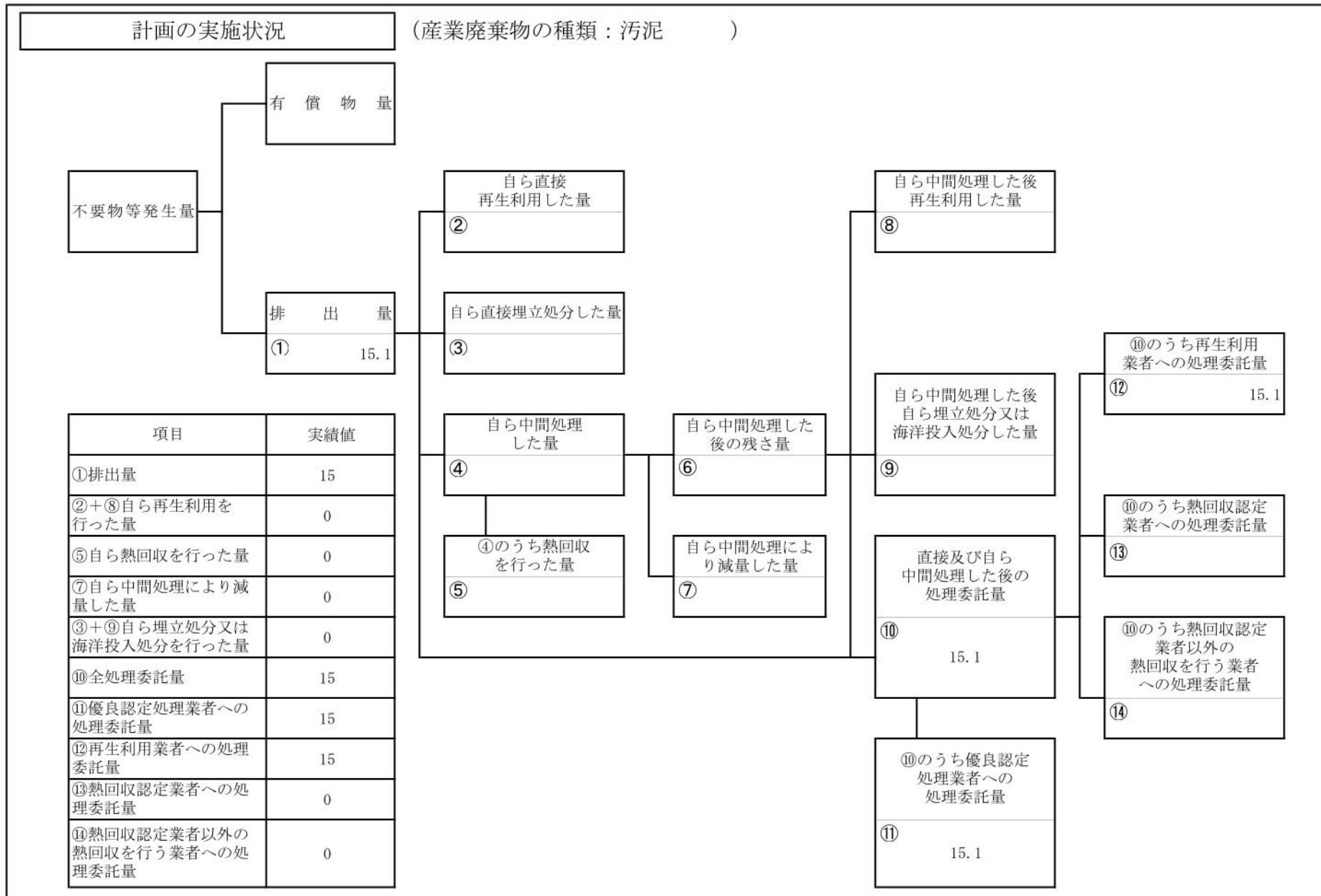
産業廃棄物処理計画における目標値

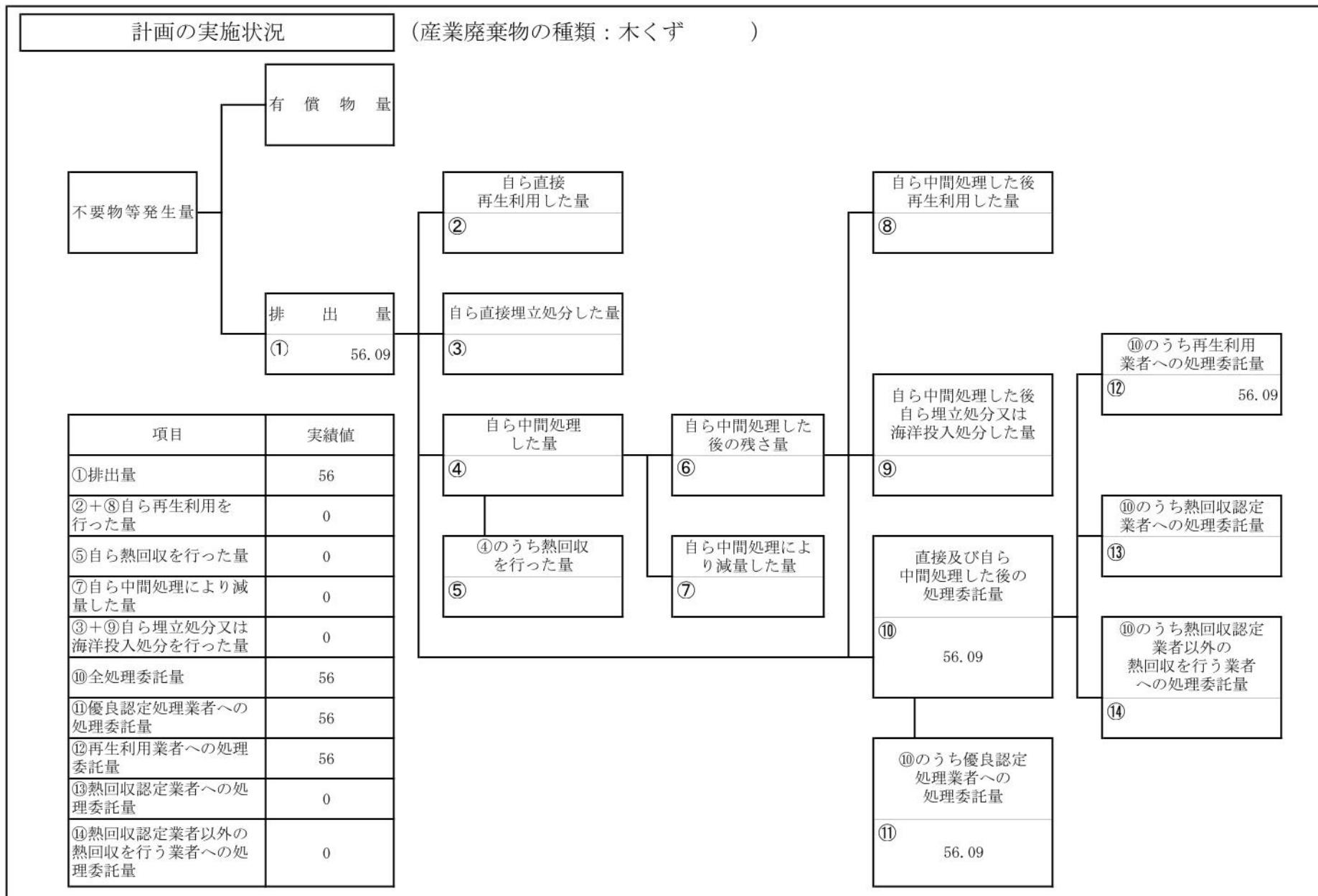
項目	目標値	項目	目標値
排出量	1169 t	全処理委託量	1169 t
自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	0 t	優良認定処理業者への処理委託量	1169 t
自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	0 t	再生利用業者への処理委託量	1168 t
自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	0 t	認定熱回収業者への処理委託量	0 t
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	0 t	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 t
※事務処理欄			

(日本工業規格 A列4番)









備考

- 1 翌年度の6月30日までに提出すること。
- 2 「事業の種類」の欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
- 3 「産業廃棄物処理計画における目標値」の欄には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載した目標値を記入すること。
- 4 第2面には、前年度の産業廃棄物の処理に関して、①～⑭の欄のそれぞれに、(1)から(14)に掲げる量を記入すること。
  - (1) ①欄 当該事業場において生じた産業廃棄物の量
  - (2) ②欄 (1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら再生利用した量
  - (3) ③欄 (1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら埋立処分又は海洋投入処分した量
  - (4) ④欄 (1)の量のうち、自ら中間処理をした産業廃棄物の当該中間処理前の量
  - (5) ⑤欄 (4)の量のうち、熱回収を行った量
  - (6) ⑥欄 自ら中間処理をした後の量
  - (7) ⑦欄 (4)の量から(6)の量を差し引いた量
  - (8) ⑧欄 (6)の量のうち、自ら利用し、又は他人に売却した量
  - (9) ⑨欄 (6)の量のうち、自ら埋立処分及び海洋投入処分した量
  - (10) ⑩欄 中間処理及び最終処分を委託した量
  - (11) ⑪欄 (10)の量のうち、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量
  - (12) ⑫欄 (10)の量のうち、処理業者への再生利用委託量
  - (13) ⑬欄 (10)の量のうち、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量
  - (14) ⑭欄 (10)の量のうち、認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量
- 5 第2面の左下の表には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載したそれぞれの実績値を記入すること。
- 6 産業廃棄物の種類が2以上あるときは、産業廃棄物の種類ごとに、第2面の例により産業廃棄物処理計画の実施状況を明らかにした書面を作成し、当該書面を添付すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

様式第二号の九 (第八条の四の六関係)

(第1面)

産業廃棄物処理計画実施状況報告書

2024年6月19日

(宛先) 岡崎市長

届出者

住 所 愛知県名古屋市中区錦1丁目19番24号  
氏 名 株式会社NIPPO 中部支店

(法人にあっては、名称及び代表者の氏名) 執行役員支店長 山縣 裕  
電話番号 052-211-6571

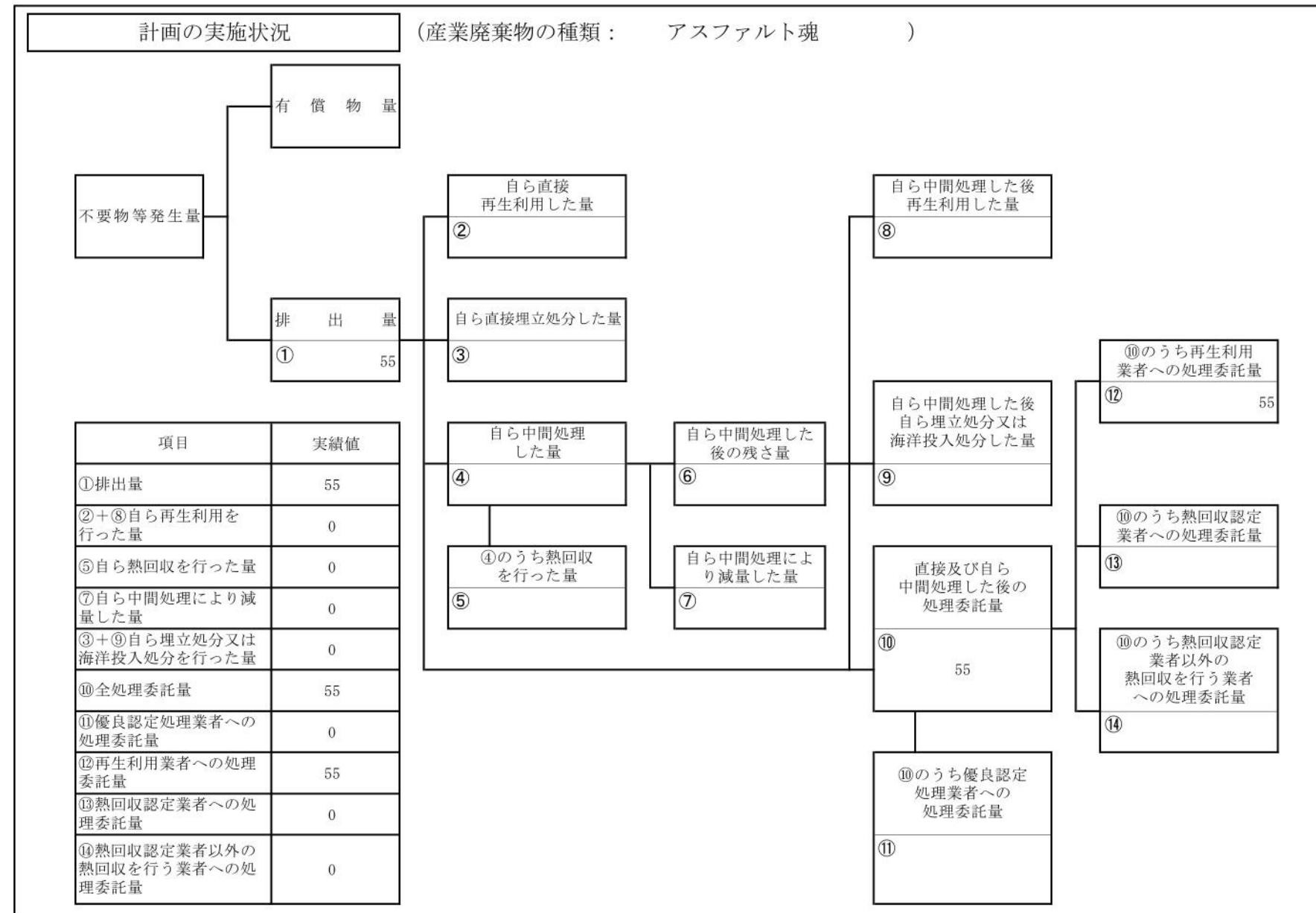
廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第10項の規定に基づき、2023年度の産業廃棄物処理計画の実施状況を報告します。

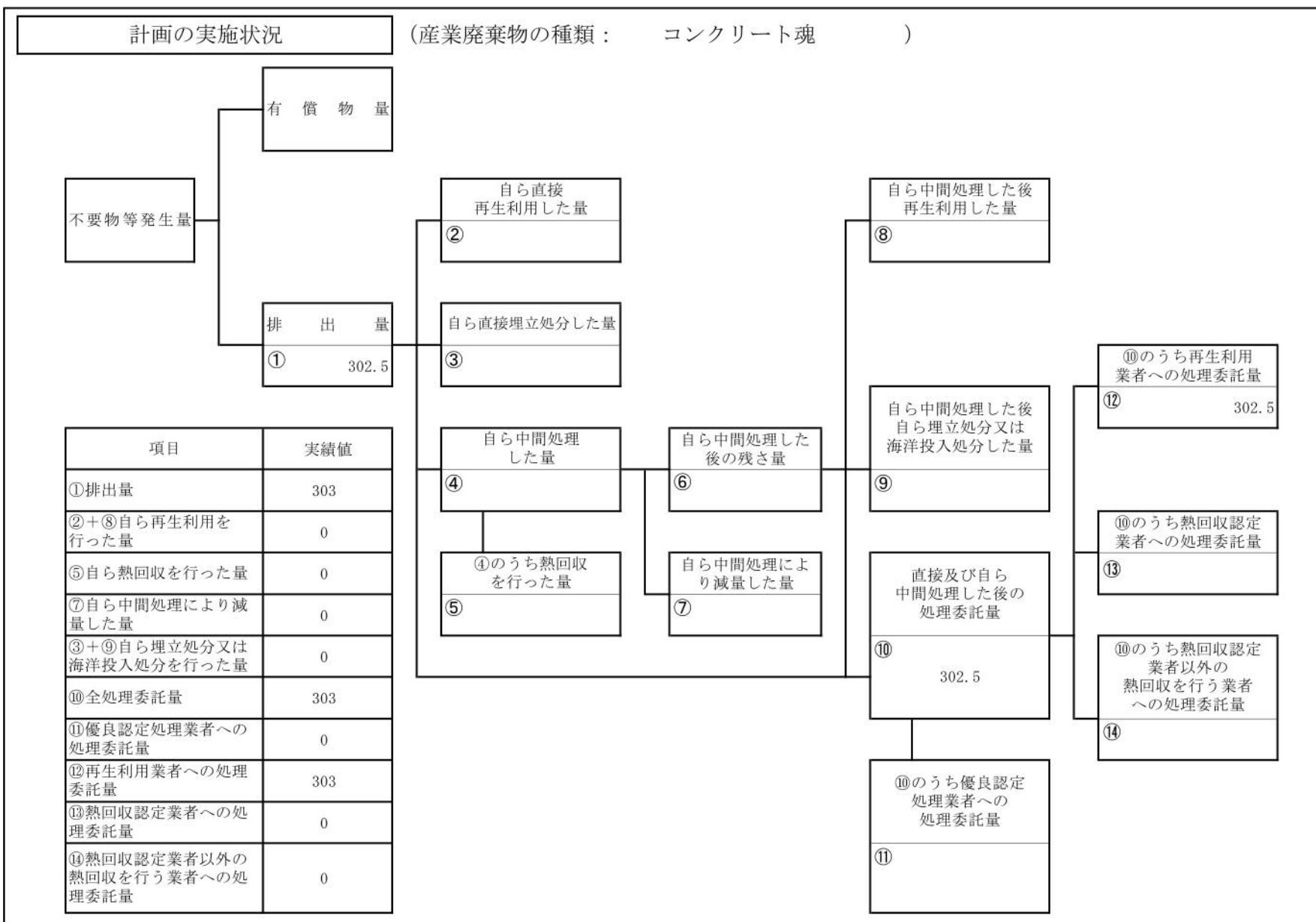
事業場の名称	株式会社NIPPO 豊田出張所
事業場の所在地	愛知県豊田市山之手2-96
事業の種類	総合工事業
産業廃棄物処理計画における計画期間	2023年4月1日～2024年3月31日

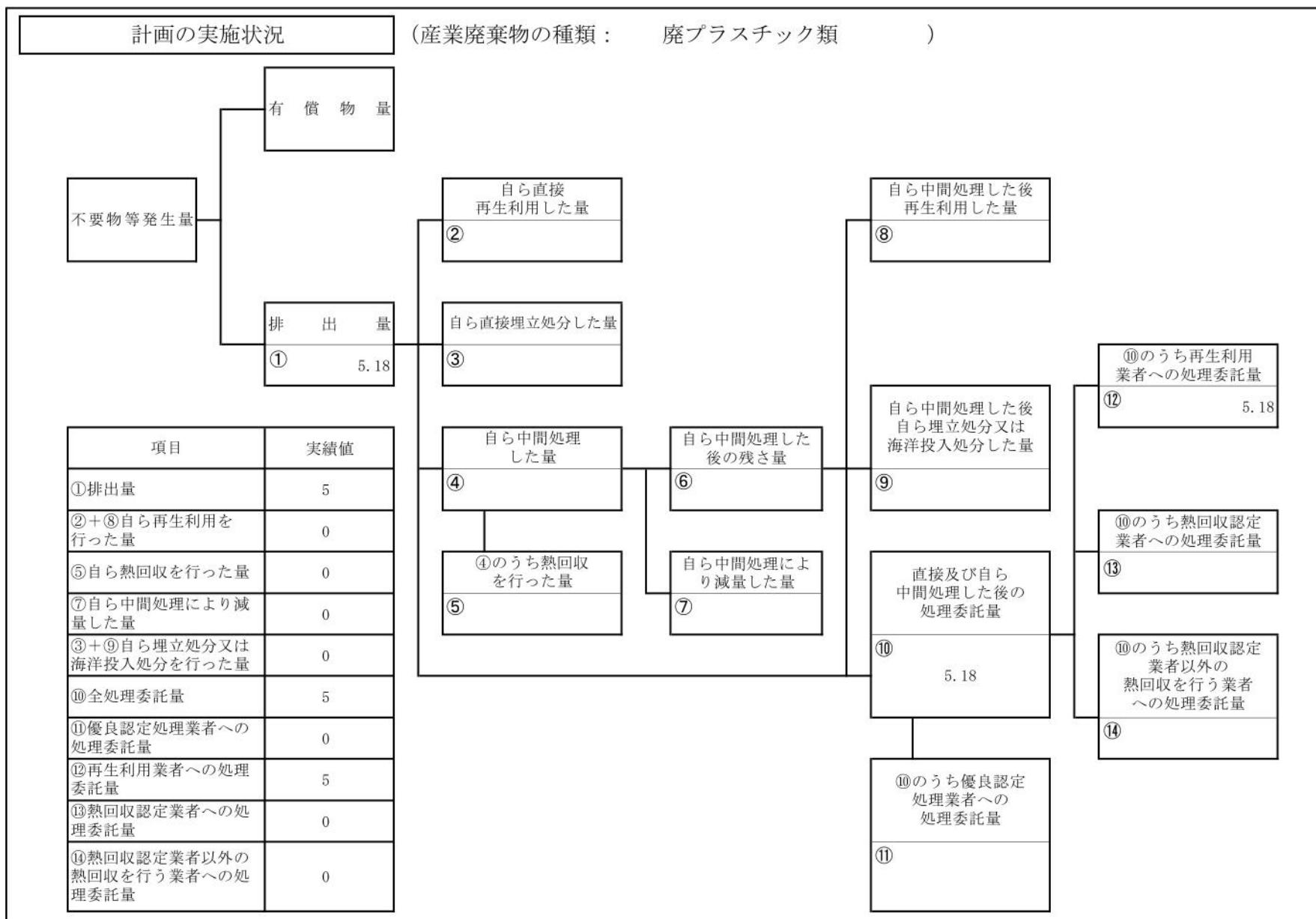
産業廃棄物処理計画における目標値

項目	目標値	項目	目標値
排出量	180 t	全処理委託量	180 t
自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	t	優良認定処理業者への処理委託量	t
自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	t	再生利用業者への処理委託量	180 t
自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	t	認定熱回収業者への処理委託量	t
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t
※事務処理欄			

(日本工業規格 A列4番)







備考

- 1 翌年度の6月30日までに提出すること。
- 2 「事業の種類」の欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
- 3 「産業廃棄物処理計画における目標値」の欄には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載した目標値を記入すること。
- 4 第2面には、前年度の産業廃棄物の処理について、①～⑭の欄のそれぞれに、(1)から(14)に掲げる量を記入すること。
  - (1) ①欄 当該事業場において生じた産業廃棄物の量
  - (2) ②欄 (1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら再生利用した量
  - (3) ③欄 (1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら埋立処分又は海洋投入処分した量
  - (4) ④欄 (1)の量のうち、自ら中間処理をした産業廃棄物の当該中間処理前の量
  - (5) ⑤欄 (4)の量のうち、熱回収を行った量
  - (6) ⑥欄 自ら中間処理をした後の量
  - (7) ⑦欄 (4)の量から(6)の量を差し引いた量
  - (8) ⑧欄 (6)の量のうち、自ら利用し、又は他人に売却した量
  - (9) ⑨欄 (6)の量のうち、自ら埋立処分及び海洋投入処分した量
  - (10) ⑩欄 中間処理及び最終処分を委託した量
  - (11) ⑪欄 (10)の量のうち、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量
  - (12) ⑫欄 (10)の量のうち、処理業者への再生利用委託量
  - (13) ⑬欄 (10)の量のうち、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量
  - (14) ⑭欄 (10)の量のうち、認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量
- 5 第2面の左下の表には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載したそれぞれの実績値を記入すること。
- 6 産業廃棄物の種類が2以上あるときは、産業廃棄物の種類ごとに、第2面の例により産業廃棄物処理計画の実施状況を明らかにした書面を作成し、当該書面を添付すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

**様式第二号の九** (第八条の四の六関係)

(第1面)

産業廃棄物処理計画実施状況報告書

Friday, June 28, 2024

(宛先) 岡崎市長

届出者

住所 名古屋市東区泉1-23-22  
氏名 トヨタホーム愛知株式会社  
代表取締役 加藤文昭

(法人にあっては、名称及び代表者の氏名)  
電話番号 052-950-1665

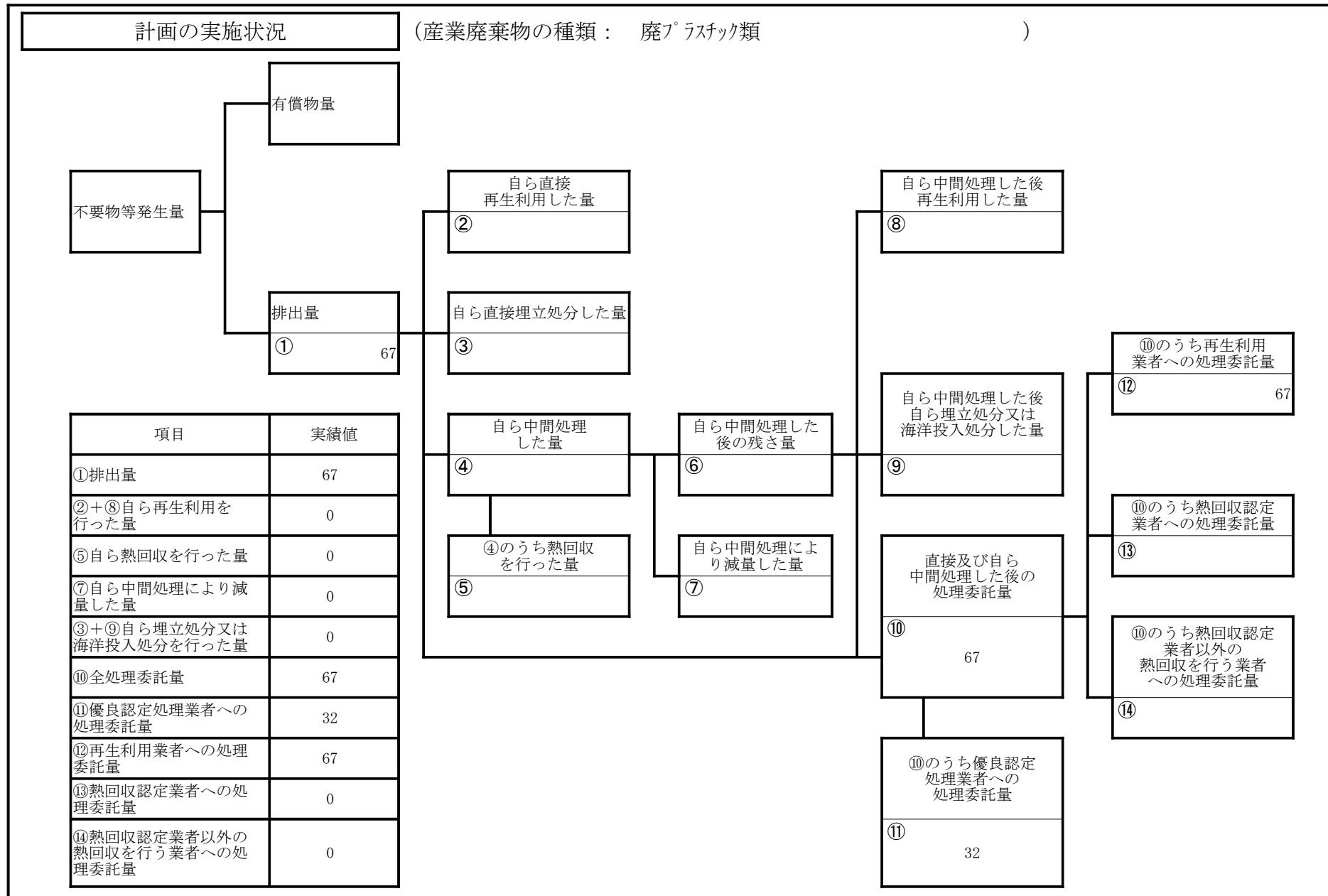
廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第10項の規定に基づき、令和3年度の産業廃棄物処理計画の実施状況を報告します。

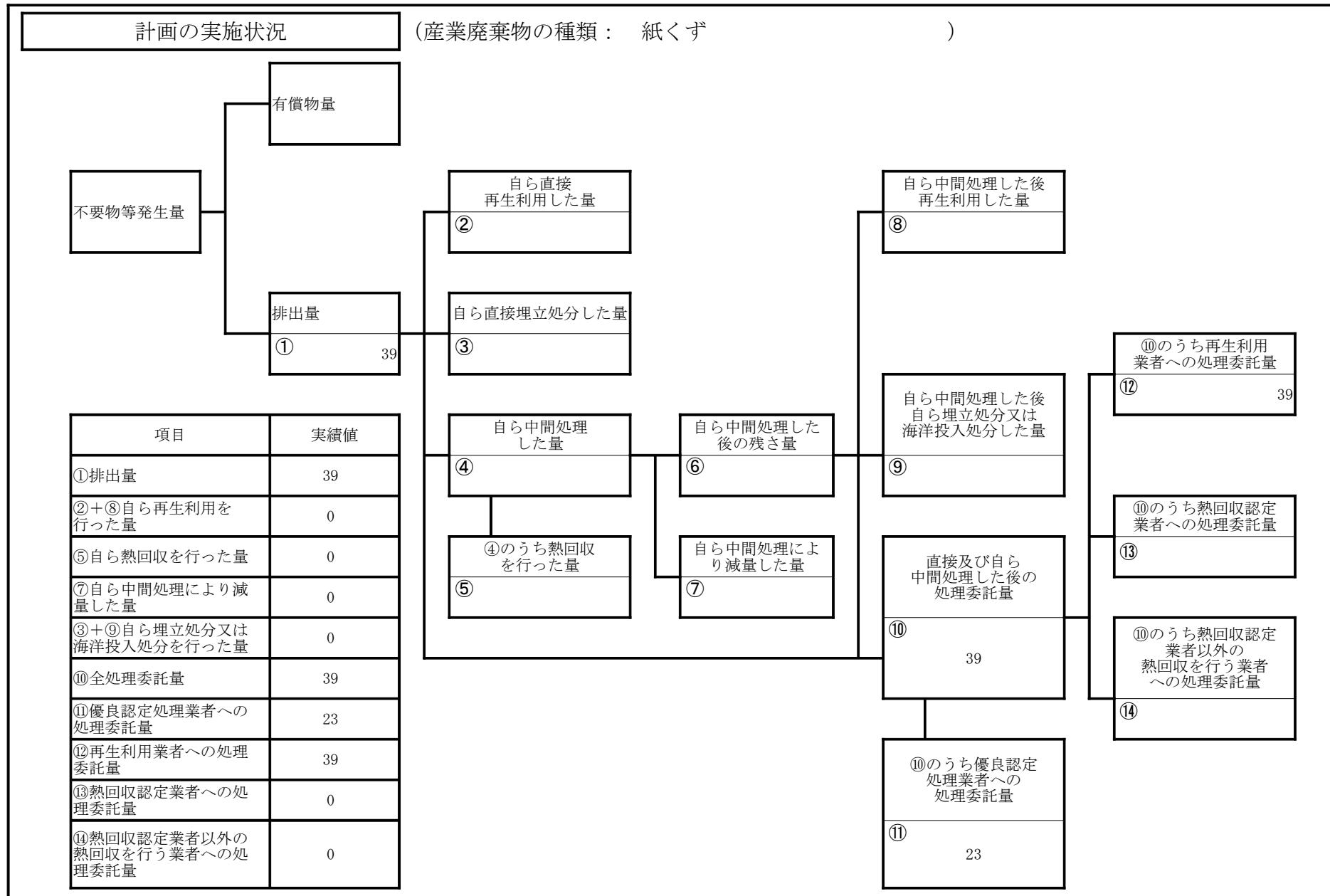
事業場の名称	トヨタホーム愛知株式会社
事業場の所在地	名古屋市東区泉1-23-22
事業の種類	06 総合工事業
産業廃棄物処理計画における計画期間	令和5年4月1日～令和6年3月31日

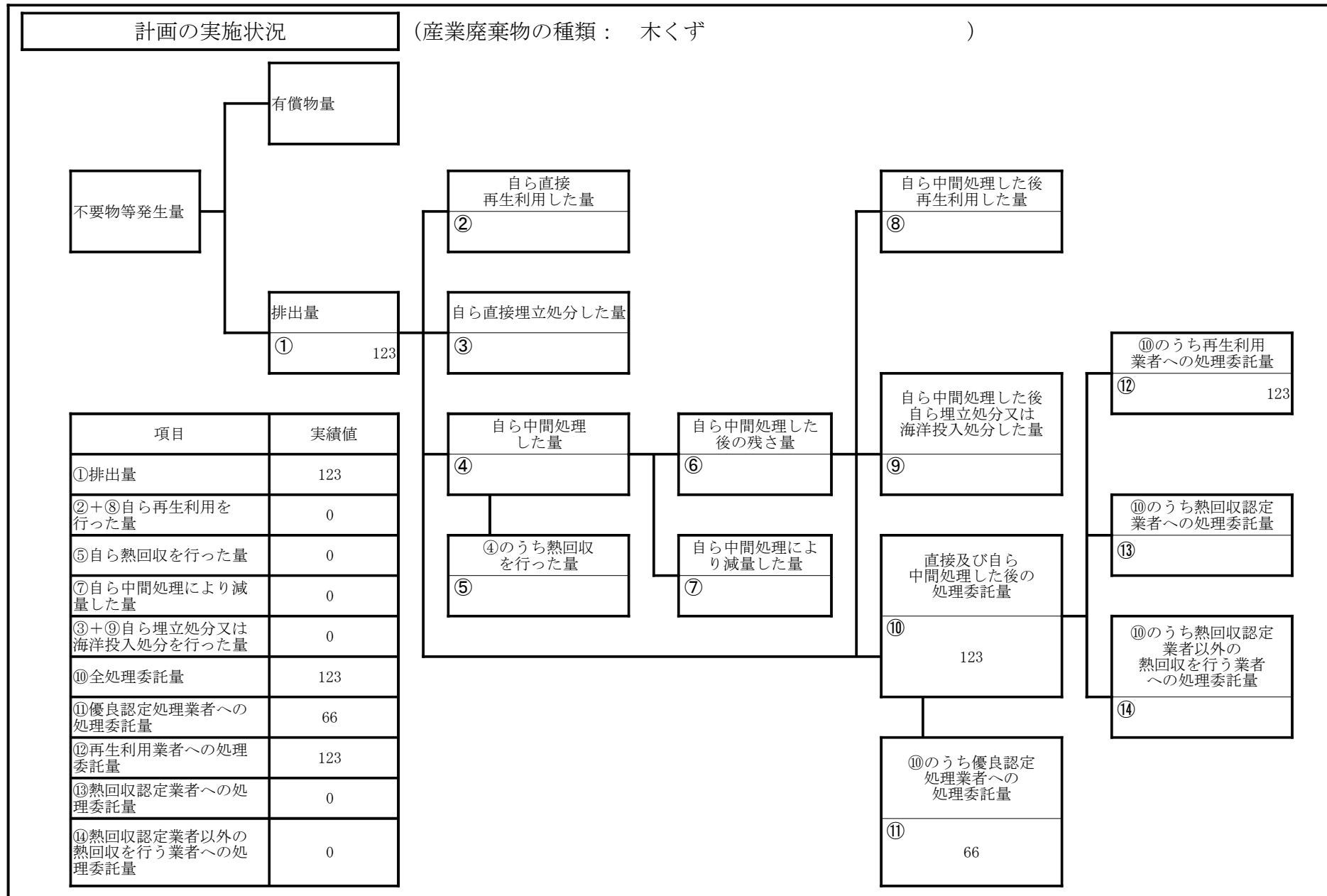
産業廃棄物処理計画における目標値

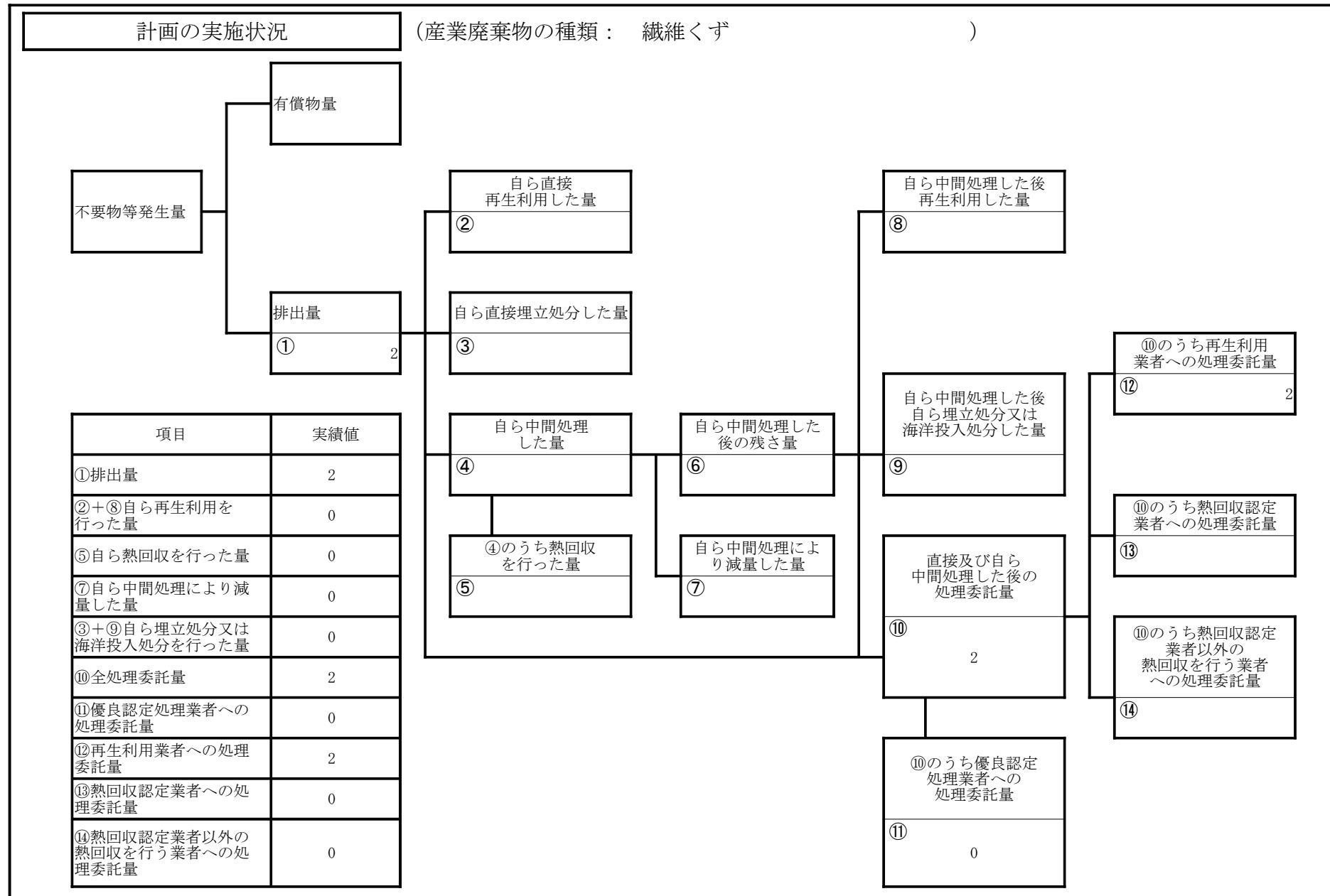
項目	目標値	項目	目標値
排出量	1,113 t	全処理委託量	1,113 t
自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	t	優良認定処理業者への処理委託量	336 t
自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	t	再生利用業者への処理委託量	1,113 t
自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	t	認定熱回収業者への処理委託量	t
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t
※事務処理欄			

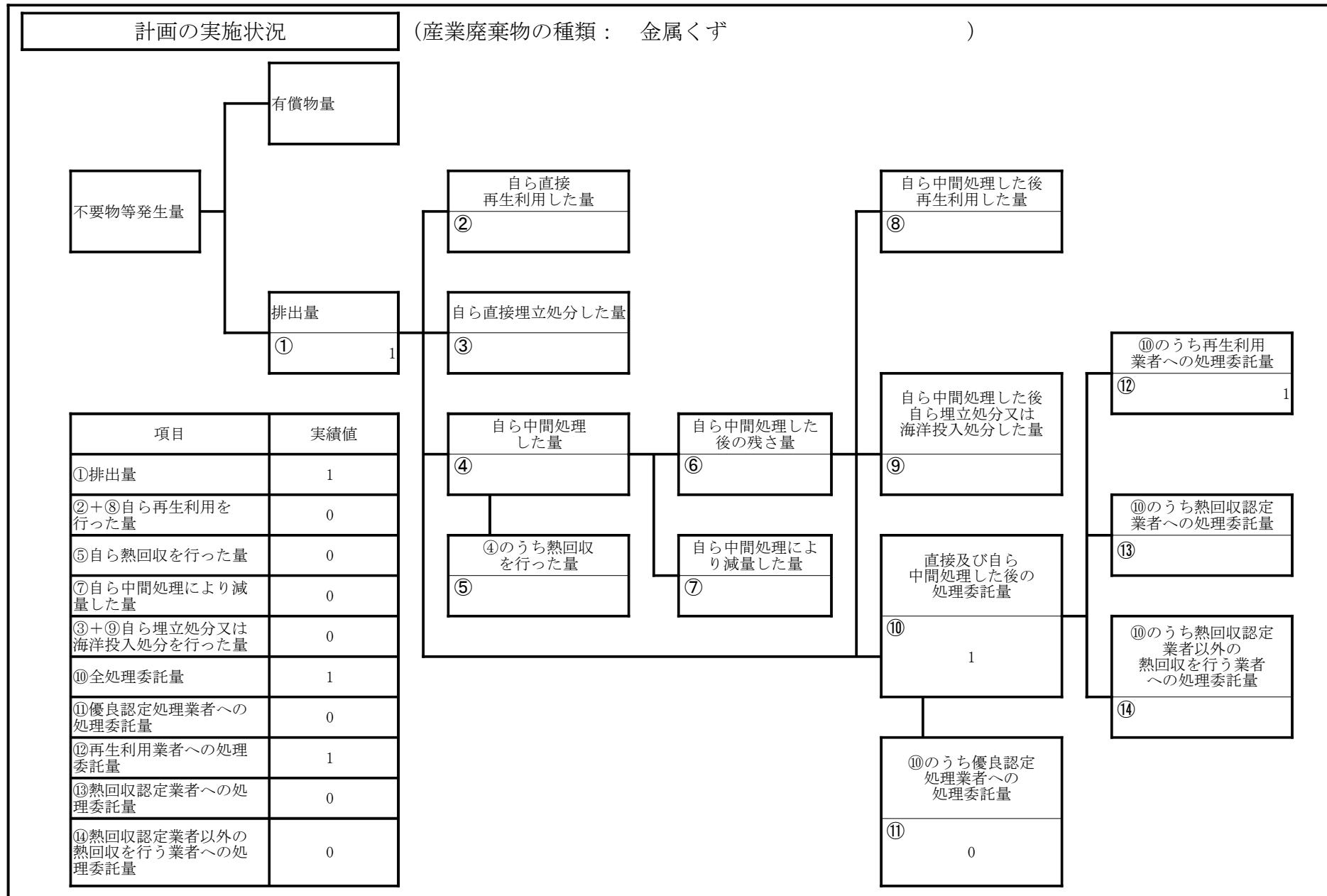
(日本工業規格 A列4番)

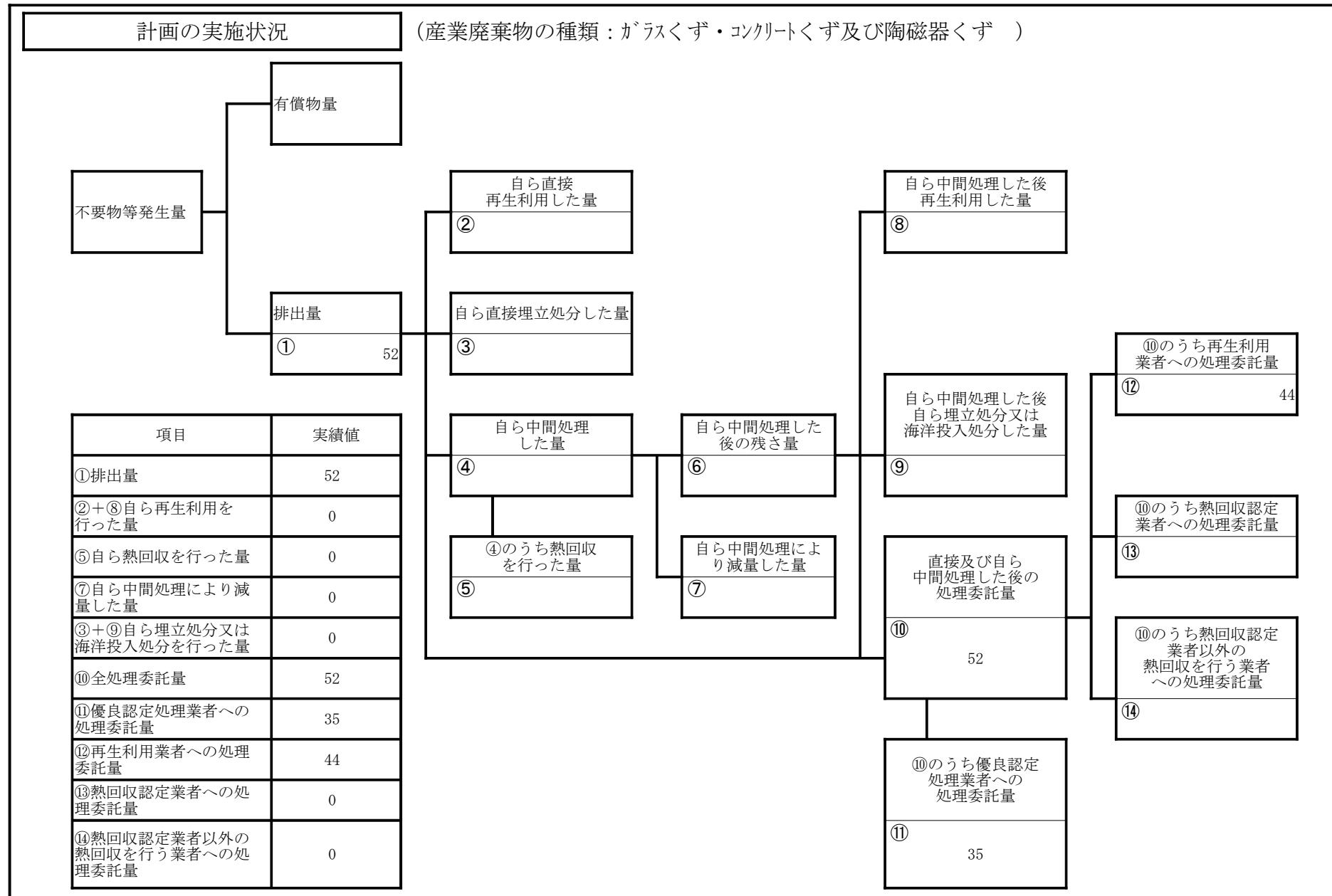


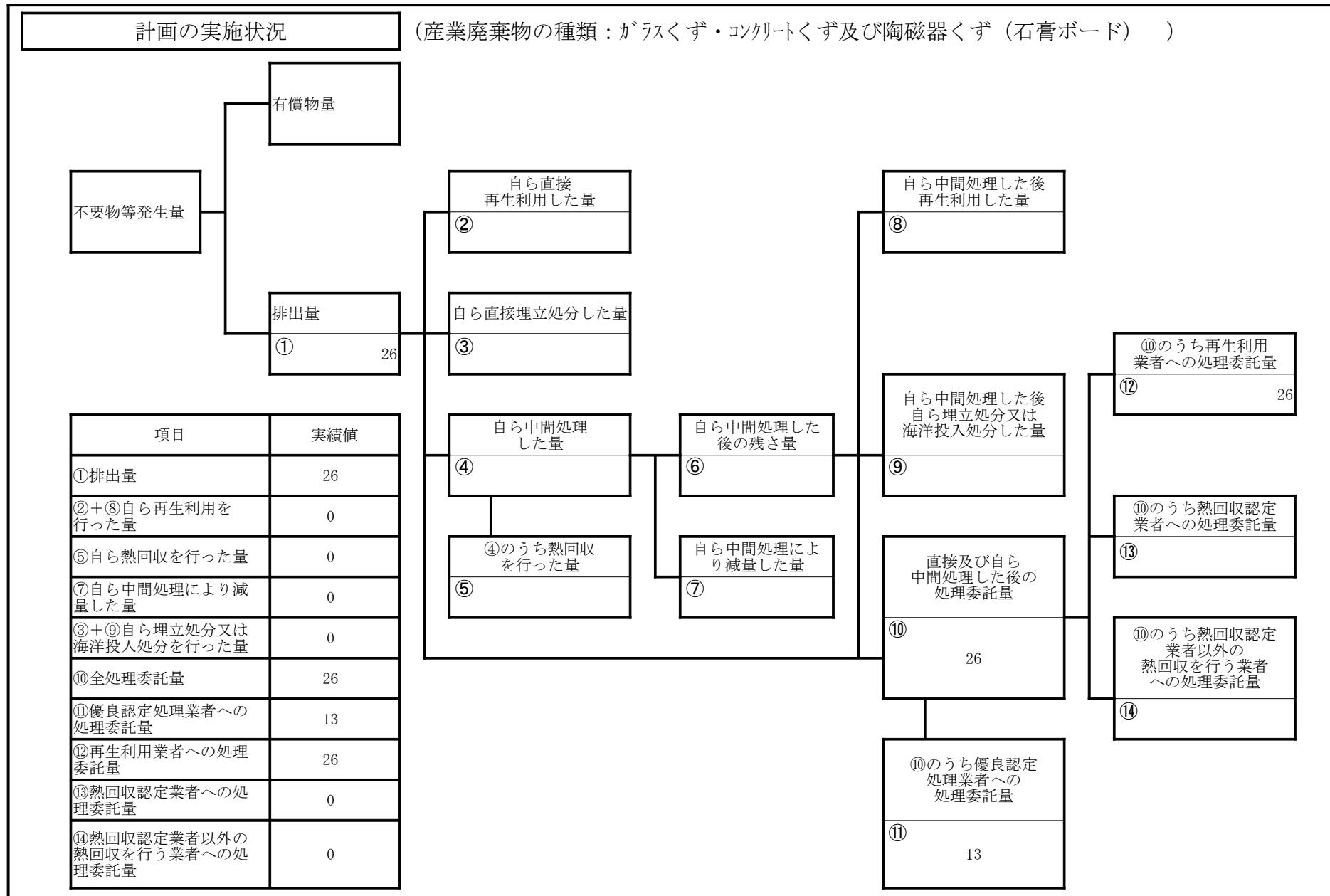


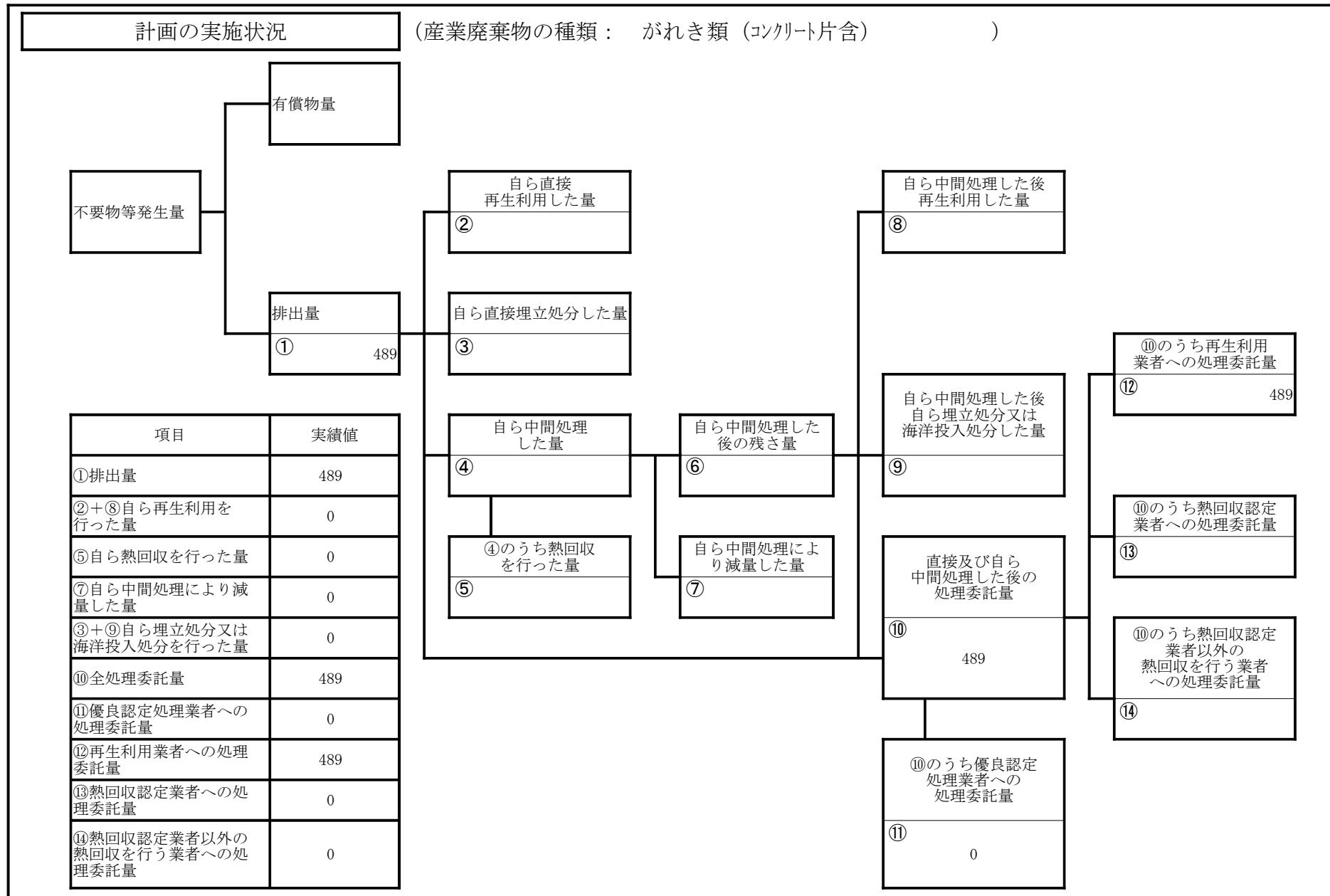








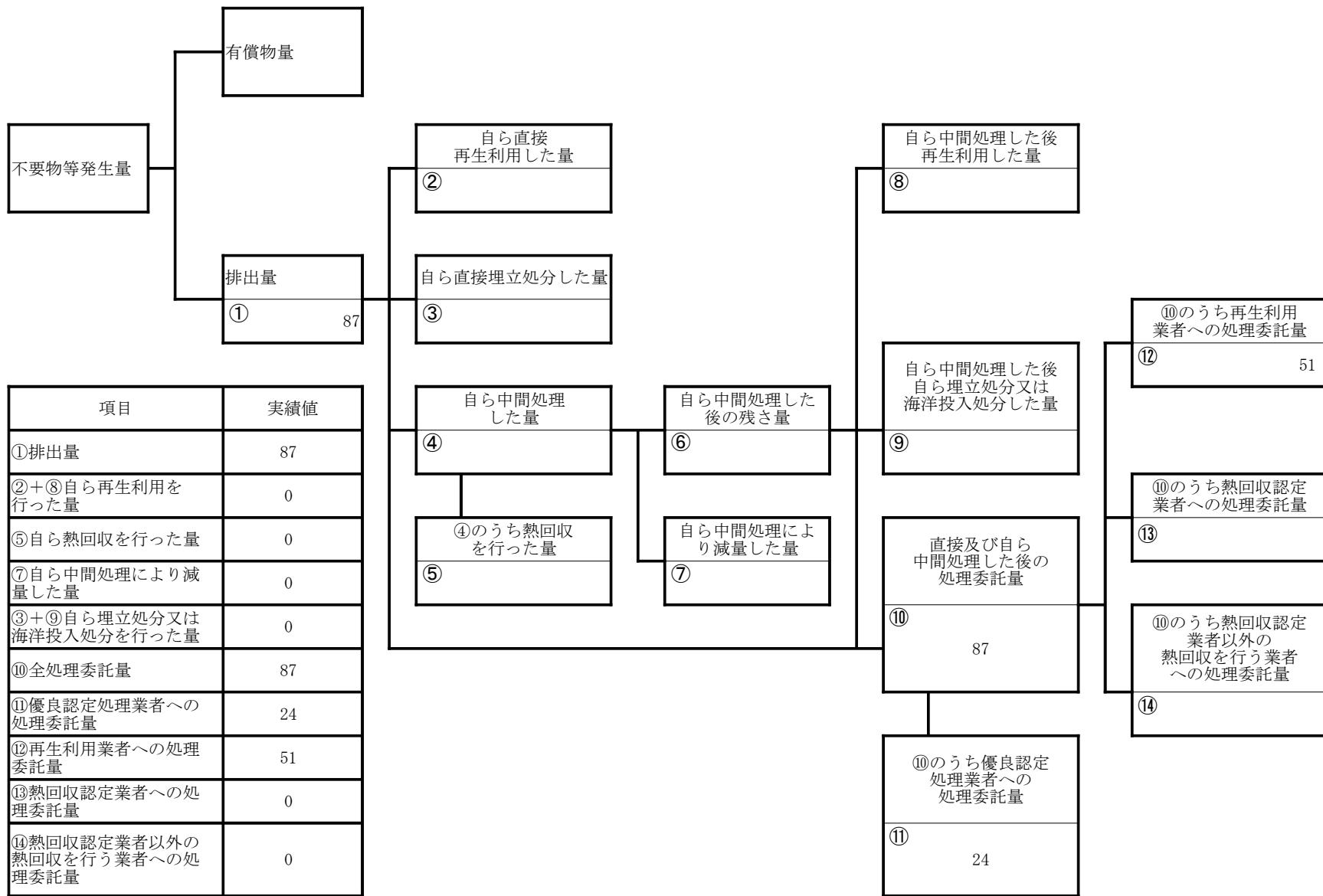


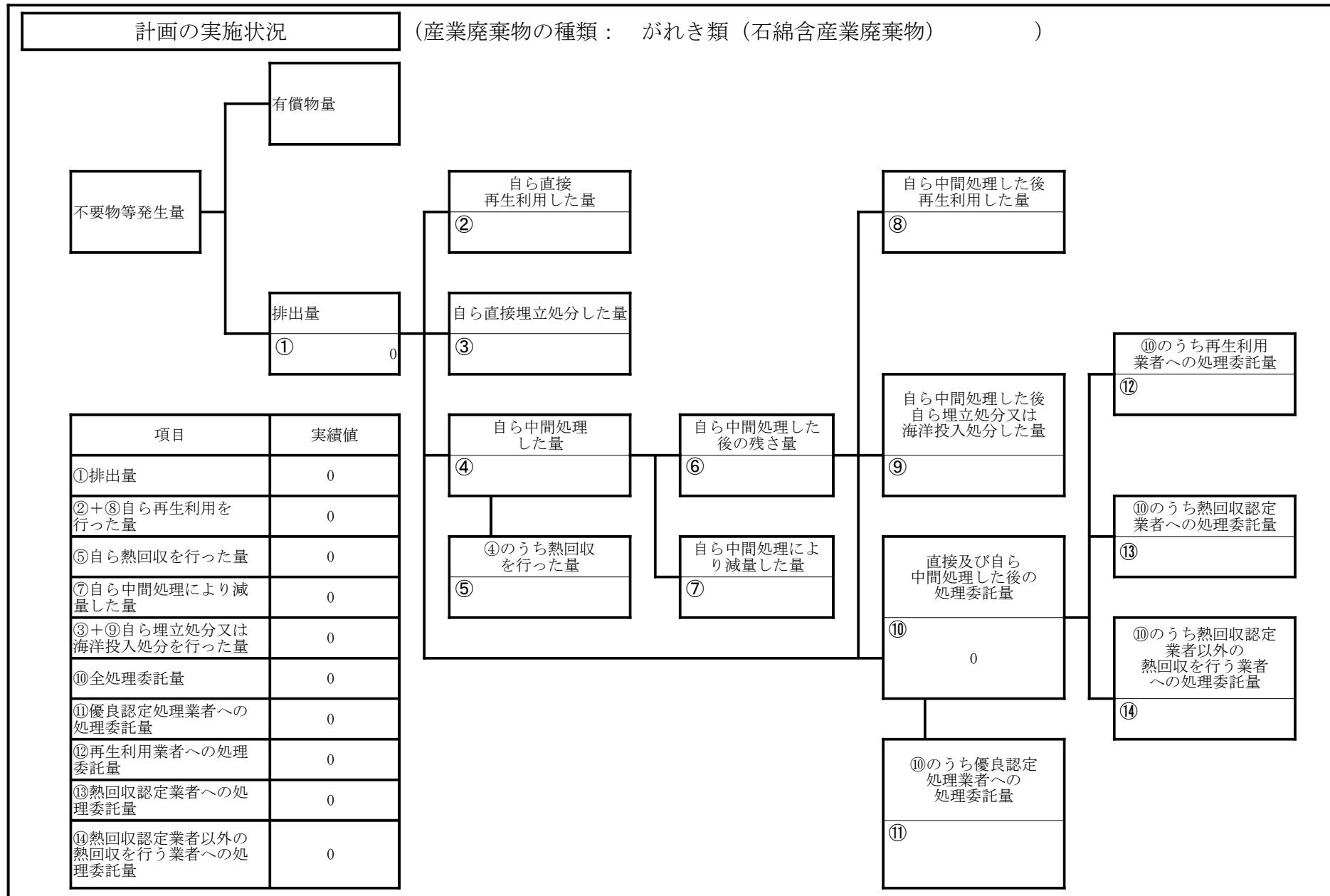


## 計画の実施状況

(産業廃棄物の種類： 建築混合廃棄物)

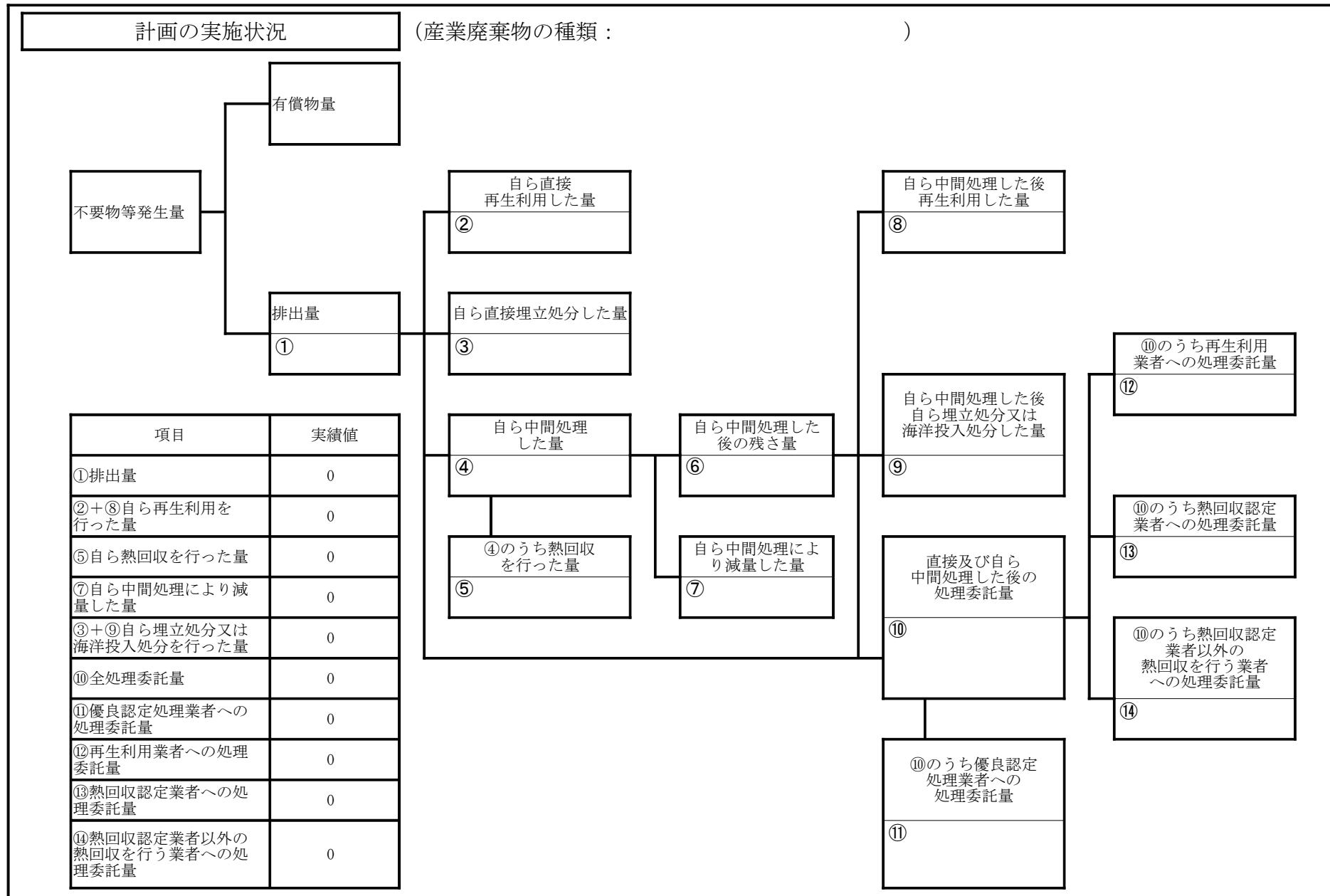
)





備考

- 1 翌年度の6月30日までに提出すること。
- 2 「事業の種類」の欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
- 3 「産業廃棄物処理計画における目標値」の欄には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載した目標値を記入すること。
- 4 第2面には、前年度の産業廃棄物の処理について、①～⑭の欄のそれぞれに、(1)から(14)に掲げる量を記入すること。
  - (1) ①欄 当該事業場において生じた産業廃棄物の量
  - (2) ②欄 (1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら再生利用した量
  - (3) ③欄 (1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら埋立処分又は海洋投入処分した量
  - (4) ④欄 (1)の量のうち、自ら中間処理をした産業廃棄物の当該中間処理前の量
  - (5) ⑤欄 (4)の量のうち、熱回収を行った量
  - (6) ⑥欄 自ら中間処理をした後の量
  - (7) ⑦欄 (4)の量から(6)の量を差し引いた量
  - (8) ⑧欄 (6)の量のうち、自ら利用し、又は他人に売却した量
  - (9) ⑨欄 (6)の量のうち、自ら埋立処分及び海洋投入処分した量
  - (10) ⑩欄 中間処理及び最終処分を委託した量
  - (11) ⑪欄 (10)の量のうち、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量
  - (12) ⑫欄 (10)の量のうち、処理業者への再生利用委託量
  - (13) ⑬欄 (10)の量のうち、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量
  - (14) ⑭欄 (10)の量のうち、認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量
- 5 第2面の左下の表には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載したそれぞれの実績値を記入すること。
- 6 産業廃棄物の種類が2以上あるときは、産業廃棄物の種類ごとに、第2面の例により産業廃棄物処理計画の実施状況を明らかにした書面を作成し、当該書面を添付すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。



**様式第二号の九** (第八条の四の六関係)

(第1面)

## 産業廃棄物処理計画実施状況報告書

平成 年 月 日

(宛先) 岡崎市長

## 届出者

住 所 豊田市舞木町小原野630番地3  
氏 名 株式会社G R A M  
代表取締役 深田勝善

(法人にあっては、名称及び代表者の氏名)  
電話番号 0565-42-7733

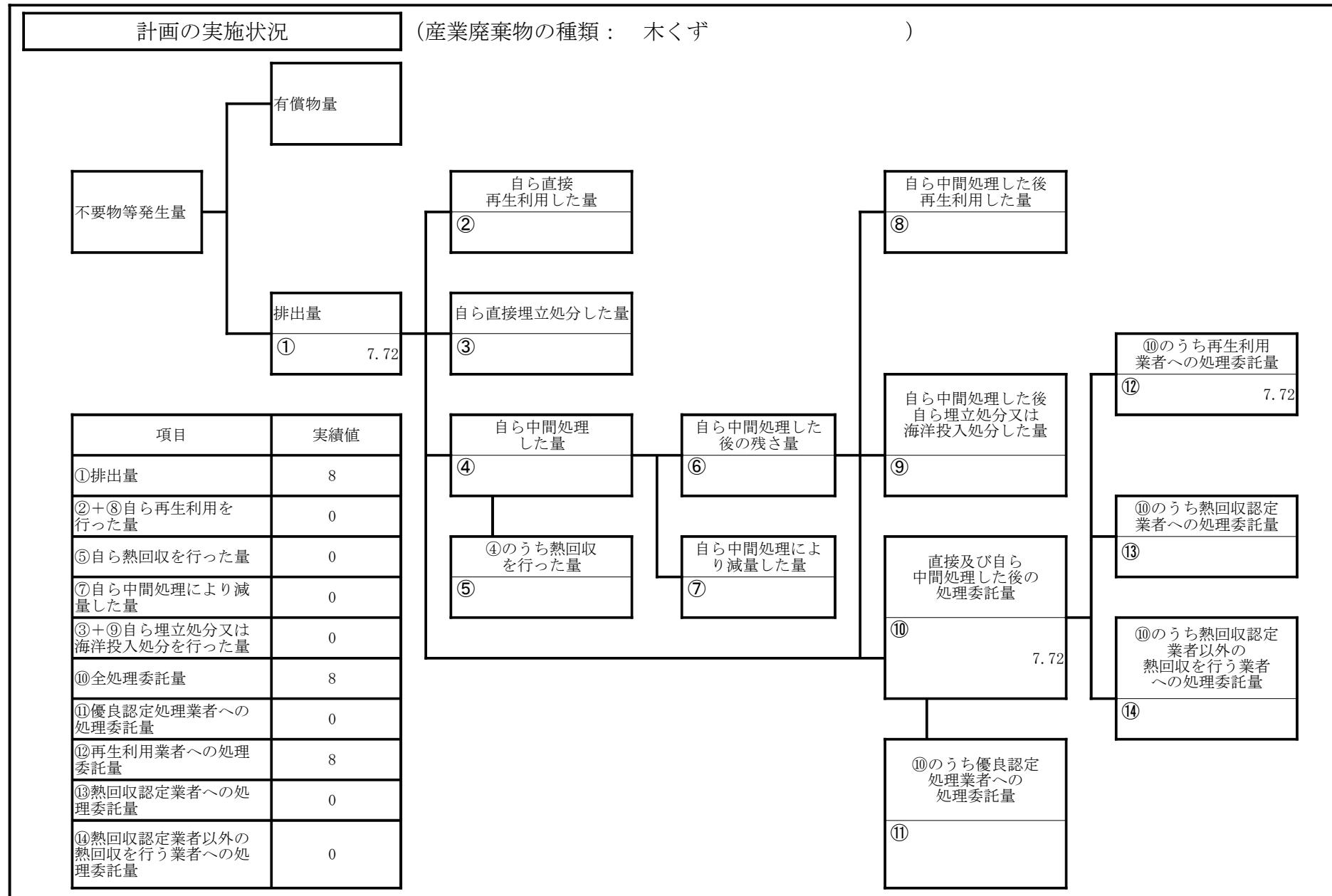
廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第10項の規定に基づき、令和6年度の産業廃棄物処理計画の実施状況を報告します。

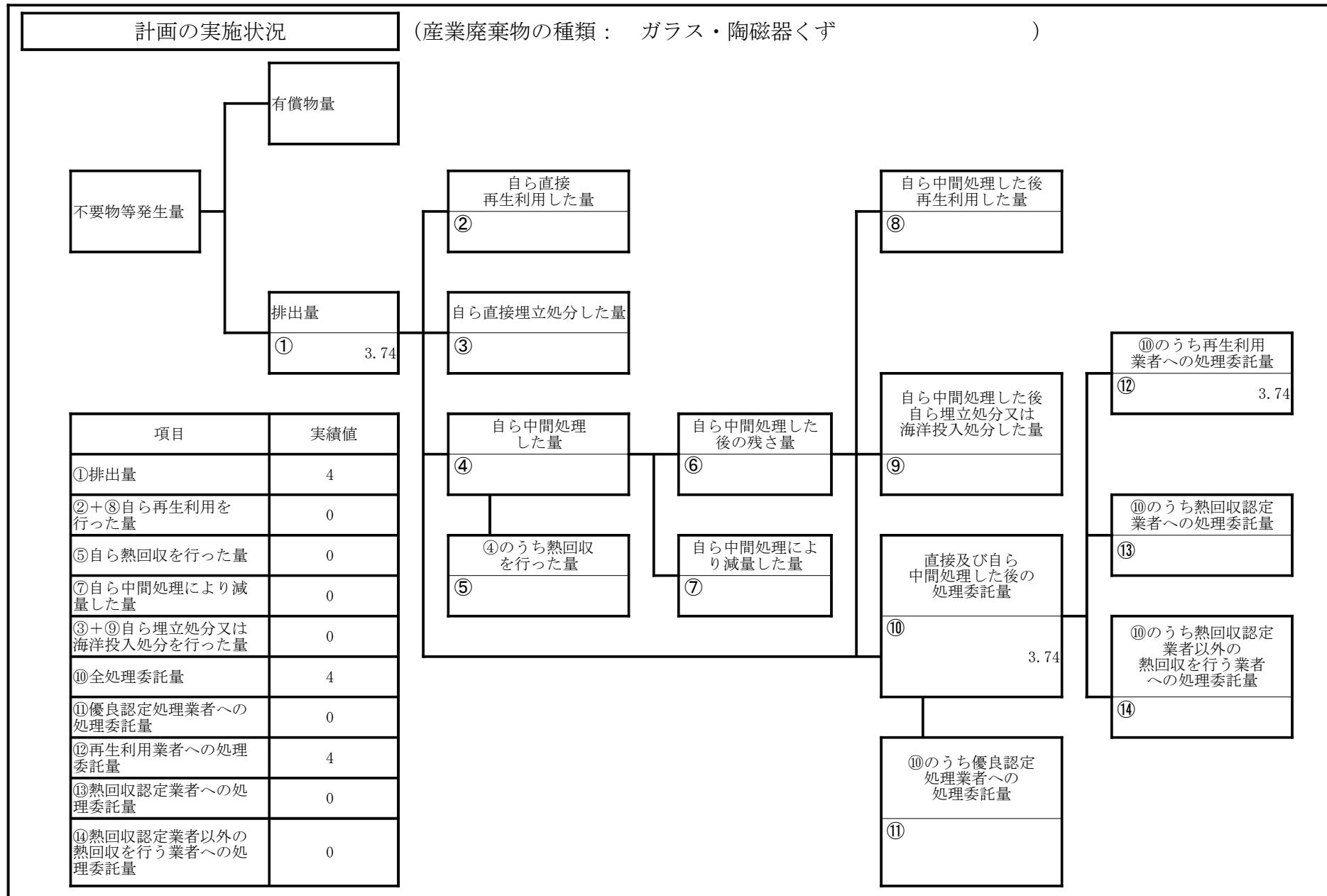
事業場の名称	株式会社G R A M
事業場の所在地	豊田市舞木町小原野630番地3
事業の種類	職別工事業(設備工事業を除く・解体業)
産業廃棄物処理計画における計画期間	令和5年4月1日～令和6年3月31日

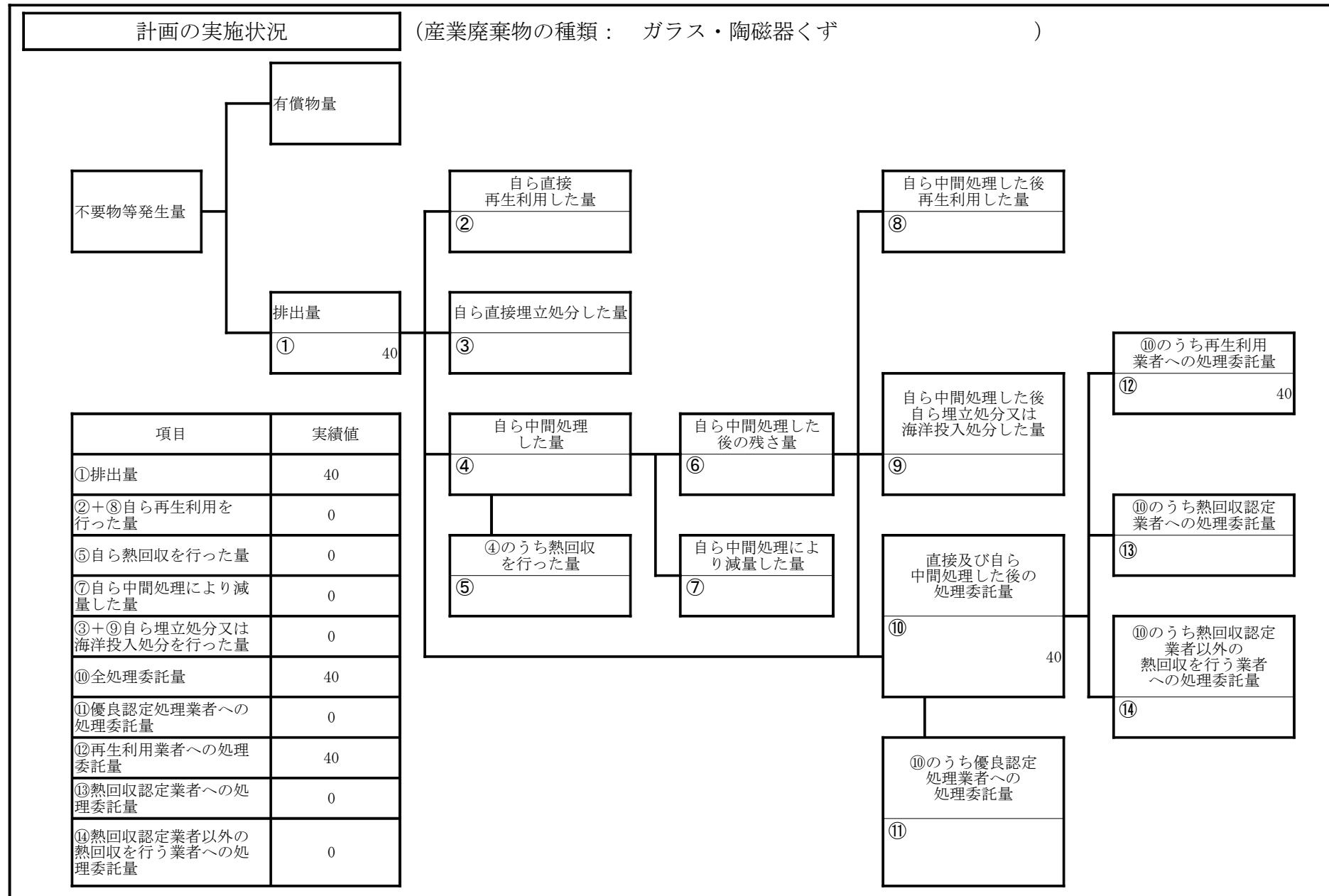
## 産業廃棄物処理計画における目標値

項目	目標値	項目	目標値
排出量	130 t	全処理委託量	130 t
自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	t	優良認定処理業者への処理委託量	112 t
自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	t	再生利用業者への処理委託量	105 t
自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	t	認定熱回収業者への処理委託量	t
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t
※事務処理欄			

(日本工業規格 A列4番)







備考

- 1 翌年度の6月30日までに提出すること。
- 2 「事業の種類」の欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
- 3 「産業廃棄物処理計画における目標値」の欄には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載した目標値を記入すること。
- 4 第2面には、前年度の産業廃棄物の処理について、①～⑭の欄のそれぞれに、(1)から(14)に掲げる量を記入すること。
  - (1) ①欄 当該事業場において生じた産業廃棄物の量
  - (2) ②欄 (1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら再生利用した量
  - (3) ③欄 (1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら埋立処分又は海洋投入処分した量
  - (4) ④欄 (1)の量のうち、自ら中間処理をした産業廃棄物の当該中間処理前の量
  - (5) ⑤欄 (4)の量のうち、熱回収を行った量
  - (6) ⑥欄 自ら中間処理をした後の量
  - (7) ⑦欄 (4)の量から(6)の量を差し引いた量
  - (8) ⑧欄 (6)の量のうち、自ら利用し、又は他人に売却した量
  - (9) ⑨欄 (6)の量のうち、自ら埋立処分及び海洋投入処分した量
  - (10) ⑩欄 中間処理及び最終処分を委託した量
  - (11) ⑪欄 (10)の量のうち、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量
  - (12) ⑫欄 (10)の量のうち、処理業者への再生利用委託量
  - (13) ⑬欄 (10)の量のうち、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量
  - (14) ⑭欄 (10)の量のうち、認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量
- 5 第2面の左下の表には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載したそれぞれの実績値を記入すること。
- 6 産業廃棄物の種類が2以上あるときは、産業廃棄物の種類ごとに、第2面の例により産業廃棄物処理計画の実施状況を明らかにした書面を作成し、当該書面を添付すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

様式第二号の九（第八条の四の六関係）

(第1面)

産業廃棄物処理計画実施状況報告書

平成36年05月27日

岡崎市長 殿

提出者

住 所 愛知県岡崎市羽根東町三丁目3番地9

氏 名 株式会社不動産SHOPナカジツ

代表取締役 鳥居 守

(法人にあっては、名称及び代表者の氏名)

電話番号 0564-55-0015

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第10項の規定に基づき、令和5年度の産業廃棄物処理計画の実施状況を報告します。

事業場の名称	愛知県岡崎市羽根東町三丁目3番地9		
事業場の所在地	株式会社不動産SHOPナカジツ		
事業の種類	06 総合工事業 不動産取引業 (K-68)		
産業廃棄物処理計画における計画期間	令和5年4月1日～令和6年3月31日		

産業廃棄物処理計画における目標値

項目	目標値	項目	目標値
排出量	1,585.73 t	全処理委託量	1,585.73 t
自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	t	優良認定処理業者への処理委託量	1,295.20 t
自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	t	再生利用業者への処理委託量	t
自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	t	認定熱回収業者への処理委託量	t
自ら埋立処分又は海洋投棄処分を行う産業廃棄物の量	t	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t
※事務処理欄			

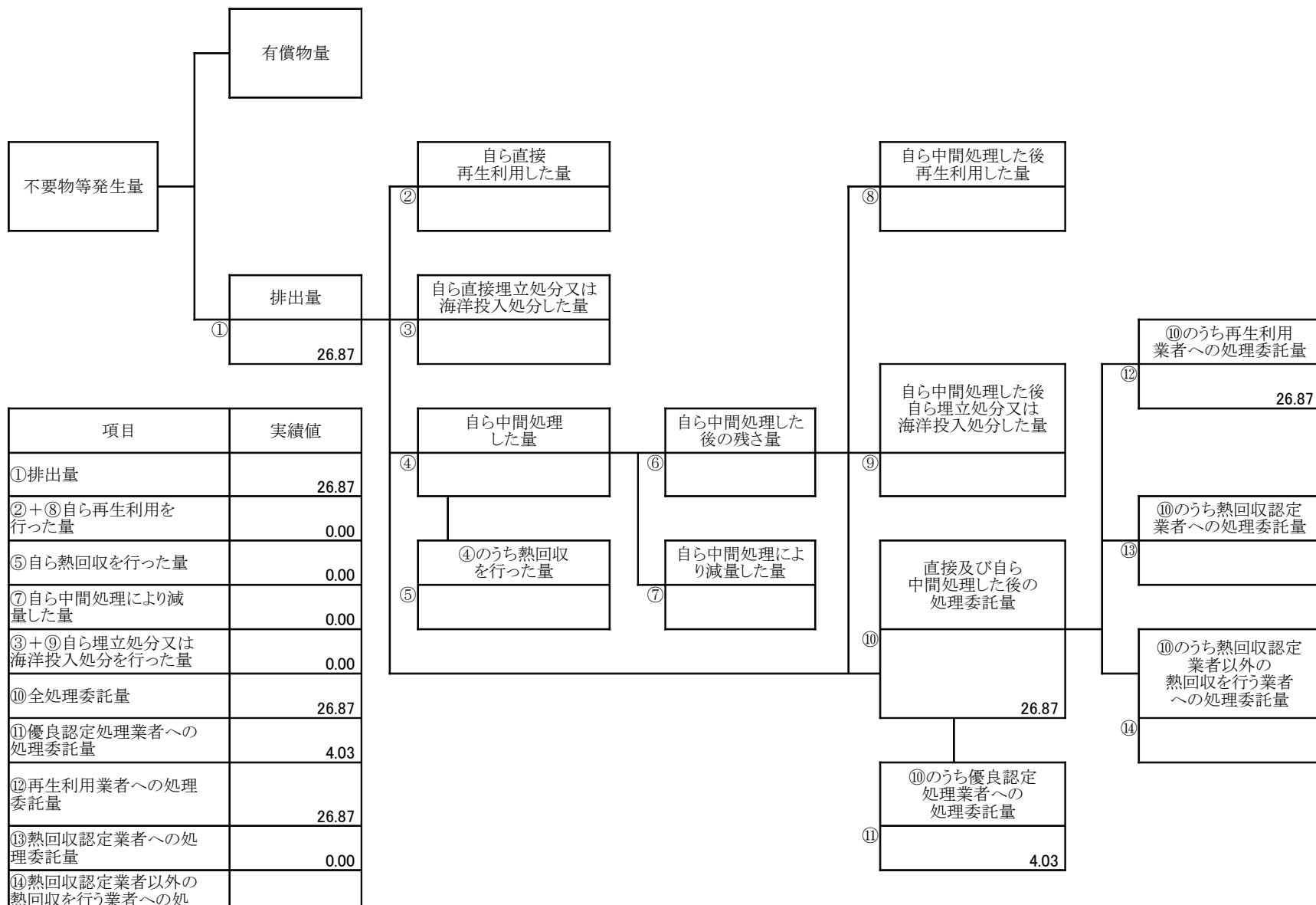
(日本産業規格 A列4番)

## 計画の実施状況

(産業廃棄物の種類: 廃プラスチック類)

(単位:トン)

(第2面)

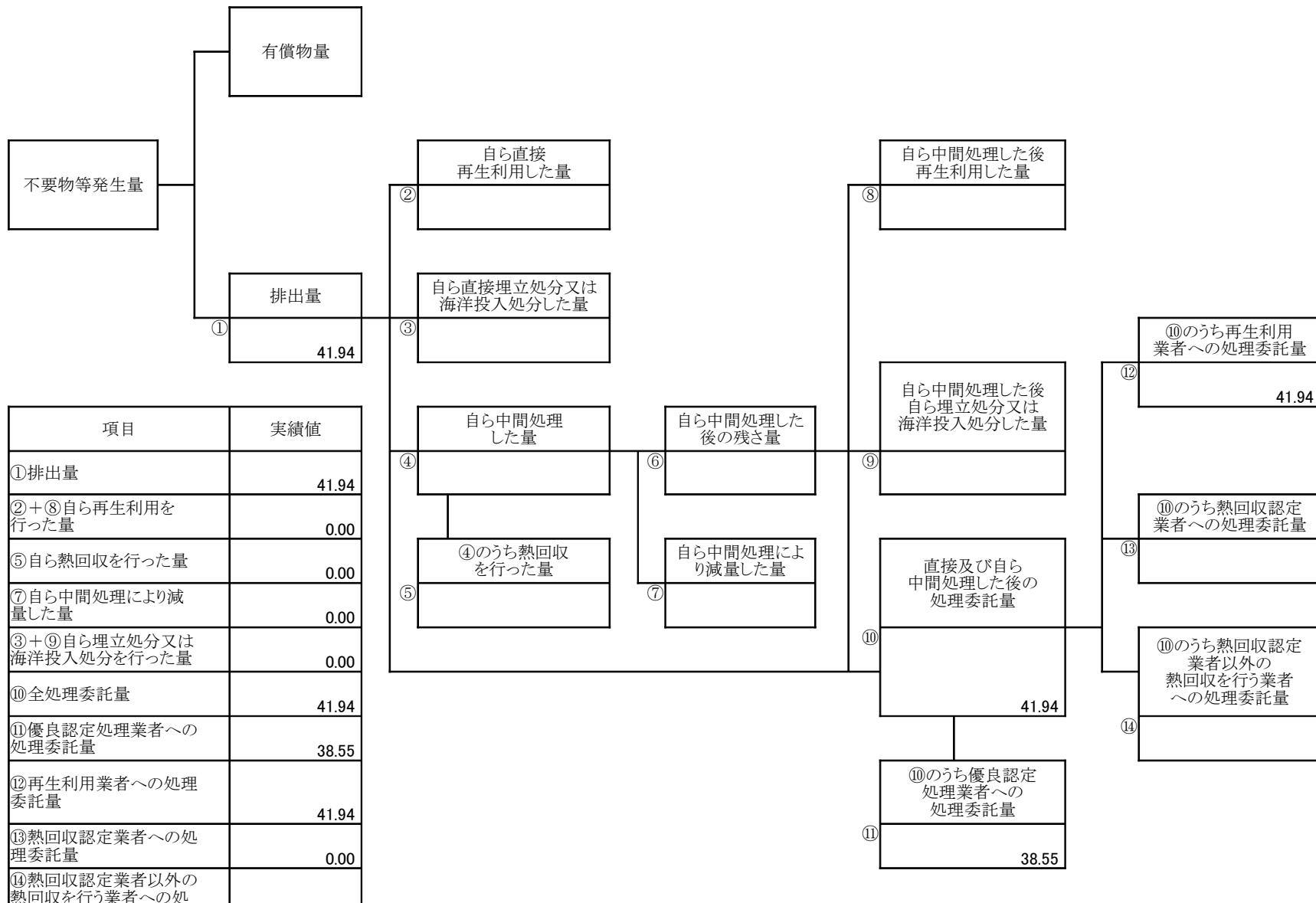


## 計画の実施状況

(産業廃棄物の種類: 紙くず)

(単位: トン)

(第2面)

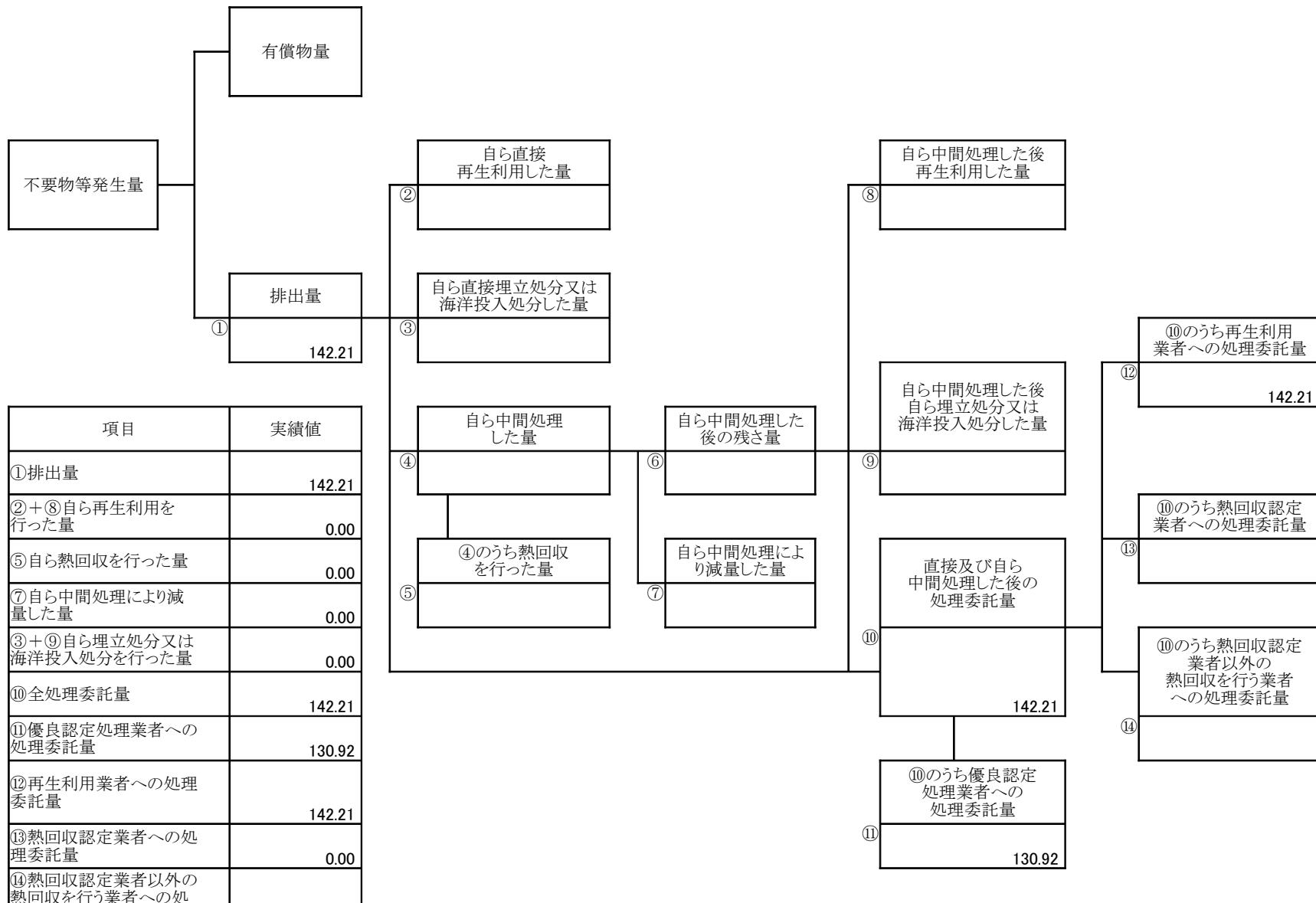


## 計画の実施状況

(産業廃棄物の種類: 木くず)

(単位: トン)

(第2面)

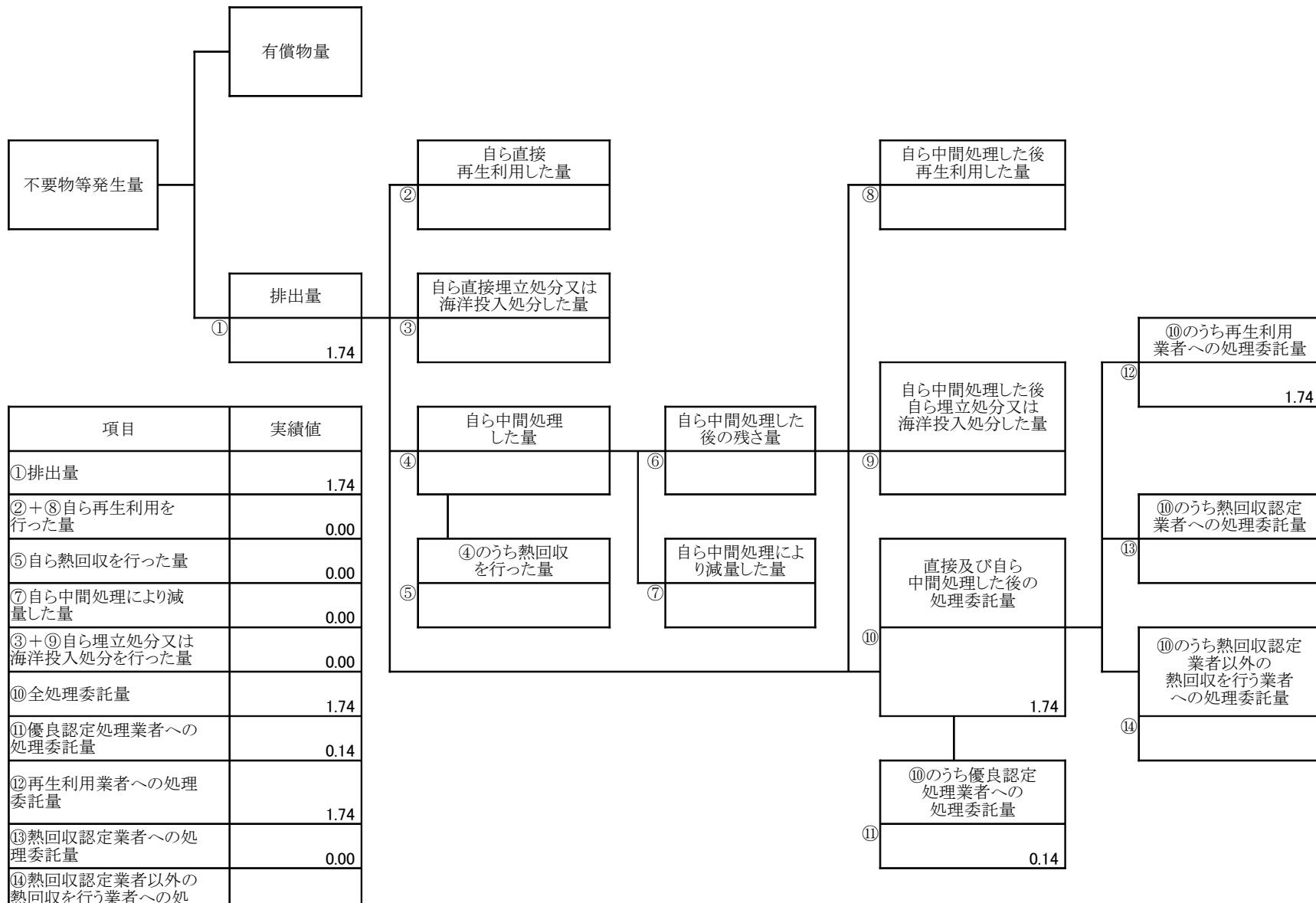


## 計画の実施状況

(産業廃棄物の種類: 繊維くず)

(単位:トン)

(第2面)

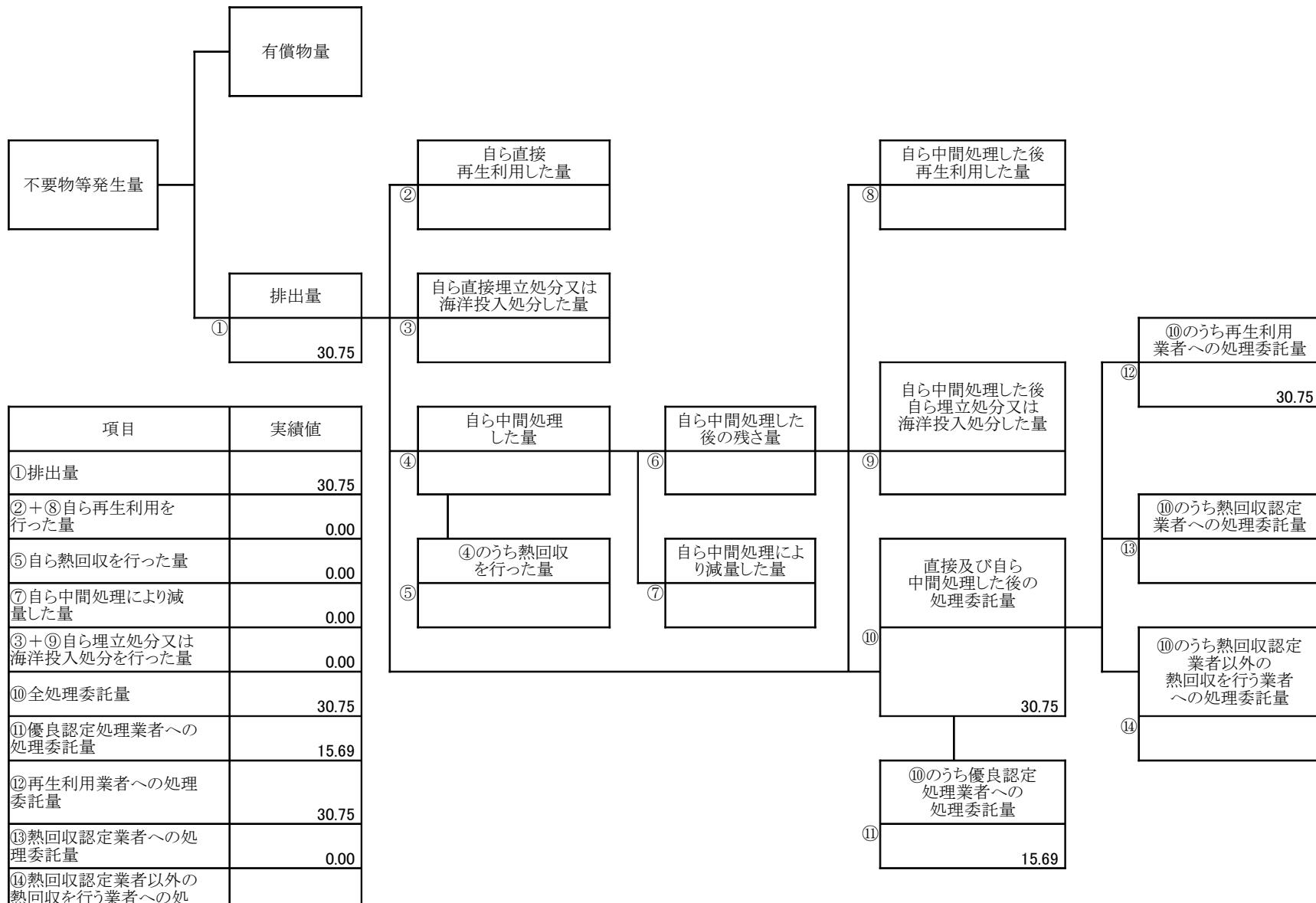


## 計画の実施状況

(産業廃棄物の種類: ガラス陶磁器等くず)

(単位: トン)

(第2面)

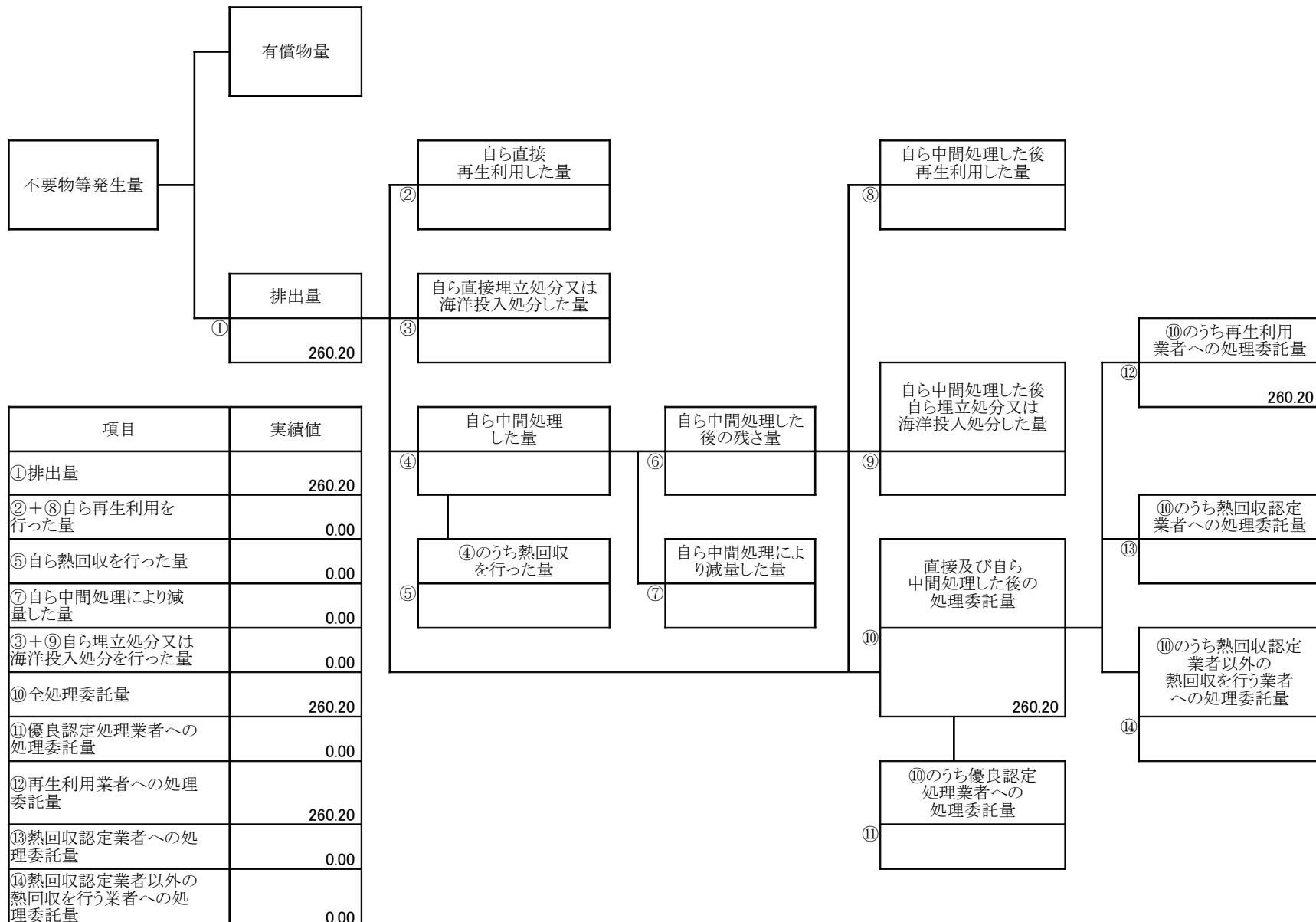


## 計画の実施状況

(産業廃棄物の種類: コンクリート片)

(単位: トン)

(第2面)

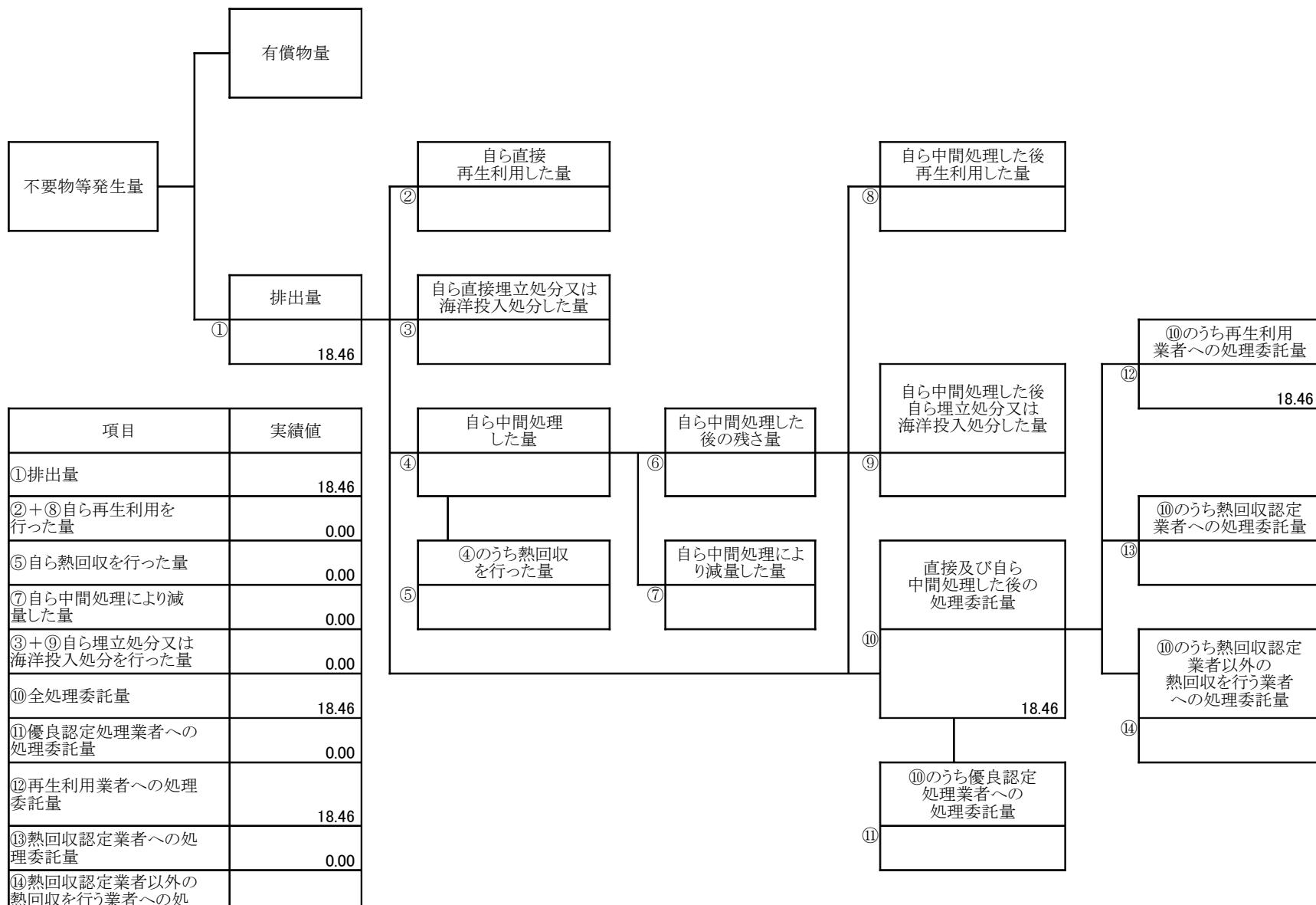


## 計画の実施状況

(産業廃棄物の種類: アス・コン片)

(単位: トン)

(第2面)

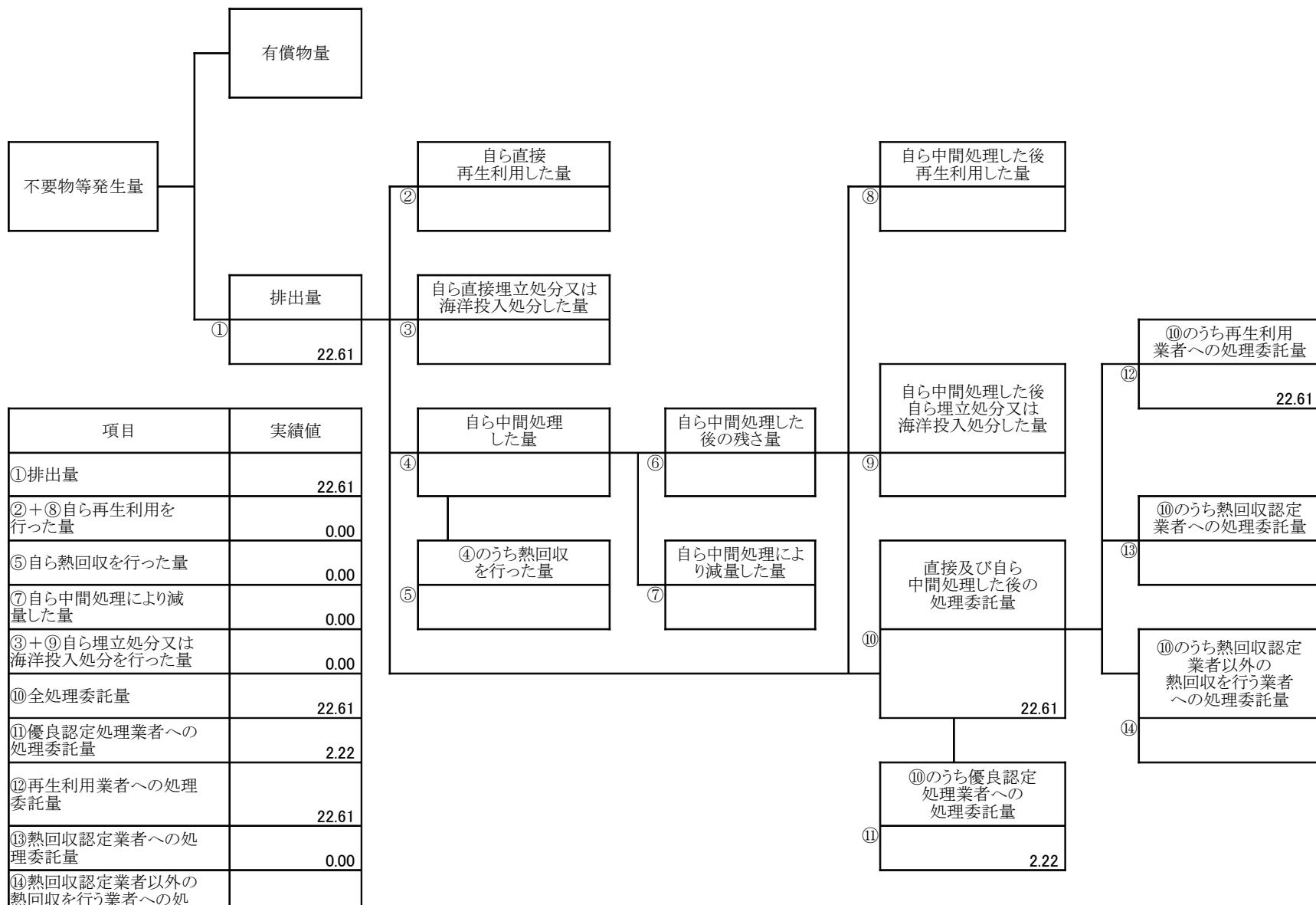


## 計画の実施状況

(産業廃棄物の種類: その他がれき類)

(単位:トン)

(第2面)

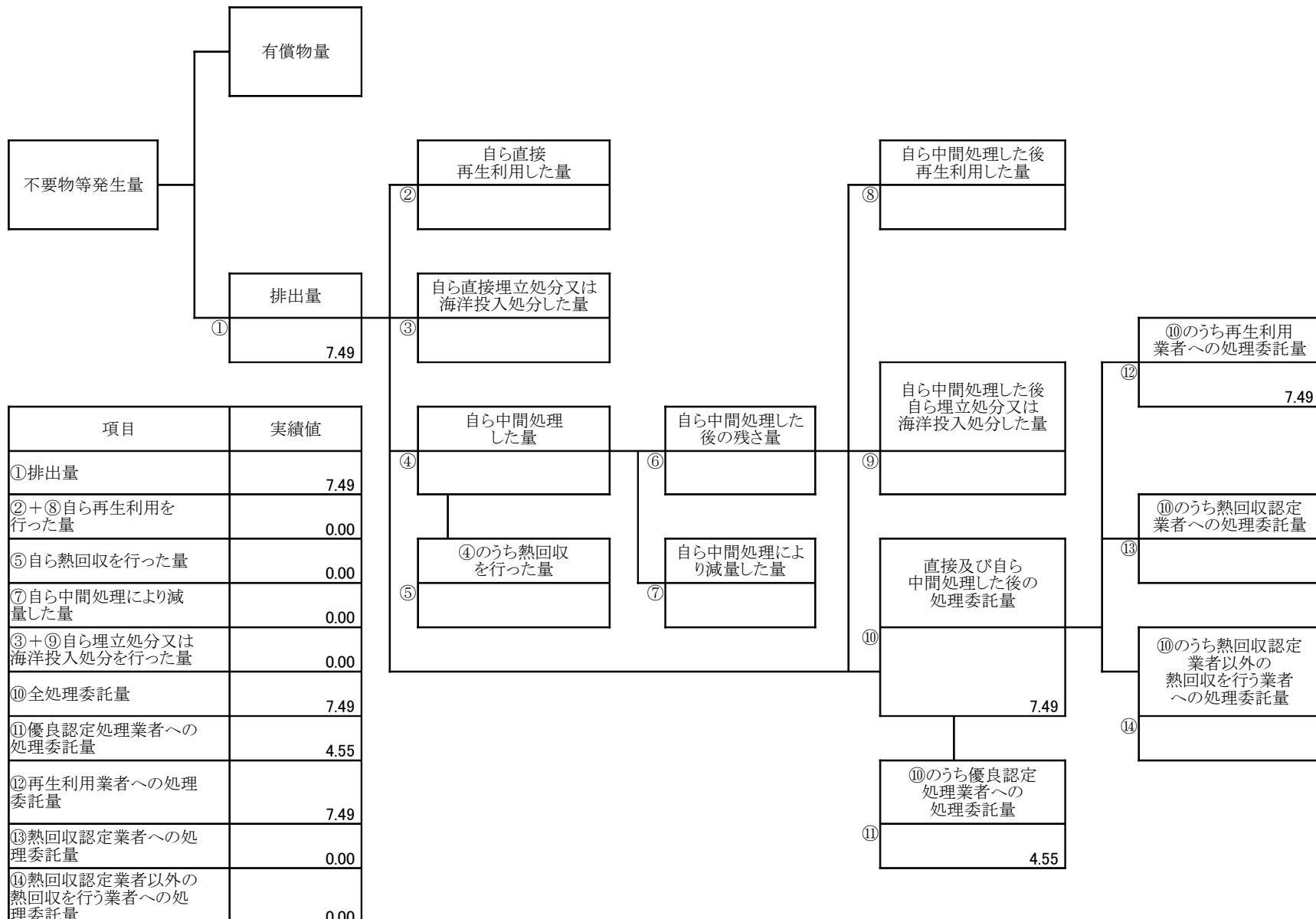


## 計画の実施状況

## (産業廃棄物の種類: 建設混合廃棄物(安定型))

(単位:トン)

(第2面)

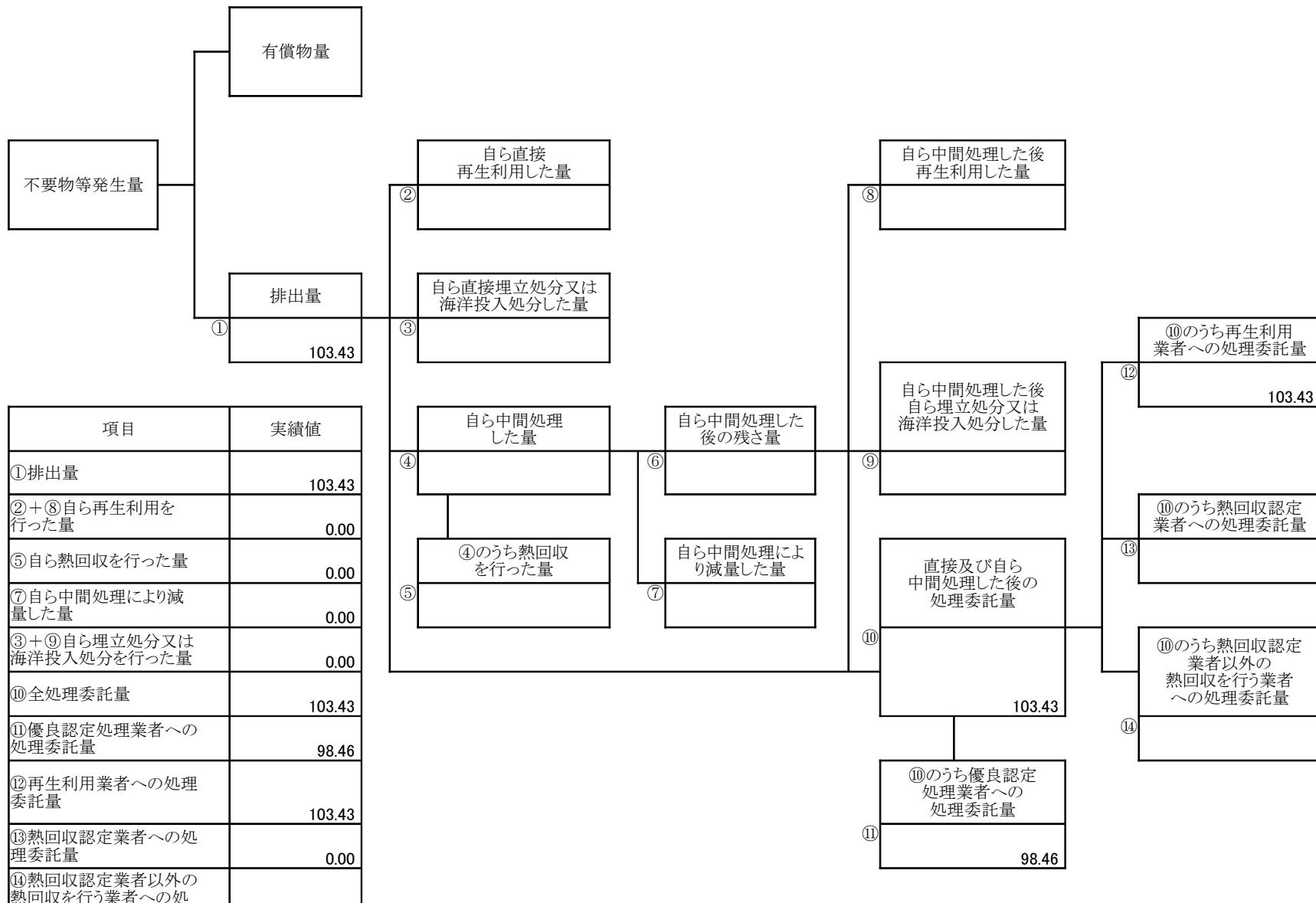


## 計画の実施状況

## (産業廃棄物の種類: 建設混合廃棄物(管理型))

(単位:トン)

(第2面)

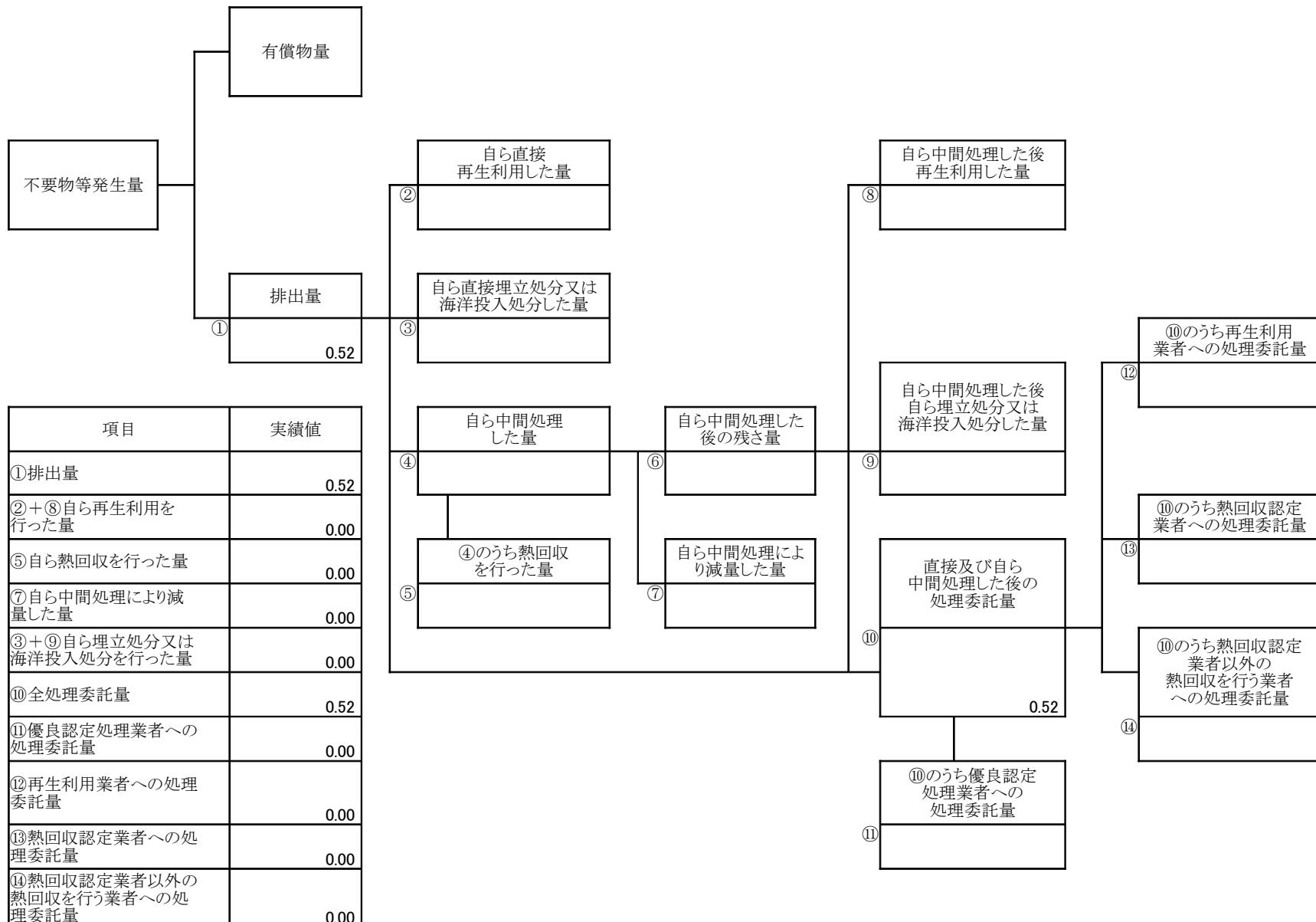


## 計画の実施状況

(産業廃棄物の種類: 石綿含有産業廃棄物)

(単位:トン)

(第2面)



## 備考備考

- 1 翌年度の6月30日までに提出すること。翌年度の6月30日までに提出すること。
- 2 「事業の種類」の欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。「事業の種類」の欄には、
- 3 「産業廃棄物処理計画における目標値」の欄には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載した目標値を記入すること。した目標値を記入すること。
- 4 第2面には、前年度の産業廃棄物の処理について、①～⑭の欄のそれぞれに、(1)から(14) 第2に掲げる量を記入すること。に掲げる量を記入すること。
  - (1) ①欄 当該事業場において生じた産業廃棄物の量(1) ①欄 当該事業場において生じた産
  - (2) ②欄 (1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら再生利用した量(2) ②欄 (1)の量のうち、中間
  - (3) ③欄 (1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら埋立処分又は海洋投入処分した量(3) ③欄
  - (4) ④欄 (1)の量のうち、自ら中間処理をした産業廃棄物の当該中間処理前の量(4) ④欄 (1)の
  - (5) ⑤欄 (4)の量のうち、熱回収を行った量(5) ⑤欄 (4)の量のうち、熱回収を行った量
  - (6) ⑥欄 自ら中間処理をした後の量(6) ⑥欄 自ら中間処理をした後の量
  - (7) ⑦欄 (4)の量から(6)の量を差し引いた量(7) ⑦欄 (4)の量から(6)の量を差し引いた量
  - (8) ⑧欄 (6)の量のうち、自ら利用し、又は他人に売却した量
  - (9) ⑨欄 (6)の量のうち、自ら埋立処分及び海洋投入処分した量
  - (10) ⑩欄 中間処理及び最終処分を委託した量
  - (11) ⑪欄 (10)の量のうち、優良認定処理業者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令 第6条の11第2号に該当する者)への処理委託量
  - (12) ⑫欄 (10)の量のうち、処理業者への再生利用委託量
  - (13) ⑬欄 (10)の量のうち、認定熱回収施設設置者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律 第15条の3の3第1項の認定を受けた者)である処理業者への焼却処理委託量
  - (14) ⑭欄 (10)の量のうち、認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への 焼却処理委託量
- 5 第2面の左下の表には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載したそれぞれの実績値を記入すること。
- 6 産業廃棄物の種類が2以上あるときは、産業廃棄物の種類ごとに、第2面の例により産業廃棄物処理計画の実施状況を明らかにした書面を作成し、当該書面を添付すること。
- 7 ※欄には、何も記入しないこと。